40th

創立40周年記念誌



大阪府レディースバドミントン連盟

もくじ

はじめに ……2
ごあいさつ ……3
お祝いのことば ……4
連盟規約 ……10
あゆみ ……12
年　表 ……14
歴代役員 ……20
名誉会長　連盟葬 ……25
歴代正副ブロック長 ……26
派遣役員 ……30
審判員・指導員資格者 ……35
栄光の軌跡 ……38
国際親善大会 ……40
会長村井広美　BWF より受賞 ……47
記念寄稿 ……49
加盟団体紹介 ……67
創立 40 周年記念誌　編集メンバー ……90
編集後記 ……91

はじめに



大阪府レディースバドミントン連盟
会　長　　村　井　広　美

大阪府レディースバドミントン連盟創立４０周年を迎えるに当たりこのたび記念誌を上梓発刊いたす運びとなりました。

４０年間という年月を継続して見守ってまいりましたものとして、誌上を借りまして感謝の念と共に皆様にご挨拶を申し上げます。

四十にして惑わず。論語にあるごとく４０周年の年月を経てまいりました当連盟は、もはや不惑を過ぎ、自信を持って組織展開の域へ進もうとしています。

「歴史は過去のものではなく、常に未来へ生かされてこそ、輝きをはなつものである。」尊敬する先々代会長である、故　嶋久雄先生も言葉を遺してくださいました。

私達はすでに新しい段階、新しいステージへ進もうとしています。女性のみの組織として誕生した連盟は、女性といえども家庭を支えるのみならず、各種大会を開催する中で、いかに社会活動に参加できるかを念頭に置いてまいりました。その活動範囲は一都道府県としての大阪に留まらず、世界に位置する大阪府レディースバドミントン連盟でありたいと考えました。

そしてスタートさせたのが国際親善レディースバドミントン大会です。私達にできるグローバリゼーションとは何か、スポーツを通じて国際間相互理解を深め、親善友好の輪を繋ぐこと。ボーダーレスの意識を持って大阪から世界へスポーツ力を発信することです。国際大会を育てることにより、その夢と目標を着実に実現の方向へ進めていくことができるはずです。さらには日本のスポーツ文化を世界へ伝播すること、そして日本の素晴らしさを共有することによって自信と誇りある輝く女性として国際化時代を生きることができるはずです。

ここまで私共を見守りご協力いただきましたすべての皆様に深く感謝いたします。５０周年、１００周年と未来へつながる連盟でありますよう、今後も何卒宜しくお力をお貸し下さい。

ごあいさつ



大阪府レディースバドミントン連盟
理事長　　廣　瀬　園　子

大阪府レディースバドミントン連盟の創立４０周年という喜ばしい年に在籍し、理事長として記念誌を上梓させていただきますことは誠に光栄であり、この瞬間に立ち会わせていただきますことを名誉と共に深い責任を感じ身の引き締まる思いです。

連盟設立４０周年、困難あり、感動あり、夢もあり、積み重ねたひとつひとつの歴史は連盟の糧となり、組織の礎として今日まで連綿と引き継がれ、現在に至りました。この貴重な歴史的体験は連盟の原動力であり、この大きなエネルギーを未来に向かって有効に使うことこそ、現在を生きる私共に課せられた課題であると確信しています。

その中でも、特筆するべきは国際親善レディースバドミントン大会の継続開催でしょう。１９９５年にスタートした大会は今年の秋、はや２０年を迎えます。国際化時代の中で世界を見据え手探りで出発した大会でしたが、今や着実に成長し、日本のみならず世界の中でも女性のみの運営による楽しい団体戦として注目を集め、参加チーム数は増加の一途をたどっています。２００９年に公益財団法人日本バドミントン協会、日本レディースバドミントン連盟に主催を移管し、ＢＷＦ（世界バドミントン連盟）の公認をいただくこともできました。過去を振り返れば身も細る思いも致しましたが、ここまで来た感慨は言葉に言い尽くすことは出来ません。

平成２６年は午年です。古来より甲午（きのえうま）の年は世の中が大胆に動く年であるといわれています。何事に於いても発展を目指し、夢に向かって大きく羽ばたく年でありたいものと思います。バドミントンというスポーツの力を以って行動する大阪府レディースバドミントン連盟として、今後もスピード感ある運営を心がけたく思います。

今日まで共に支えていただきました連盟員の皆様に感謝いたします。常に励まし理解をいただきました各種団体へお礼を申し上げます。

そして長きに渡り変わらぬ暖かいご支援をいただきました関係各企業の皆様へ厚くお礼を申し上げます。皆々様のご理解とご協力により、今日までの連盟の存続発展がありました。このことを肝に銘じ、これからも歩を進めて行きたいと思います。ありがとうございました。



祝　辞

公益財団法人　日本バドミントン協会
会　長　　綿　貫　民　輔

大阪府レディースバドミントン連盟の創立４０周年をお祝い申し上げます。

日本各地において、創立３０周年、４０周年という喜ばしいご報告をいただきますにつけ、本会といたしましても誠に慶賀にたえません。ことに貴連盟に於かれましては、１９９５年に世界に於いても稀有なる国際親善レディースバドミントン大会を開催され、記念すべきこの年に２０周年を迎えられますことは、重ねての慶事であり、心よりお祝いを申し上げます。

この国際大会を契機に、大阪府レディースバドミントン連盟会長村井広美氏が、世界バドミントン連盟よりその業績に対し表彰を受けられましたことは、一レディース連盟のみならず、日本レディースバドミントン連盟の誇りであり、ひいては本会の喜びとするところであります。

今般、内閣府より発表されました国の施策として、開発途上国へ向かって日本の「体育」教育が発信されようとしています今日、自分自身の技術向上は勿論のこと、ジュニアを育成するにふさわしい位置にあるレディースバドミントン連盟の、先を見越したグローバルな活動は誠に頼もしく、今後へ向かって更に期待いたすところであります。

今日までの連盟を支えていただきました先人のご努力に深甚なる敬意を表しますと同時に、未来を拓くべき大阪府レディース連盟の皆様へ熱いエールを送り、お祝いの言葉といたします。



祝　辞

日本レディースバドミントン連盟
会長　藤田庸右

大阪府レディースバドミントン連盟の創立４０周年にあたり心よりお祝いのご挨拶を申し上げます。ひと口に４０周年と申しましても、その歴史には幾多の困難があったことと拝察致します。

連盟創設当時の女性を取り巻く社会環境は、現在とは隔世の感がある高度成長期終焉期の男性優位の時代でしたが、半世紀近く経った現在では、スポーツのあらゆる面において女性の参加を可能、尊重することによってスポーツ文化の発展、生涯スポーツの推進が叫ばれるまでに至りました。貴連盟は家庭婦人の親睦大会に端を発し、家庭婦人連盟の設立をはじめ着々とそのネットワークを構築し、日本レディースバドミントン連盟という女性による連盟組織形成に尽力され、全国的な登録制度を導入し、牽引してこられた草の根的存在の組織であります。

また、同時に国際親善レディースバドミントン大会を立ち上げ、女性のみでの運営と国際交流を実践され、その大会を日本レディースバドミントン連盟の大きな柱事業の一環へと繋げてこられました。これらの功績が認められ、昨年５月大阪府レディースバドミントン連盟 村井広美会長がBWFより栄誉ある賞を受賞されました。この賞は女性のバドミントン発展に顕著な貢献をした個人あるいは団体を対象に授与されるものであり、村井会長（現日本レディース連盟副会長）をはじめ大阪府レディース連盟を担ってこられた多くの関係者、スタッフの方々の長年のチームワークの結実でありましょう。

貴連盟の今後更なるご発展と、ますますのご繁栄を祈念し祝辞といたします。



祝　　辞

大阪府バドミントン協会
会　長　　三　宅　祐　司

この度、大阪府レディースバドミントン連盟におかれましては、晴れの創立４０周年を迎えられ、今日までの偉業に対しまして、心よりお慶びを申し上げます。

顧みますと、貴連盟は、日本のバドミントン発展の礎ともなり、中核的存在の下に数々の実績を飾って参りました。

全国大会での実績や、国際親善大会、更には昨年の村井会長の BWF Women in Badminton Award の受賞など、枚挙にいとまのない程の功績は歴史の一頁を飾っています。

記念すべき４０周年は、将来の更なる飛躍の為の一つの通過点に過ぎません。

大阪府レディースバドミントン連盟は、日本に於けるバドミントン界の先駆者として、未来に繋ぐ座標軸をしっかりと描いて活動する様、お願いする次第です。

レディース会員の皆さんにとって、バドミントンは、何物にも代えがたい「宝物」です。

大阪が、多くのレディースバドミントン愛好者の憧れの的となる様「絆」を大切にし、情熱の炎を燃やし続けて頂くよう、切望してやみません。

会員の皆さんが笑顔で元気に、今後益々のご発展をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。



祝　　辞

大阪府知事　　松　井　一　郎

大阪府レディースバドミントン連盟が、このたび、創立４０周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

貴連盟は、昭和４９年に大阪府家庭婦人バドミントン親睦会開催を契機に創立されて以来組織の充実とバドミントンの競技力向上に取り組まれ、素晴らしい功績を残されるとともに競技の普及・振興に大きく貢献してこられました。

また、平成２１年からヨネックス杯となった国際親善レディースバドミントン大会を主管するなど目覚しい発展を遂げられました。そして平成２４年６月には、村井広美会長が公益財団法人日本バドミントン協会功労賞を受賞されました。名実ともに日本を代表する連盟となられましたことは誠に喜ばしい限りです。これも歴代会長をはじめとする関係役員の皆様の並々ならぬご努力の賜物と、深く敬意を表する次第でございます。

バドミントンは、年齢や性別を問わず、生涯を通して楽しめる大変競技人口の多いスポーツです。このような素晴らしいスポーツの魅力を今後も貴連盟の力で日本のみならず全世界に発信してください。

大阪府におきましても、皆様のバドミントンにかける情熱に負けないよう、誰もが気軽にスポーツを楽しめる生涯スポーツ社会の実現をめざし、取り組んでまいりますので、貴連盟におかれましては、引き続き、府民の生涯スポーツの推進に一層のご支援をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、貴連盟の今後のますますのご発展と関係の皆様のご活躍を心からお祈り申し上げお祝いの言葉とさせていただきます。



祝　　辞

東大阪市教育委員会
教育長　西　村　　保

大阪府レディースバドミントン連盟が創立４０周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げますとともに、記念誌の発刊に際し、一言ご挨拶を申し上げます。

貴連盟は、昭和４９年に大阪府家庭婦人バドミントン連盟として発足以来、バドミントン競技を通じて女性の健康増進と相互の親睦をはかってこられました。現在では６４団体が加盟して地域スポーツの発展・向上に努められ、その活動は年々グローバルなものとなり大阪府のみならず全国に広がり、さらには国際親善大会を開催されるなどその目覚ましい活躍に敬意を表する次第でございます。

これもひとえに歴代会長をはじめ、関係の皆様方の並々ならぬご努力の積み重ねによるものと拝察いたします。

設立誕生の地が東大阪市でありましたことから、本市の体育施設において大会や練習会を開催頂くなど、４０周年の歴史を共に歩めたことは誠に喜ばしく慶賀に堪えません。

結びに、貴連盟が創立４０周年を機に今後も益々ご発展されることと、関係の皆様方のご健勝とご活躍を心から祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



東大阪市の花　梅



祝　　辞

朝日新聞大阪本社代表室
宣伝担当部長　中　越　貴　久

大阪府レディースバドミントン連盟創立４０周年、誠におめでとうございます。大阪府レディースバドミントン連盟は、村井会長をはじめとしたほんの数人で始められ、呼称もかつては「大阪府家庭婦人バドミントン連盟」というものだったと聞いております。手探りの状態からスタートし、国際試合まで主催されるような今日の姿まで発展されたことは、朝日新聞社としましても喜びにたえません。

２０１３年に村井会長が世界バトミントン連盟から　Women in Badminton Award を授与され、公益財団法人日本バドミントン協会、日本レディースバドミントン連盟よりそれぞれ表彰されたのも、国内はもとより、世界のバドミントン関係者がこれまでの取り組みを評価した結果だと思います。

参加する人だけではなく、運営する人がいなければ大会競技を楽しむことはできません。四十年の長きにわたり、家庭や職場と両立させながらご尽力してこられた連盟の方々に心から敬意を表し、今後の更なるご発展を祈念いたします。



大阪府レディースバドミントン連盟規約

第 1 章　名称・組織及び事務局

第 1 条　本連盟は大阪府レディースバドミントン連盟と称する。
第 2 条　本連盟の趣旨に賛同する大阪府在住・在勤の女性をもって組織する。
第 3 条　本連盟の事務局は大阪府レディースバドミントン連盟理事長在住地に置く。
第 4 条　1. 本連盟は女性のバドミントン競技の総括団体として大阪府バドミントン協会を通じて(公財)日本バドミントン協会に加盟する。
2. 本連盟は地区別（豊能・三島・北河内・中河内・泉南泉北・市内・南河内）をもって構成する。

第 2 章　　目的及び事業

第 5 条　本連盟はバドミントン競技を通じて女性の健康増進と相互の親睦をはかり併せて地域スポーツの発展に寄与し、バドミントン競技の健全なる普及発展をはかることを目的とする。
第 6 条　本連盟は前条の目的達成の為次の事業を行う。
1. 大阪府レディースバドミントン大会及びその他の競技会の開催。
2. 競技の指導・講習会の開催並びに練習会の開催。
3. その他本連盟の目的を達成する為に必要なる事業。

第 3 章　　加盟及び脱退

第 7 条　1. 本連盟の加盟は団体登録（6 名以上）とし、別に定める負担金・登録料を添え別紙様式により、本連盟に申請するものとする。
2. 連盟員は会長に届出て脱会することが出来る。
3. 連盟員が次の事項に当たる時、会長は理事会の議を経て退会させることが出来る。
(1) 本連盟の秩序を乱した時。
(2) 故なく負担金・登録料を滞納した時。

第 4 章　　権利及び義務

第 8 条　連盟員はこの規定に定める連盟活動に参加し、会計簿、議事録、その他連盟に関する一切の書類を何時でも自由に閲覧する権利がある。
第 9 条　連盟員は次の義務を負う。
1. 規約の決議に従い、かつ執行機関の業務に協力する義務。
2. 負担金・登録料を納入する義務。

第 5 章　　役員及び任務

第１０条　本連盟に次の役員を置く。
1．会長 1 名　2．副会長若干名　3．理事（理事長 1 名　副理事長若干名　常任理事若干名　会計　を含み２５名以内）4．評議員（各団体　1 名）5．会計監査２名。
第１１条　会長は連盟を代表し連盟業務を総括する。副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはその業務を代行する。
第１２条　会長は総会に於いて推挙し、副会長は総会に於いて互選し、会長これを委嘱する。
第１３条　理事長ならびに副理事長は総会に於いて互選する。常任理事は理事より互選する　ただし理事長選出ブロックは、別に理事１名を補充することが出来る。
第１４条　理事は、各ブロックの代表として、後に定めるブロック長を含めて各３名までを選出する。又、必要に応じて理事会の議を経て会長推薦の常任理事を置くことが出来る。
第１５条　理事長は常任理事会を組織し業務を執行する。副理事長は理事長を補佐し理事長事故あるときは、その業務を代行し執行する。
第１６条　理事は業務を分掌し執行する。常任理事は理事会から特に委任された事項を処理執行し、会計監査は本連盟の財務を監査する。
第１７条　評議員は、団体を代表して総会に出席し、議案の審議と決定をする。
第１８条　正副ブロック長は各ブロック会より選出し、ブロック長は理事をかねる。

第１９条　本連盟は必要に応じて理事会の議を経て総会の承認を受け、名誉会長、名誉顧問、顧問、参与を置くことが出来る。

第２０条　役員の任期は２年とする。但し再任は妨げない。補選によって選出された役員の任期は前任者の残任期間とする。

第 6 章　　会　議

第２１条　本連盟は次の会議をもつ。
1. 総会　2. 臨時総会　3. 理事会　4. 常任理事会　5. ブロック会

第２２条　総会は毎年１回、４月１日より４月末日までに会長これを召集し、議長となる。
また、臨時総会は必要に応じて会長これを召集する。

第２３条　総会は連盟の最高決定機関であって次の人員で構成する。
1. 会長　2. 副会長　3. 理事（理事長、副理事長、常任理事、会計を含む）
4. 評議員　5. 会計監査

第２４条　理事長は総会１週間前までに議案、その他必要事項を総会構成員に周知するものとする。

第２５条　総会に於いては次の事項を審議決定する。
1. 事業報告及び決算　2. 事業計画及び予算　3. 役員選出　4. 規約の改訂
5. その他

第２６条　総会は役員の 2／3 以上の出席により成立する。（委任を含む。）

第２７条　議長は第 28 条、第 25 条但し書き第４項を除き議決権を有しない。

第２８条　議事は出席者の過半数によって決定する。但し可否同数の時は議長が決定する。

第 7 章　　理事会・常任理事会及びブロック会

第２９条　理事会は会長、副会長、理事を以て構成する。理事会の任務は総会より委任された事項の審議及びその執行を分掌し、必要に応じて会長これを召集する。

第３０条　常任理事会は常任理事により構成し、各種事業準備処理執行にあたり、必要に応じて理事長これを召集する。

第３１条　ブロック会は各ブロックの理事、ブロック長、副ブロック長、評議員によって構成され、必要に応じてブロック長これを召集する。

第３２条　理事会、常任理事会及びブロック会は全て総会運営に準ずる。

第３３条　本会の運営のため、会長が必要と認めたときは、専門部会を持つことができる。
専門部会の構成員は理事会の審議を経て決定する。細則は別に定める。

第 8 章　　経費及び会計

第３４条　本連盟の経費は次の収入でまかなう。但し納入金は過誤納入を除き返金しない。
1. 負担金　2. 登録費　3. 寄附金　4. その他の正当なる収入

第３５条　寄附金の申し出があった時は理事会の決議によるものとする。

第３６条　本連盟の会計年度は毎年４月１日に始まり、翌年３月末日をもって終わる。

第 9 章　　雑　則

第３７条　この規約の改訂は総会の議決による。

附　則

1. この規約は昭和 54 年４月１日をもって施行し、その効力を発する。
2. この規約の定めのない事項については、理事会の議を経て決定する。
3. この規約の１部を改訂し、昭和 60 年４月１日をもって施行する。
4. この規約の１部を改訂し、平成元年４月１日をもって施行する。
5. この規約の１部を改訂し、平成３年４月１日をもって施行する。
6. この規約の１部を改訂し、平成 12 年４月１日をもって施行する。
7. この規約の１部を改訂し、平成 15 年４月１日をもって施行する。
8. この規約の１部を改訂し、平成 18 年４月１日をもって施行する。

あ　ゆ　み

1974年 昭和49年　7月　第1回大阪府家庭婦人バドミントン親睦会開催(現個人戦)
主催　東大阪市バドミントン協会
主管　東大阪ミセスバドミントンクラブ
この大会が家婦連誕生のきっかけとなる
10月　第1回関西家庭婦人招待親善バドミントン大会
(現西日本バドミントン大会)
主催　東大阪市教育委員会、体育連盟
主管　東大阪市バドミントン協会

1975年 昭和50年　4月　任意団体大阪府家庭婦人バドミントン連盟結成
初代会長　村上平一郎 理事長　黒田勝之
登録13団体　112名
7月　第2回大阪府家庭婦人バドミントン大会(現個人戦)
合同練習会開催
11月　全日本家庭婦人バドミントン大会選手派遣(任意大会)

1976年 昭和51年　第4回大阪府家庭婦人バドミントン大会(任意大会)主管の準備委員会設置
大阪バドミントン協会加盟団体の承認認可の働きは実らず。
大阪社会人バドミントン連盟への加盟を勧められる

1977年 昭和52年　3月　第1回団体リーグ戦開催
11月　第4回全日本家庭婦人バドミントン大会主管(任意大会)

1978年 昭和53年　3月　地域によるブロック制を採用、4ブロックに分割
(北摂、北河内、中河内、泉南泉北)
第1回ブロック対抗戦開催
4月　大阪社会人バドミントン連盟家庭婦人部会発足
大阪バドミントン協会傘下となる　　会長　嶋　久雄　委員長　村井広美

1979年 昭和54年　4月　大阪府家庭婦人バドミントン連盟として、大阪バドミントン協会正式認可
二代会長　嶋　久雄　委員長　村井広美

1980年 昭和55年　10月　第7回関西家庭婦人バドミントン大会開催　これより連盟主催で行う
(現西日本大会)第6回までは東大阪市主催



1981年 昭和56年　4月　4ブロックから6ブロックに再編する
(豊能、三島、北河内、中河内、泉南泉北、市内)

1983年 昭和58年　3月　大阪府実業団バドミントン連盟との役員親善大会開始
4月　6ブロックから7ブロックに再編する
(豊能、三島、北河内、中河内、
泉南泉北、市内、南河内)



10月　第10回西日本家庭婦人バドミントン大会開催
(関西家庭婦人バドミントン大会を改称)
連盟創立10周年記念大会および記念祝賀会　　於　大阪共済会館

1989年 平成元年　8月　第7回全日本家庭婦人バドミントン競技大会主管
(都道府県対抗・クラブ対抗)
☆参加数　36都道府県より67チーム　545名

1991年 平成３年　9月　◎　登録者数1,000名突破

1992年 平成４年　3月　「連盟だより」第1号発刊
4月　創立20周年記念事業実行委員会発足

1993年 平成５年　10月　連盟創立20周年記念
第20回西日本家庭婦人バドミントン大会ならびに記念祝賀会開催　於　府立体育会館

1994年 平成６年　4月　西日本家庭婦人バドミントン大会を日本家庭婦人バドミントン連盟に移管
10月　第21回西日本家庭婦人バドミントン大会を主管

1995年 平成７年　7月　第13回全日本家庭婦人バドミントン競技大会都道府県対抗戦　初優勝
10月　国際親善婦人バドミントン大会'95 記念祝賀会開催　於　府立体育会館

1996年	7月	第14回全日本家庭婦人バドミントン競技大会都道府県対抗戦　連覇
平成８年	10月	国際親善婦人バドミントン大会'96 開催
1997年	7月	第15回全日本家庭婦人バドミントン競技大会都道府県対抗戦　三連覇
平成９年	10月	国際親善婦人バドミントン大会'97 開催
1998年	8月	連盟創立25周年記念祝賀会(嶋会長をかこむ会)開催　於　アウィーナ大阪
平成10年	10月	国際親善婦人バドミントン大会'98 開催
1999年	10月	国際親善婦人バドミントン大会'99 開催
平成11年		
2000年	4月	大阪府レディースバドミントン連盟と改称
平成12年	5月	理事長　村井広美　日本レディースバドミントン連盟理事長に就任
	7月	第18回全日本レディースバドミントン選手権大会都道府県対抗戦　優勝
	10月	国際親善レディースバドミントン大会2000 開催
2001年	8月	第19回全日本レディースバドミントン選手権大会都道府県対抗戦　連覇
平成13年	10月	国際親善レディースバドミントン大会2001 開催
2002年	4月	役員交代　　名誉会長　嶋　久雄　　三代会長　江村美代子
平成14年	10月	国際親善レディースバドミントン大会2002 開催
2003年	6月	名誉会長　嶋　久雄　逝去　　嶋家・大阪府レディースバドミントン連盟合同葬として葬送
平成15年	7月	第21回全日本レディースバドミントン選手権大会都道府県対抗戦　優勝
	10月	ゴーセン杯第9回国際親善レディースバドミントン大会2003　冠大会とする
2004年	10月	連盟創立30周年記念式典、祝賀会開催　於　ホテル日航大阪
平成16年		功労者研鑽≪感謝状、功労賞、表彰(個人・団体)≫
		ゴーセン杯第10回国際親善レディースバドミントン大会2004開催



2005年	7月	第23回全日本レディースバドミントン選手権大会都道府県対抗戦　優勝
平成17年	10月	ゴーセン杯第11回国際親善レディースバドミントン大会2005開催
2006年	7月	第24回全日本レディースバドミントン選手権大会都道府県対抗戦　連覇
平成18年	10月	ゴーセン杯第12回国際親善レディースバドミントン大会2006開催
2007年	3月	第1回全日本レディースバドミントン競技大会(個人戦)主管(参加数402ダブルス・804名)
平成19年	7月	第25回全日本レディースバドミントン選手権大会都道府県対抗戦　三連覇
	10月	ゴーセン杯第13回国際親善レディースバドミントン大会2007開催
2008年	10月	14th Anniversary International Friendship Ladies Badminton Tournament 2008
平成20年		(Orange County Badminton Club California, U.S.A.)
2009年	4月	理事長交代　第四代会長　村井広美　　理事長　廣瀬園子
平成21年		国際親善レディースバドミントン大会　日本レディースバドミントン連盟に移管
	10月	ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2009　主管(参加数231チーム)
2010年	5月	近畿レディースバドミントン連盟30周年記念大会・記念祝賀会を当番県として主管・開催
平成22年	7月	第28回全日本レディースバドミントン選手権大会都道府県対抗戦　優勝　通算10回優勝
	10月	ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2010　主管(参加数219チーム)
		世界バドミントン連盟(BWF)副会長　Paisan Rangsikitpho氏、理事　Nora Perry氏　来阪
2011年	10月	ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2011　主管(参加数208チーム)
平成23年		
2012年	6月	会長　村井広美　公益財団法人日本バドミントン協会功労賞受賞
平成24年	10月	ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2012　主管(参加数231チーム)
2013年	5月	会長　村井広美　世界バドミントン連盟(BWF)よりWomen in Badminton Award 受賞
平成25年	6月	会長　村井広美　受賞記念祝賀会開催　於　ホテルニューオータニ大阪
	10月	ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2013　主管(参加数255チーム)

年　　表

年　月 登録人数	大　会　・　関　連　事　業	会　場	チーム数	参加人数
昭和49年度　7.	第1回　大阪府家庭婦人バドミントン親睦会(第1回個人戦)	東大阪学園高校		60名
未登録制	主催 東大阪市バドミントン協会			
	主管 東大阪ミセスバドミントンクラブ			
10.	第1回　関西家庭婦人招待親善バドミントン大会(第1回西日本大会)	東大阪東		108名
	主催 東大阪市教育委員会．体育連盟	中央.東淀川.府立		
	主管 東大阪市バドミントン協会			
11.	第1回　全日本家庭婦人バドミントン大会(任意大会)	東京都	15チーム	116名
	大阪選抜(大阪カージナルス)3位			
昭和50年度　4.	任意団体大阪府家庭婦人バドミントン連盟結成(13団体．112名)			
141名　7.	第2回　大阪府家庭婦人バドミントン大会(第2回個人戦)	東大阪中央		92名
10.	第2回　関西家庭婦人招待親善バドミントン大会	東大阪東		96名
	(主催 東大阪市 第2回西日本大会)			
11.	第2回　全日本家庭婦人バドミントン大会(任意大会)	東京都	48チーム	350名
	(大阪　準優勝)			
昭和51年度　6.	第3回　個人戦	松下		136名
191名　10.	第3回　関西家庭婦人親善バドミントン大会	東大阪東		124名
	(主催 東大阪市 第3回西日本大会)			
11.	第3回　全日本家庭婦人バドミントン大会(任意大会)	東京都	56チーム	420名
	(大阪　準優勝)			
昭和52．　3.	第1回　団体リーグ戦(1部 9チーム．2部 10チーム)	東淀川	19チーム	132名
昭和52年度　6.	第4回　個人戦	東淀川		162名
322名　9.	第2回　団体リーグ戦(1部12チーム．2部 13チーム)	中央	25チーム	178名
11.	第4回　関西家庭婦人親善バドミントン大会	東大阪中央		160名
	(主催 東大阪市 第4回西日本大会)			
11.	第4回　全日本家庭婦人バドミントン大会(任意大会)	中央.東大阪中央	72チーム	550名
	(主管 大阪府家庭婦人バドミントン連盟)			
昭和53．　3.	第1回　ブロック対抗戦	東淀川	4ブロック	
	(北摂．北河内．中河内．泉南泉北ブロック)			
昭和53年度　4.	大阪社会人バドミントン連盟家庭婦人部会発足			
406名　6.	第5回　個人戦	東淀川		202名
8.	第5回　関西家庭婦人親善バドミントン大会	東大阪中央		100名
	(主催 東大阪市 第5回西日本大会)			
9.	第3回　団体リーグ戦(1部～4部)		33チーム	243名
11.	第5回　全日本家庭婦人バドミントン大会(任意大会)	東京都		
昭和54．　2.	第2回　ブロック対抗戦	東淀川	4ブロック	
昭和54年度　4.	大阪府家庭婦人バドミントン連盟発足			
110名　6.	前期団体リーグ戦(1部～4部)	中央．東淀川	32チーム	248名
9.	第6回　個人戦	中央		266名
10.	第6回　関西家庭婦人親善バドミントン大会	東大阪中央		136名
	(主催 東大阪市 第6回西日本大会)			
11.	後期団体リーグ戦(1部～5部)	中央．東淀川	40チーム	318名
昭和55．　2.	第3回　ブロック対抗戦	中央	4ブロック	
昭和55年度　6.	前期団体リーグ戦(1部～6部)	中央．東淀川	48チーム	384名
538名　9.	第7回　個人戦	中央．東淀川		296名
10.	第7回　関西家庭婦人バドミントン大会　(第7回西日本大会)	東大阪中央		196名
	主催 東大阪市から大阪府家庭婦人 バドミントン連盟に移管			
11.	後期団体リーグ戦(1部～7部)	東淀川	56チーム	442名
昭和56．　3.	第4回　ブロック対抗戦	東淀川	4ブロック	
3.	第3回　近畿家庭婦人バドミントン大会			
昭和56年度　6.	前期団体リーグ戦(1部～7部)	中央．東淀川	53チーム	427名
655名　6.	近畿家庭婦人バドミントン大会 主管大阪府家庭婦人バドミントン連盟	臨海	21チーム	154名
8.	くろんど池合宿	サンヨー(奈良)		60名
9.	第8回　個人戦	中央．東淀川		338名
10.	第8回　関西家庭婦人バドミントン大会　(第8回西日本大会)	中央		342名
11.	後期団体リーグ戦(1部～7部)	中央．東淀川	56チーム	454名
昭和57．　3.	第5回　ブロック対抗戦	東淀川	6ブロック	
	(豊能．三島．北河内．中河内．泉南泉北．市内)			

年　月 登録人数	大　会　・　関　連　事　業	会　場	チーム数	参加人数
昭和57年度　6.	前期団体リーグ戦(1部～8部)	中央．東淀川．府立	64チーム	519名
759名　8.	くろんど池合宿	サンヨー(奈良)		60名
9.	第9回　個人戦	中央．東淀川		386名
10.	第9回　関西家庭婦人バドミントン大会　　(第9回西日本大会)	中央		360名
	後期団体リーグ戦(1部～9部)	中央．東淀川	71チーム	571名
昭和58．　3.	第6回　ブロック対抗戦	東淀川	6ブロック	
3.	第1回　大阪府実業団バドミントン連盟と役員親善大会	阪急電鉄		30名
昭和58年度　6.	前期団体リーグ戦(1部～10部)	中央．東淀川	80チーム	642名
817名　8.	第1回　全日本家庭婦人バドミントン競技大会	東京都		
8.	くろんど池合宿	サンヨー(奈良)		60名
9. 10.	第10回 個人戦	東淀川．府立		392名
10.	第10回 西日本家庭婦人バドミントン大会 (創立10周年記念大会・祝賀会) 関西家庭婦人バドミントン大会を西日本家庭婦人バドミントン大会と改称	中央		368名
11. 12.	後期団体リーグ戦(1部～10部)	中央．東淀川	81チーム	631名
昭和59．　3.	第7回　ブロック対抗戦 (豊能．三島．北河内．中河内．泉南泉北．市内．南河内)	中央	7ブロック	
3.	第2回　大阪府実業団バドミントン連盟と役員親善大会	電電近畿		24名
昭和59年度 5.6.7.	前期団体リーグ戦(1部～11部)	中央．東淀川．府立	86チーム	681名
845名　8.	第2回　全日本家庭婦人バドミントン競技大会 (クラブ対抗　清水クラブ 準優勝)	東京都		
8. 9.	第11回 個人戦	中央．東淀川		396名
10.	第11回 西日本家庭婦人バドミントン大会	中央		376名
10. 11.	後期団体リーグ戦(1部～11部)	中央．東淀川	88チーム	688名
昭和60．　3.	第8回　ブロック対抗戦	中央	7ブロック	
昭和60年度　4.	第3回　大阪府実業団バドミントン連盟と役員親善大会	川崎重工		20名
812名　5. 6.	前期団体リーグ戦(1部～11部)	中央．東淀川	87チーム	674名
5.	第3回　全日本家庭婦人バドミントン競技大会(都道府県)	東京都		
6.	第3回　全日本家庭婦人バドミントン競技大会 クラブ対抗 大阪府予選会	東淀川	21チーム	
8.	第3回　全日本家庭婦人バドミントン競技大会(クラブ対抗)	東京都		
9.	第12回 個人戦	中央．東淀川		374名
10.	第12回 西日本家庭婦人バドミントン大会	中央		396名
10. 11.	後期団体リーグ戦(1部～11部)	中央．東淀川	86チーム	673名
12.	神戸外人クラブ(KRAC)親善試合			
昭和61．　3.	第9回　ブロック対抗戦	東淀川	7ブロック	
3.	神戸外人クラブ(KRAC)親善試合			
昭和61年度　5.	第4回　全日本家庭婦人バドミントン競技大会 クラブ対抗 大阪府予選会	箕面	18チーム	
878名　5. 6.	前期団体リーグ戦(1部～11部)	中央．東淀川	88チーム	711名
8.	第4回　全日本家庭婦人バドミントン競技大会 (都道府県対抗　大阪　3位)	東京都		
9.	第13回 個人戦	東淀川		388名
10.	第13回 西日本家庭婦人バドミントン大会	中央		356名
10. 11.	後期団体リーグ戦(1部～11部)	中央．東淀川	91チーム	712名
昭和62．　2.	神戸外人クラブ(KRAC)親善試合			
3.	第10回 ブロック対抗戦		7ブロック	
3.	第9回　近畿家庭婦人バドミントン大会	東淀川		
昭和62年度　4.	第5回　全日本家庭婦人バドミントン競技大会 クラブ対抗 大阪府予選会	東淀川	21チーム	166名
901名　5. 6.	前期団体リーグ戦(1部～12部)	中央．東淀川	96チーム	755名
7.	第5回　全日本家庭婦人バドミントン競技大会 (クラブ対抗　高額クラブ 3位)	京都府		
9.	第14回 個人戦	中央．東淀川		162名
10.	第14回 西日本家庭婦人バドミントン大会	中央		322名
10. 11. 12.	後期団体リーグ戦(1部～12部)	中央．東淀川	97チーム	786名
昭和63．　2.	第5回　大阪府実業団バドミントン連盟と役員親善大会	日立		31名
3.	第11回 ブロック対抗戦	中央	7ブロック	

年　月 登録人数	大　会　・　関　連　事　業	会　場	チーム数	参加人数
昭和63年度 5.6.	前期団体リーグ戦(1部～12部)	中央. 東淀川	97チーム	782名
931名 5.	第6回　全日本家庭婦人バドミントン競技大会 クラブ対抗 大阪府予選会	中央	19チーム	157名
8.	第6回　全日本家庭婦人バドミントン競技大会	東京都		
8. 9.	第15回 個人戦	中央. 東淀川		460名
10.	第15回 西日本家庭婦人バドミントン大会 (創立15周年記念大会)	中央		464名
11. 12.	後期団体リーグ戦(1部～13部)	中央. 東淀川	102チーム	813名
平成元年 2.	第12回 ブロック対抗戦	中央	7ブロック	
3.	第6回　大阪府実業団バドミントン連盟と役員親善大会	東淀川		33名
平成元年度 4.5.	前期団体リーグ戦(1部～13部)	中央. 東淀川	108チーム	766名
953名 5.	第7回　全日本家庭婦人バドミントン競技大会 クラブ対抗 大阪府予選会	中央	21チーム	173名
6. 7.	第16回 個人戦	中央.東淀川.守口		456名
8.	第7回　全日本家庭婦人バドミントン競技大会 主管 大阪府家庭婦人バドミントン連盟	大阪府	67チーム	545名
9. 10. 11.	後期団体リーグ戦(1部～14部)	中央.東淀川.守口	109チーム	775名
10.	第16回 西日本家庭婦人バドミントン大会	府立	109チーム	608名
平成2. 3.	第13回 ブロック対抗戦	東淀川	7ブロック	
3.	第7回　大阪府実業団バドミントン連盟と役員親善大会	英田(岡山)		22名
平成2年度 992名	定期大会の一部(前・後期団体リーグ戦. 個人戦. ブロック対抗戦) をブロック主体の運営に移行。			
4. 5. 6.	前期団体リーグ戦(1部～14部)	東淀川. 守口	111チーム	850名
5.	第8回　全日本家庭婦人バドミントン競技大会 クラブ対抗 大阪府予選会	東淀川	21チーム	174名
7.	第8回　全日本家庭婦人バドミントン競技大会 (都道府県対抗　大阪　準優勝)	石川県		
9. 10.	第17回 個人戦	東淀川. 守口		492名
10.	第17回 西日本家庭婦人バドミントン大会	府立		630名
11. 12.	後期団体リーグ戦(1部～14部)	東淀川. 守口	112チーム	891名
平成3. 3.	第14回 ブロック対抗戦	東淀川	7ブロック	
3.	第8回　大阪府実業団バドミントン連盟と役員親善大会	府立第2		32名
平成3年度 5. 6.	前期団体リーグ戦(1部～14部)	中央. 東淀川	114チーム	886名
1009名 5.	第9回　全日本家庭婦人バドミントン競技大会 クラブ対抗 大阪府予選会	中央	28チーム	224名
7.	第9回　全日本家庭婦人バドミントン競技大会	東京都		
9.	第18回 個人戦	中央.東淀川.守口		544名
10.	第18回 西日本家庭婦人バドミントン大会	府立.クボタ		680名
10. 11. 12.	後期団体リーグ戦(1部～14部)	中央.東淀川.守口	114チーム	897名
平成4. 3.	第15回 ブロック対抗戦	中央	7ブロック	
3.	第9回　大阪府実業団バドミントン連盟と役員親善大会	日立		32名
平成4年度 5. 6.	前期団体リーグ戦(1部～15部)	中央. 東淀川	122チーム	972名
1097名 6.	第10回 全日本家庭婦人バドミントン競技大会 クラブ対抗 大阪府予選会	中央	33チーム	270名
8.	第10回 全日本家庭婦人バドミントン競技大会 (クラブ対抗　清水クラブ 3位)	北海道		
9.	第19回 個人戦	中央.東淀川.守口		612名
10.	第19回 西日本家庭婦人バドミントン大会	府立.クボタ		660名
11.	後期団体リーグ戦(1部～15部)	中央.東淀川.守口	123チーム	969名
平成5. 3.	第16回 ブロック対抗戦	中央	7ブロック	
3.	第10回 大阪府実業団バドミントン連盟と役員親善大会	大和HK		32名
3.	第15回 近畿家庭婦人バドミントン大会	中央		
平成5年度 5. 6.	前期団体リーグ戦(1部～16部)	中央. 東淀川	129チーム	998名
1042名 5.	第11回 全日本家庭婦人バドミントン競技大会 クラブ対抗 大阪府予選会	中央	21チーム	164名
8.	第11回　全日本家庭婦人バドミントン競技大会 (都道府県対抗　大阪　準優勝)	東京都		
8. 9. 10.	第20回 個人戦	中央. 東淀川		650名
10.	第20回 西日本家庭婦人バドミントン大会 (創立20周年　記念大会)	府立. クボタ		708名
11.	後期団体リーグ戦 (1部～17部)	中央. 東淀川. 守口	135チーム	1070名
平成6. 2.	第17回 ブロック対抗戦	中央	7ブロック	

年　月 登録人数	大　会　・　関　連　事　業	会　場	チーム数	参加人数
平成6年度　4.	第12回 全日本家庭婦人バドミントン競技大会 クラブ対抗 大阪府予選会	中央		
1103名　5. 6.	前期団体リーグ戦 (1部～17部)	中央. 東淀川	134チーム	1045名
7.	第12回 全日本家庭婦人バドミントン競技大会	愛知県		
9.	第21回 個人戦	中央. 東淀川		626名
10.	第21回 西日本家庭婦人バドミントン大会	府立. クボタ		774名
11. 12.	後期団体リーグ戦 (1部～17部)	中央. 東淀川	140チーム	1095名
平成7.　2.	第18回 ブロック対抗戦	中央	7ブロック	
平成7年度　5.	第13回 全日本家庭婦人バドミントン競技大会 クラブ対抗 大阪府予選会	中央	40チーム	
1158名　5. 6.	前期団体リーグ戦 (1部～18部)	中央. 東淀川	147チーム	1123名
7.	第13回 全日本家庭婦人バドミントン競技大会 (都道府県対抗 大阪 優勝)	長崎県		
9.	第22回 個人戦	中央. 東淀川		692名
10.	第1回 国際親善婦人バドミントン大会'95	府立. クボタ	155チーム	1122名
10. 11. 12.	後期団体リーグ戦 (1部～18部)	東大阪. 東淀川	148チーム	1168名
平成8.　2.	第19回 ブロック対抗戦	中央	7ブロック	
平成8年度　5.	第14回 全日本家庭婦人バドミントン競技大会 クラブ対抗 大阪府予選会	東大阪	43チーム	326名
1201名　5. 6.	前期団体リーグ戦 (1部～19部)	東大阪. 東淀川	152チーム	1172名
7.	第14回 全日本家庭婦人バドミントン競技大会 (都道府県対抗 大阪 優勝　クラブ対抗 清水クラブ 3位)	島根県		
9.	第23回個人戦	東大阪.東淀川		680名
10.	第2回 国際親善婦人バドミントン大会'96	府立	148チーム	1102名
10. 11. 12.	後期団体リーグ戦 (1部～19部)	中央.東大阪.東淀川	156チーム	1203名
平成9.　2.	第20回 ブロック対抗戦	東大阪	7ブロック	
平成9年度　5.	第15回 全日本家庭婦人バドミントン競技大会 クラブ対抗 大阪府予選会	東大阪	38チーム	288名
1240名　5. 6.	前期団体リーグ戦 (1部～20部)	東大阪. 東淀川	157チーム	1214名
7.	第15回 全日本家庭婦人バドミントン競技大会 (都道府県対抗 大阪 優勝)	福島県		
9.	第24回 個人戦	東大阪. 東淀川		724名
10.	第3回 国際親善婦人バドミントン大会'97	府立	135チーム	1028名
11. 12.	後期団体リーグ戦 (1部～20部)	中央.東大阪.東淀川	156チーム	1216名
平成10.　3.	第21回 ブロック対抗戦	東大阪	7ブロック	
平成10年度　5.	第16回 全日本家庭婦人バドミントン競技大会 クラブ対抗 大阪府予選会	東大阪	45チーム	346名
1364名　5. 6.	前期団体リーグ戦 (1部～20部)	東大阪. 東淀川	162チーム	1228名
7.	第16回 全日本家庭婦人バドミントン競技大会 (都道府県対抗 大阪 3位)	東京都		
9.	第25回 個人戦	東大阪. 東淀川		748名
10.	第4回 国際親善婦人バドミントン大会'98	府立	131チーム	1004名
10. 11. 12.	後期団体リーグ戦 (1部～21部)	東大阪. 東淀川	166チーム	1269名
平成11.　3.	第22回 ブロック対抗戦	東大阪	7ブロック	
3.	第21回 近畿家庭婦人バドミントン大会	東大阪		
平成11年度　5.	第17回 全日本家庭婦人バドミントン競技大会 クラブ対抗 大阪府予選会	東大阪	43チーム	330名
1398名　5. 6.	前期団体リーグ戦 (1部～21部)	東大阪. 東淀川	168チーム	1293名
7.	第17回 全日本家庭婦人バドミントン競技大会 (クラブ対抗 清水クラブ 優勝)	香川県		
9.	第26回 個人戦	東大阪. 東淀川		746名
10.	第5回 国際親善婦人バドミントン大会'99	府立	150チーム	1132名
10. 11. 12.	後期団体リーグ戦 (1部～21部)	東大阪. 東淀川	169チーム	1311名
平成12.　3.	第23回 ブロック対抗戦	東大阪	7ブロック	
平成12年度　5.	第18回 全日本レディースバドミントン選手権大会 クラブ対抗 大阪府予選会	東大阪	15チーム	338名
1388名	全日本家庭婦人バドミントン競技大会を全日本レディース選手権大会と改称			
5. 6.	前期団体リーグ戦 (1部～22部)	東大阪. 東淀川	173チーム	1305名
7.	第18回 全日本レディース選手権大会 (都道府県対抗 大阪 優勝)	千葉県		
9.	第27回 個人戦	東大阪. 東淀川		768名
10.	第6回 国際親善レディースバドミントン大会2000	府立	167チーム	1258名
11. 12.	後期団体リーグ戦 (1部～22部)	東大阪. 東淀川	173チーム	1322名
平成13.　3.	第24回 ブロック対抗戦	東大阪	7ブロック	

年　月 登録人数	大　会　・　関　連　事　業	会　場	チーム数	参加人数
平成13年度　5.	第19回 全日本レディースバドミントン選手権大会　クラブ対抗　大阪府予選会	東大阪	43チーム	335名
1429名　5. 6.	前期団体リーグ戦（1部～22部）	東大阪．東淀川	175チーム	1324名
8.	第19回　全日本レディース選手権大会 （都道府県対抗　大阪　優勝）	北海道		
9.	第28回　個人戦	東大阪．東淀川		752名
10.	第7回　国際親善レディースバドミントン大会2001	府立	163チーム	1223名
11. 12.	後期団体リーグ戦（1部～22部）	東大阪．東淀川	173チーム	1344名
平成14.　3.	第25回　ブロック対抗戦	東大阪	7ブロック	
平成14年度　5.	第20回 全日本レディースバドミントン選手権大会　クラブ対抗　大阪府予選会	東大阪	48チーム	364名
1419名　5. 6.	前期団体リーグ戦（1部～21部）	東大阪．東淀川	169チーム	1287名
7.	第20回　全日本レディース選手権大会 （都道府県対抗　大阪　3位）	奈良県		
9.	第29回　個人戦	東大阪．東淀川		768名
10.	第8回　国際親善レディースバドミントン大会2002	府立	169チーム	1269名
10. 11. 12.	後期団体リーグ戦（1部～22部）	東大阪．東淀川	175チーム	1344名
平成15.　3.	第26回　ブロック対抗戦	東大阪	7ブロック	
平成15年度　5.	第21回 全日本レディースバドミントン選手権大会　クラブ対抗　大阪府予選会	東大阪	50チーム	390名
1422名　5. 6.	前期団体リーグ戦（1部～22部）	東大阪．東淀川	175チーム	1325名
7.	第21回　全日本レディース選手権大会 （都道府県対抗　大阪　優勝）	東京都		
9.	第30回　個人戦	東大阪．東淀川		752名
10.	ゴーセン杯　第9回国際親善レディースバドミントン大会2003	府立	178チーム	1338名
10. 11. 12.	後期団体リーグ戦（1部～22部）	東大阪．東淀川	177チーム	1352名
平成16.　3.	第27回　ブロック対抗戦	東大阪	7ブロック	
平成16年度　4.	第22回 全日本レディースバドミントン選手権大会　クラブ対抗　大阪府予選会	東大阪	51チーム	382名
1415名　5. 6.	前期団体リーグ戦（1部～22部）	東大阪．東淀川	177チーム	1325名
7.	第22回　全日本レディース選手権大会	栃木県		
9.	第31回　個人戦	東大阪．東淀川		730名
10.	ゴーセン杯　第10回国際親善レディースバドミントン大会2004	府立	191チーム	1433名
11. 12.	後期団体リーグ戦（1部～22部）	東大阪．東淀川	175チーム	1323名
平成17.　3.	第28回　ブロック対抗戦	東大阪	7ブロック	
3.	第27回　近畿レディースバドミントン大会	東大阪		
平成17年度　4.	第23回 全日本レディースバドミントン選手権大会　クラブ対抗　大阪府予選会	東大阪	44チーム	345名
1416名　5. 6.	前期団体リーグ戦（1部～22部）	東大阪．東淀川	176チーム	1325名
7.	第23回　全日本レディース選手権大会 （都道府県対抗　大阪　優勝）	福岡県		
9.	第32回　個人戦	東大阪．東淀川		678名
10.	ゴーセン杯　第11回国際親善レディースバドミントン大会2005	府立	183チーム	1361名
11. 12.	後期団体リーグ戦（1部～22部）	東大阪．東淀川	175チーム	1332名
平成18.　3.	第29回　ブロック対抗戦	東大阪	7ブロック	
平成18年度　4.	第24回 全日本レディースバドミントン選手権大会　クラブ対抗　大阪府予選会	東大阪	46チーム	353名
1419名　5. 6.	前期団体リーグ戦（1部～22部）	東大阪．東淀川	175チーム	1327名
7.	第24回　全日本レディース選手権大会 （都道府県対抗　大阪　優勝）	石川県		
9.	第33回　個人戦	東大阪．東淀川		722名
10.	ゴーセン杯　第12回国際親善レディースバドミントン大会2006	府立	184チーム	1374名
11. 12.	後期団体リーグ戦（1部～22部）	東大阪．東淀川	177チーム	1358名
平成19.　2.	第30回　ブロック対抗戦	東大阪	7ブロック	
3.	第1回　全日本レディースバドミントン競技大会（個人戦）	東大阪		804名
平成19年度　4.	第25回 全日本レディースバドミントン選手権大会　クラブ対抗　大阪府予選会	東大阪	41チーム	330名
1172名　5. 6.	前期団体リーグ戦（1部～23部）	東大阪．東淀川	182チーム	1380名
7.	第25回　全日本レディース選手権大会 （都道府県対抗　大阪　優勝　クラブ対抗　あいCLUB　3位）	愛媛県		
9.	第34回　個人戦	東大阪		744名
10.	ゴーセン杯　第13回国際親善レディースバドミントン大会2007	府立．浪速	210チーム	1564名
11. 12.	後期団体リーグ戦（1部～23部）	東大阪．東淀川	183チーム	1404名
平成20.　3.	第31回　ブロック対抗戦	東大阪	7ブロック	

年　月 登録人数	大　会　・　関　連　事　業	会　場	チーム数	参加人数
平成20年度　4.	第26回 全日本レディースバドミントン選手権大会　クラブ対抗　大阪府予選会	東大阪	41チーム	337名
1487名　5.　6.	前期団体リーグ戦（1部～23部）	東大阪．東淀川	185チーム	1391名
7.	第26回　全日本レディース選手権大会	愛知県		
	（都道府県対抗　大阪　3位　　クラブ対抗　四條畷クラブ　準優勝）			
9.	第35回　個人戦	東大阪		774名
10.	14th Anniversary International Friendship Ladies Badminton Tournament 2008	U.S.A.	71チーム	471名
10. 11.	後期団体リーグ戦（1部～24部）	東大阪．東淀川	188チーム	1429名
平成21.　3.	第32回　ブロック対抗戦	東大阪	7ブロック	
平成21年度　4.	第27回 全日本レディースバドミントン選手権大会　クラブ対抗　大阪府予選会	東大阪	41チーム	330名
1540名　5.　6.	前期団体リーグ戦（1部～24部）	東大阪．東淀川	189チーム	1426名
7.	第27回　全日本レディース選手権大会	岡山県		
	（クラブ対抗　あいCLUB　準優勝）			
9.	第36回　個人戦	東大阪		740名
10.	ヨネックス杯　第15回国際親善レディースバドミントン大会2009	府立．浪速	231チーム	1703名
11. 12.	後期団体リーグ戦（1部～24部）	東大阪．東淀川	191チーム	1480名
平成22.　3.	第33回　ブロック対抗戦	東大阪	7ブロック	
平成22年度　4.	第28回 全日本レディースバドミントン選手権大会　クラブ対抗　大阪府予選会	東大阪	45チーム	364名
1574名　5.　6.	前期団体リーグ戦（1部～24部）	東大阪	194チーム	1426名
7.	第28回　全日本レディース選手権大会	宮城県		
	（都道府県対抗　大阪　優勝）			
9.	第37回　個人戦	東大阪		794名
10.	ヨネックス杯　第16回国際親善レディースバドミントン大会2010	府立．浪速	219チーム	1617名
11. 12.	後期団体リーグ戦（1部～24部）	東大阪	193チーム	1493名
平成23.　3.	第34回　ブロック対抗戦	東大阪	7ブロック	
3.	第33回　近畿レディースバドミントン大会	東大阪		
平成23年度　4.	第29回 全日本レディースバドミントン選手権大会　クラブ対抗　大阪府予選会	東大阪	40チーム	323名
1564名　5.　6.	前期団体リーグ戦（1部～25部）	東大阪	196チーム	1426名
7.	第29回　全日本レディース選手権大会	兵庫県		
	（都道府県対抗　大阪　準優勝　　クラブ対抗　あいCLUB　準優勝）			
9.	第38回　個人戦	東大阪		778名
10.	ヨネックス杯　第17回国際親善レディースバドミントン大会2011	府立．浪速	208チーム	1532名
11. 12.	後期団体リーグ戦（1部～25部）	東大阪	196チーム	1493名
平成24.　3.	第35回　ブロック対抗戦	東大阪	7ブロック	
平成24年度　4.	第30回 全日本レディースバドミントン選手権大会　クラブ対抗　大阪府予選会	東大阪	38チーム	313名
1574名　5.　6.	前期団体リーグ戦（1部～25部）	東大阪	196チーム	1483名
7.	第30回　全日本レディース選手権大会	北海道		
	（都道府県対抗　大阪　準優勝）			
9.	第39回　個人戦	東大阪		792名
10.	ヨネックス杯　第18回国際親善レディースバドミントン大会2012	BODYMAKER．浪速	231チーム	1691名
11. 12.	後期団体リーグ戦（1部～25部）	東大阪	199チーム	1515名
平成25.　3.	第36回　ブロック対抗戦	東大阪	7ブロック	
平成25年度　4.	第31回 全日本レディースバドミントン選手権大会　クラブ対抗　大阪府予選会	東大阪	38チーム	306名
1483名　5.	前期団体リーグ戦（1部～25部）	東大阪	201チーム	1462名
7.	第31回　全日本レディース選手権大会	神奈川県		
	（都道府県対抗　大阪　準優勝　　クラブ対抗　あいCLUB　優勝）			
9.	第40回　個人戦	東大阪		764名
10.	ヨネックス杯　第19回国際親善レディースバドミントン大会2013	BODYMAKER．浪速	255チーム	1860名
11.	後期団体リーグ戦（1部～25部）	東大阪	202チーム	1523名
平成26.　3.	第37回　ブロック対抗戦	東大阪	7ブロック	

歴 代 役 員

役員 / 年度	会長 / 副会長	顧問 / 参与	理事長 / 副理事長	常任理事				(会計監査)
1974年 昭和 49年				東大阪ミセスバドミントンクラブ(東大阪M.B.C) 有志による運営				
1975年 昭和 50年	村上平一郎 又吉文郎		黒田勝之	(クラブ代表者他) 柴田恵美子(守口) 岩上和子(M.B.C) 小笠原弘子(M.B.C)	 上田光代(門真) 池田紗千子(桜ヶ丘) 岸美佐子(守口)	江原美智子(高嶺) 酒巻八重子(牧野) 安川ちず子(門真) 宮田早苗(牧野)	村井広美(M.B.C) 中村晴子(高嶺) 上辻光子(豊中)	
1976年 昭和 51年	村上平一郎 又吉文郎		黒田勝之 春木 勇	(クラブ代表者他) 柴田恵美子(守口) 宮本明子(豊中) 田中美保子(高嶺) 加藤ゆり(八尾)	村井広美(M.B.C) 上辻光子(豊中) 魚住須美子(富田林) 服部春代(吹田)	江原美智子(高嶺) 池田紗千子(桜ヶ丘) 荒川知子(豊中) 米田美代子(長瀬東) 上田光代(門真)	酒巻八重子(牧野) 岩上和子(M.B.C) 木戸正恵(枚方) 金子千鶴子(岸和田) 黒田美代子(寝屋川)	
1977年 昭和 52年	村上平一郎 春木 勇		黒田勝之 村井広美 池田紗千子 柴田恵美子	魚住須美子 上田光代	岩上和子 井下知子	上辻光子	宮本明子	(井下知子)
1978年 昭和 53年	社会人連盟会長 嶋 久雄 (専門理事) 黒田勝之		(婦人部会委員長) 村井広美 (副委員長) 池田紗千子 柴田恵美子 上田光代	(運営委員) 井下知子 妹尾弘美	室井比呂美 魚住須美子 柴山三枝	中村晴子 上辻光子	服部春代 宮本明子	(井下知子)
1979年 昭和 54年	嶋 久雄 黒田勝之	中西正安 白銀茂夫 降井欽一	村井広美 池田紗千子 柴田恵美子 上田光代	室井比呂美 魚住須美子 高橋ツヤ子	上辻光子 人見喜久枝 水原和子	辻本節子 山崎桂子 山村佳子 (妹尾弘美	柴山三枝 小池妃美子 妹尾弘美 魚住須美子)	
1980年 昭和 55年	嶋 久雄 黒田勝之	中西正安 白銀茂夫 降井欽一	村井広美 池田紗千子 柴田恵美子 上田光代	室井比呂美 人見喜久枝 水原和子	上辻光子 小倉祥代 山村佳子	辻本節子 小池妃美子 (魚住須美子	柴山三枝 吉田静子 妹尾弘美)	
1981年 昭和 56年	嶋 久雄 黒田勝之	中西正安 白銀茂夫 降井欽一	村井広美 上田光代	柴田恵美子 上辻光子 桝田信子 人見喜久枝	池田紗千子 辻本節子 原田ヒロ子 山川佳都	室井比呂美 水原和子 小池妃美子 小倉祥代 (魚住須美子	柴山三枝 桂よしみ 石原淳子 妹尾弘美)	
1982年 昭和 57年	嶋 久雄 黒田勝之	中西正安 柳内宏規 山下克彦	村井広美 上田光代	柴田恵美子 辻本節子 原田ヒロ子 山川佳都	池田紗千子 水原和子 小池妃美子 小倉祥代	室井比呂美 柴山三枝 桂よしみ 石原淳子 (魚住須美子	上辻光子 桝田信子 人見喜久枝 妹尾弘美)	

役員 年度	会長 副会長	顧問 参与	理事長 副理事長	常任理事			(会計監査)	事務局員
1983年				池田紗千子	上辻光子	水原和子	桂よしみ	
	嶋 久雄	柳内宏規	村井広美	山川佳都	小倉祥代	小池妃美子	末次三千代	
昭和		山下克彦		西野幸子	山村晏江	相沢邦子	高野久美子	
58年	黒田勝之	藤田 彪	上田光代	和田豊子	石原淳子			
						(魚住須美子	室井比呂美)	
1984年				池田紗千子	上辻光子	水原和子	桂 よしみ	
	嶋 久雄	柳内宏規	村井広美	山川佳都	小倉祥代	小池妃美子	末次三千代	
昭和		山下克彦		西野幸子	山村晏江	相沢邦子	高野久美子	
59年	黒田勝之	藤田 彪	上田光代	和田豊子	石原淳子			
						(魚住須美子	室井比呂美)	
1985年				池田紗千子	山村晏江	石原淳子	上辻光子	
	嶋 久雄	柳内宏規	村井広美	相沢邦子	長澤照子	小池妃美子	西山恵子	
昭和		山下克彦		室井比呂美	西野幸子	高野久美子	桂 よしみ	
60年	村井広美	藤田 彪	上田光代	和田豊子	末次三千代	水原和子	桑野ひろみ	
						(魚住須美子	嶋 由美子)	
1986年				池田紗千子	山村晏江	石原淳子	相沢邦子	
	嶋 久雄	柳内宏規	村井広美	長澤照子	小池妃美子	西山恵子	室井比呂美	
昭和		山下克彦		西野幸子	高野久美子	桂 よしみ	和田豊子	
61年	村井広美	藤田 彪	上田光代	末次三千代	水原和子	桑野ひろみ		
						(魚住須美子	嶋 由美子)	
1987年				山村晏江	山崎桂子	長澤照子	高松美奈子	
	嶋 久雄	柳内宏規	村井広美	小池妃美子	西野幸子	高野久美子	西 ゑみこ	
昭和		山下克彦		桂 よしみ	木下敏子	水原和子	飯山シズエ	
62年	村井広美	藤田 彪	上田光代 池田紗千子	桑野ひろみ	正木佐喜			
						(嶋 由美子	室井比呂美)	
1988年		柳内道生		山村晏江	山崎桂子	長澤照子	高松美奈子	
	嶋 久雄	山下克彦	村井広美	小池妃美子	西野幸子	高野久美子	西 ゑみこ	
昭和		藤田 彪		桂 よしみ	木下敏子	水原和子	飯山シズエ	
63年	村井広美	黒田勝之	上田光代 池田紗千子	桑野ひろみ	正木佐喜			
						(嶋 由美子	室井比呂美)	
1989年		柳内道生		山村晏江	山崎桂子	長澤照子	高松美奈子	
	嶋 久雄	山下克彦	村井広美	小池妃美子	中川博子	西野幸子	高野久美子	
平成		浅田正徳		西 ゑみこ	桂 よしみ	土肥昌代	飯山シズエ	
元年	村井広美	黒田勝之	上田光代 池田紗千子	水原和子	正木佐喜	辻本節子		
						(嶋 由美子	室井比呂美)	
1990年		柳内道生		山村晏江	山崎桂子	長澤照子	高松美奈子	
	嶋 久雄	浅田正徳	村井広美	小池妃美子	中川博子	西野幸子	高野久美子	
平成		井上吉雄		西 ゑみこ	桂 よしみ	土肥昌代	鎌谷禎子	
2年	村井広美	黒田勝之	上田光代 池田紗千子	水原和子	正木佐喜	辻本節子		
						(嶋 由美子	室井比呂美)	
1991年		柳内道生		山村晏江	原 一美	長澤照子	廣瀬園子	
	嶋 久雄	浅田正徳	村井広美	松政ひさ子	小池妃美子	平井和世	西野幸子	
平成		井上吉雄		向井信子	桂 よしみ	土肥昌代	松川邦江	
3年	村井広美	黒田勝之	上田光代 池田紗千子	水原和子	鎌谷禎子	田中美千代	辻本節子	
				北田雅子		(嶋 由美子	室井比呂美)	前田妙子
1992年		浅田正徳		山村晏江	原 一美	長澤照子	廣瀬園子	
	嶋 久雄	井上吉雄	村井広美	松政ひさ子	小池妃美子	平井和世	西野幸子	
平成		西川久義		向井信子	桂 よしみ	土肥昌代	松川邦江	
4年	村井広美	黒田勝之	上田光代 池田紗千子	水原和子	鎌谷禎子	田中美千代	辻本節子	
				北田雅子		(嶋 由美子	室井比呂美)	前田妙子
1993年		浅田正徳		山村晏江	吉市富美子	廣瀬園子	松政ひさ子	
	嶋 久雄	井上吉雄	村井広美	山添笑子	小池妃美子	松岡徳子	西野幸子	
平成		西川久義		向井信子	桂 よしみ	土肥昌代	山口厚子	
5年	村井広美	黒田勝之	上田光代 池田紗千子	水原和子	鎌谷禎子	田中美千代	辻本節子	
				鶴見仁美		(嶋 由美子	室井比呂美)	前田妙子

役員 年度	会長 副会長	顧問 参与	理事長 副理事長	常任理事				(会計監査)	事務局員
1994年		浅田正徳		山村晏江	古市冨美子	廣瀬園子	松政ひさ子		
	嶋 久雄	井上吉雄	村井広美	山添笑子	小池妃美子	松岡徳子	向井信子		
平成		西川久義		大亀八重子	桂 よしみ	土肥昌代	山口厚子		
6年	村井広美	黒田勝之	上田光代 池田紗千子	水原和子	鎌谷禎子	田中美千代	正木佐喜		
				鷲見仁美		(嶋 由美子	室井比呂美)		前田妙子
1995年		浅田正徳	村井広美	山村晏江	古永真弓	廣瀬園子	山添笑子		
	嶋 久雄	井上吉雄		音峰郁子	松岡徳子	小坂 薫	西野幸子		
平成		西川久義	上田光代	向井信子	大亀八重子	桂 よしみ	土肥昌代		
7年	村井広美	黒田勝之	池田紗千子 水原和子	志原律子	大塚シゲ子	鎌谷禎子	渡辺歌子		
				鷲見仁美		(嶋 由美子	室井比呂美)		前田妙子
1996年		浅田正徳	村井広美	山村晏江	古永真弓	廣瀬園子	山添笑子		
	嶋 久雄	井上吉雄		音峰郁子	松岡徳子	小坂 薫	西野幸子		
平成		西川久義	上田光代	向井信子	大亀八重子	桂 よしみ	土肥昌代		
8年	村井広美	黒田勝之	池田紗千子 水原和子	志原律子	大塚シゲ子	鎌谷禎子	渡辺歌子		
				鷲見仁美		(嶋 由美子	室井比呂美)		
1997年		柚山八栄		山村晏江	中田幾子	廣瀬園子	山添笑子		
	嶋 久雄	早瀬久義	村井広美	宮﨑フミエ	松岡徳子	小坂 薫	西野幸子		
平成		森本佳明		向井信子	大亀八重子	木下敏子	土肥昌代		
9年				森本久子	田中美千代	鎌谷禎子	吉村知子		
	村井広美	黒田勝之 池田紗千子	上田光代 水原和子	渡辺歌子	桑野ひろみ				
						(室井比呂美	桂 よしみ)		前田妙子
1998年		神野恒夫		山村晏江	梅原満子	廣瀬園子	山添笑子		
	嶋 久雄	早瀬久義	村井広美	宮﨑フミエ	松岡徳子	小坂 薫	西野幸子		
平成		森本佳明		向井信子	大亀八重子	木下敏子	土肥昌代		
10年				森本久子	田中美千代	鎌谷禎子	吉村知子		
	村井広美	黒田勝之 池田紗千子	上田光代 水原和子	渡辺歌子	桑野ひろみ				
						(室井比呂美	桂 よしみ)		前田妙子
1999年		中村 朽		山村晏江	梶谷恵美代	相沢邦子	廣瀬園子		
	嶋 久雄	早瀬久義	村井広美	宮﨑フミエ	松岡徳子	川副幸子	西野幸子		
平成		森本佳明		向井信子	大亀八重子	木下敏子	土肥昌代		
11年				村上秀子	田中美千代	鎌谷禎子	林 晶子		
	村井広美	黒田勝之 池田紗千子	上田光代	田原貞子	桑野ひろみ				
						(桂 よしみ	水原和子)		永綱万里子
2000年		中村 朽		山村晏江	梶谷恵美代	相沢邦子	廣瀬園子		
	嶋 久雄	早瀬久義	村井広美	宮﨑フミエ	松岡徳子	川副幸子	西野幸子		
平成		江村美代子		向井信子	大亀八重子	木下敏子	土肥昌代		
12年	村井広美			村上秀子	田中美千代	鎌谷禎子	林 晶子		
	森本佳明	黒田勝之 池田紗千子	上田光代	田原貞子	桑野ひろみ				
						(桂 よしみ	水原和子)		永綱万里子
2001年				山村晏江	梶谷恵美代	三口直子	相沢邦子		
	嶋 久雄	角 保宏	村井広美	廣瀬園子	石崎有紀子	松岡徳子	川副幸子		
平成				木村幸子	森元惠子	大亀八重子	木下敏子		
13年	村井広美			広海ひろ子	中村真理子	植野恵美子	田中美千代		
	森本佳明	上田光代 池田紗千子	土肥昌代 西野幸子	鎌谷禎子	田原貞子	井田登喜子			
	江村美代子					(桂 よしみ	水原和子)		小柴成代
2002年	(名誉会長)			山村晏江	梶谷恵美代	三口直子	相沢邦子		
	嶋 久雄	角 保宏	村井広美	廣瀬園子	石崎有紀子	林 美津代	松岡徳子		
平成				川副幸子	木村幸子	森元惠子	大亀八重子		
14年	江村美代子			木下敏子	広海ひろ子	中村真理子	植野恵美子		
	村井広美	上田光代	土肥昌代	田中美千代	鎌谷禎子	田原貞子	井田登喜子		
	森本佳明	池田紗千子	西野幸子			(桂 よしみ	水原和子)		小柴成代

役員 年度	会長 副会長	顧問 参与	理事長 副理事長	常任理事		理事			(会計監査)	事務局員
2003年	(名誉会長)			宮崎真理子	梶谷恵美代	三口直子	廣瀬園子		山本容子	
	嶋 久雄	土方義雄	村井広美	石崎有紀子	松岡徳子	木村幸子	和田登美子		枡本みなみ	
平成	江村美代子			林 美津代	森元惠子	木下敏子	小谷恵美子			
15年	村井広美	上田光代 池田紗千子	土肥昌代 西野幸子	植野恵美子	鎌谷禎子				(山村晏江 桂 よしみ)	小柴成代
2004年				宮崎真理子	梶谷恵美代	三口直子	廣瀬園子		山本容子	
	江村美代子	土方義雄	村井広美	石崎有紀子	松岡徳子	木村幸子	和田登美子		枡本みなみ	
平成				林 美津代	森元惠子	木下敏子	小谷恵美子		朝井和子	
16年	村井広美	上田光代 池田紗千子	土肥昌代	植野恵美子	鎌谷禎子	井田登喜子	新熊美代野			
							(山村晏江	桂 よしみ)		小柴成代
2005年						三口直子	田中佳代子		澤田典子	
	江村美代子	土方義雄	村井広美	小柴成代		百野郁子	林 美津代		末藤かほる	
平成				梶谷恵美代		木村幸子	和田登美子		枡本みなみ	
17年				石崎有紀子		鶴田悦子	十河佳子		小谷恵美子	
	村井広美	上田光代 池田紗千子	廣瀬園子	森元惠子		植野恵美子	北條明子		朝井和子	
						鷲見仁美	新熊美代野			
							(山村晏江	西野幸子)		大亀八重子
2006年						三口直子	田中佳代子		石﨑有紀子	
	江村美代子	土方義雄	村井広美			澤田典子	百野郁子		林 美津代	
平成				梶谷恵美代		末藤かほる	和田登美子		枡本みなみ	
18年						鶴田悦子	十河佳子		小谷恵美子	
			廣瀬園子	木村幸子		植野恵美子	北條明子		朝井和子	
	池田紗千子	上田光代	小柴成代			鷲見仁美	新熊美代野			
			森元惠子				(山村晏江	西野幸子)		大亀八重子
2007年	江村美代子	土方義雄	村井広美	梶谷恵美代		寺澤幸子	永谷美穂		末藤かほる	
				石崎有紀子		上岡百合子	竹田由美子		清水初音	
平成			廣瀬園子	百野郁子		阪口裕子	山本一美		北條明子	
19年	池田紗千子	上田光代	小柴成代	木村幸子		山下貴恵	梅咲晴代		鷲見仁美	
			森元惠子	小谷恵美子			(山村晏江	西野幸子)		大亀八重子
2008年			村井広美	梶谷恵美代	石崎有紀子	寺澤幸子	末藤かほる		上岡百合子	
	江村美代子	大加泰己	(理事長代行)	百野郁子	永谷美穂	清水初音	阪口裕子		山本一美	
平成			廣瀬園子	木村幸子	竹田由美子	北條明子	山下貴恵		梅咲晴代	
20年	池田紗千子	上田光代	小柴成代	小谷恵美子		鷲見仁美				
			森元惠子				(山村晏江	西野幸子)		大亀八重子
2009年	村井広美	大林武夫 江村美代子	廣瀬園子	梶谷恵美代	石崎有紀子	小林真輝	馬面弓子		川内田和子	
				百野郁子	永谷美穂	末藤かほる	城野真知子		阪口裕子	
平成				木村幸子	竹田由美子	中園由紀	山下貴恵		手島 幸	
21年	池田紗千子	上田光代	小柴成代 森元惠子	小谷恵美子		中村智世	梅咲晴代		沼間由美	
							(和田登美子	西野幸子)		大亀八重子
2010年	村井広美	上田博史 江村美代子	廣瀬園子	梶谷恵美代	石崎有紀子	小林真輝	馬面弓子		川内田和子	
				百野郁子	永谷美穂	末藤かほる	城野真知子		阪口裕子	
平成				木村幸子	竹田由美子	中園由紀	山下貴恵		手島 幸	
22年	池田紗千子	上田光代	小柴成代 森元惠子	小谷恵美子		中村智世	梅咲晴代		沼間由美	
							(和田登美子	西野幸子)		大亀八重子
2011年	村井広美	佐々木豪一 江村美代子	廣瀬園子	梶谷恵美代		坂江和枝	能宗豊子		小倉美枝子	
				石崎有紀子		植田玲子	清水初音		西田百代	
平成				百野郁子		原田佳恵	中園由紀		荒本政美	
23年				永谷美穂		手島 幸	中井真由美		中村智世	
	池田紗千子	上田光代	木村幸子 竹田由美子	末藤かほる		和田雅子	沼間由美			
							(和田登美子	西野幸子)		大亀八重子
2012年	村井広美	佐々木豪一 江村美代子	廣瀬園子	梶谷恵美代		坂江和枝	能宗豊子		小倉美枝子	
				石崎有紀子		植田玲子	清水初音		西田百代	
平成				百野郁子		原田佳恵	中園由紀		荒本政美	
24年				永谷美穂		手島 幸	中井真由美		中村智世	
	池田紗千子	上田光代	木村幸子 竹田由美子	末藤かほる		和田雅子	沼間由美			
							和田登美子	西野幸子)		大亀八重子

役員 年度	会　長 副会長	顧　問 参　与	理事長 副理事長	常任理事	理　事	（会計監査）	事務局員
2013年 平成 25年	村井広美	泉　敦 江村美代子	廣瀬園子	坂江和枝　石崎有紀子 百野郁子　永谷美穂 末藤かほる　原田佳恵 中村智世　和田雅子	隈部由香里　能宗豊子　箙　真澄 植田玲子　酒井素子　西田百代 森　葉子　荒本政美　角本純子 金田智惠子　中井真由美　浅井正美 山本久子		
	池田紗千子	上田光代	木村幸子 竹田由美子			（和田登美子　西野幸子）	大亀八重子
2014年 平成 26年	村井広美	泉　敦 江村美代子	廣瀬園子	坂江和枝　石崎有紀子 百野郁子　永谷美穂 末藤かほる　原田佳恵 中村智世　和田雅子	隈部由香里　能宗豊子　箙　真澄 植田玲子　酒井素子　西田百代 森　葉子　荒本政美　角本純子 金田智惠子　中井真由美　浅井正美 山本久子		
	池田紗千子	上田光代	木村幸子 竹田由美子			（和田登美子　西野幸子）	大亀八重子



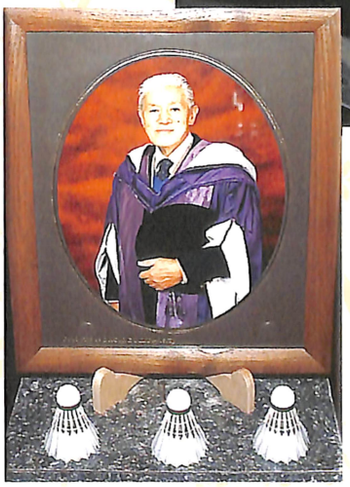
名誉会長　嶋　久雄氏　葬送

平成15年6月27日、ご病床にあった嶋久雄名誉会長が逝去された。昭和53年から28年間にわたり、大阪府レディースバドミントン連盟と共に歩み、連盟の発展のためにご尽力いただいた氏は、夏の始めの朝に九十三歳という天寿を全うされた。連盟では、ご子息嶋浩一氏と大阪府レディースバドミントン連盟の合同葬として葬送の儀を執り行った。また、ゴーセン杯国際親善レディースバドミントン大会2003の大会会場の一角にコーナーを設け（写真）、嶋久雄氏のご遺徳を偲び、在りし日のお姿を懐かしんだ。

嶋久雄氏略歴　海外学術文化協会会長
オックスフォード大学入学選考委員
大阪府バドミントン協会顧問

昭和27年　第5回全日本バドミントン選手権大会年齢別の部優勝
昭和43年　ドイツ連邦政府体育功労賞受賞
昭和52年　藍綬褒章受章
昭和53年　大阪府レディースバドミントン連盟　会長
昭和61年　国際交流と教育学術文化振興の功により文部大臣表彰受賞
平成14年　大阪府レディースバドミントン連盟　名誉会長







歴代正副ブロック長

ブロック	北摂ブロック				北河内ブロック		中河内ブロック	
年度	ブロック長		副ブロック長		ブロック長	副ブロック長	ブロック長	副ブロック長
1977年	池田紗千子				柴田恵美子		村井広美	
昭和52年	(桜ヶ丘)				(守口)		(東大阪M.B.C)	
1978年	妹尾弘美		人見喜久枝		柴田恵美子	上田光代	柴山三枝	北田さく子
53年	(高嶺)		(桜ヶ丘)		(守口)	(門真)	(羽曳野)	(東大阪M.B.C)
1979年	人見喜久枝		山崎桂子		小池妃美子	高橋ツヤ子	柴山三枝	水原和子
54年	(桜ヶ丘)		(池田五月)		(守口)	(寝屋川)	(羽曳野)	(フレンドリー)
1980年	人見喜久枝		小倉祥代		小池妃美子	吉田静子	柴山三枝	水原和子
55年	(桜ヶ丘)		(アイレン)		(守口)	(寝屋川)	(羽曳野)	(フレンドリー)
ブロック	豊能ブロック		三島ブロック		北河内ブロック		中河内ブロック	
年度	ブロック長	副ブロック長	ブロック長	副ブロック長	ブロック長	副ブロック長	ブロック長	副ブロック長
1981年	桝田信子	石田悦子	原田ヒロ子	中石定子	小池妃美子	西山恵子	柴山三枝	阿部久子
56年	(豊中シスターズ)	(池田五月)	(清水)	(吹田)	(守口)	(守口東部)	(羽曳野)	(藤井寺)
1982年	桝田信子	山村晏江	原田ヒロ子	中石定子	小池妃美子	宮地秀子	柴山三枝	阿部久子
57年	(豊中シスターズ)	(桜ヶ丘)	(清水)	(吹田)	(守口)	(枚方シャトルズ)	(羽曳野)	(藤井寺)
1983年	山村晏江	小池房子	相沢邦子	三宅道子	小池妃美子	藤沢英子	高野久美子	向井信子
58年	(桜ヶ丘)	(ささゆり)	(茨木)	(高嶺)	(守口)	(交野)	(八尾)	(東大阪M.B.C)
1984年	山村晏江	小池房子	相沢邦子	三宅道子	小池妃美子	藤沢英子	高野久美子	向井信子
59年	(桜ヶ丘)	(ささゆり)	(茨木)	(高嶺)	(守口)	(交野)	(八尾)	(東大阪M.B.C)
1985年	山村晏江	原　一美	長澤照子	松本美代子	西山恵子	岡田淑子	高野久美子	向井信子
60年	(桜ヶ丘)	(ときわ台)	(吹田ミセス)	(吹田ミセス)	(枚方シャトルズ)	(寝屋川)	(八尾)	(東大阪M.B.C)
1986年	山村晏江	原　一美	長澤照子	松本美代子	西山恵子	中川博子	高野久美子	向井信子
61年	(桜ヶ丘)	(ときわ台)	(吹田ミセス)	(吹田ミセス)	(枚方シャトルズ)	(寝屋川)	(八尾)	(東大阪M.B.C)
1987年	山崎桂子	牛久広美	高松美奈子	八木英子	小池妃美子	中川博子	西　ゑみこ	向井信子
62年	(豊中シスターズ)	(池田)	(高嶺)	(せっつ)	(交野)	(寝屋川)	(柏原ミドルズ)	(東大阪M.B.C)
1988年	山崎桂子	古永真弓	高松美奈子	八木英子	小池妃美子	中川博子	西　ゑみこ	向井信子
63年	(豊中シスターズ)	(池田)	(高嶺)	(せっつ)	(交野)	(寝屋川)	(柏原ミドルズ)	(東大阪M.B.C)
1989年	山崎桂子	古市冨美子	高松美奈子	山藤ひさ子	中川博子	松岡徳子	西　ゑみこ	向井信子
平成元年	(豊中シスターズ)	(つくも)	(高嶺)	(如月)	(寝屋川)	(門真)	(柏原ミドルズ)	(東大阪M.B.C)
1990年	山崎桂子	古市冨美子	高松美奈子	山藤ひさ子	中川博子	松岡徳子	西　ゑみこ	向井信子
2年	(豊中シスターズ)	(つくも)	(高嶺)	(如月)	(寝屋川)	(門真)	(柏原ミドルズ)	(東大阪M.B.C)
1991年	原　一美	古永真弓	松政ひさ子	兼田公子	平井和世	馬越加津子	向井信子	宮崎恵美子
3年	(ときわ台)	(池田)	(せっつ)	(清水)	(枚方フライデー)	(枚方フライデー)	(東大阪M.B.C)	(八尾)
1992年	原　一美	古永真弓	松政ひさ子	兼田公子	平井和世	馬越加津子	向井信子	宮崎恵美子
4年	(ときわ台)	(池田)	(せっつ)	(清水)	(枚方フライデー)	(枚方フライデー)	(東大阪M.B.C)	(八尾)
1993年	古市冨美子	古永真弓	山添笑子	玉垣喜代美	松岡徳子	小坂　薫	向井信子	大亀八重子
5年	(つくも)	(池田)	(如月)	(やよい会)	(門真)	(四条畷)	(東大阪M.B.C)	(八尾)
1994年	古市冨美子	古永真弓	山添笑子	玉垣喜代美	松岡徳子	小坂　薫	大亀八重子	木内明子
6年	(豊中ファミリー)	(池田)	(如月)	(やよい会)	(門真)	(四条畷)	(八尾)	(松原)
1995年	古永真弓	中田幾子	音峰郁子	宮崎フミエ	小坂　薫	花田豊子	大亀八重子	木内明子
7年	(池田)	(桜ヶ丘)	(やよい会)	(島本AOC)	(四条畷)	(交野)	(八尾)	(松原)

ブロック	泉南泉北ブロック					
年度	ブロック長	副ブロック長				
1977年	魚住須美子					
昭和52年	（富田林）					
1978年	魚住須美子	井下和子				
53年	（富田林）	（岸和田）				
1979年	魚住須美子	山村佳子				
54年	（富田林）	（泉ヶ丘）				
1980年	魚住須美子	山村佳子				
55年	（富田林）	（泉ヶ丘）				
ブロック	泉南泉北ブロック		市内ブロック		南河内ブロック	
年度	ブロック長	副ブロック長	ブロック長	副ブロック長	ブロック長	副ブロック長
1981年	桂よしみ	和田豊子	水原和子	末次三千代		
56年	（熊取）	（鶴山台）	（フレンドリー）	（神津）		
1982年	桂よしみ	和田豊子	水原和子	末次三千代		
57年	（熊取）	（鶴山台）	（フレンドリー）	（神津）		
1983年	和田豊子	向井恵都子	水原和子	田部君枝	石原淳子	辻本節子
58年	（鶴山台）	（泉佐野ポピーズ）	（フレンドリー）	（文の里）	（富田林）	（たちばな）
1984年	和田豊子	木下敏子	水原和子	田部君枝	石原淳子	辻本節子
59年	（鶴山台）	（泉ヶ丘）	（フレンドリー）	（文の里）	（富田林）	（たちばな）
1985年	和田豊子	木下敏子	水原和子	西　敬子	桑野ひろみ	村山文子
60年	（鶴山台）	（泉ヶ丘）	（フレンドリー）	（豊崎本庄）	（レインボー）	（河内長野）
1986年	和田豊子	木下敏子	水原和子	西　敬子	桑野ひろみ	村山文子
61年	（鶴山台）	（泉ヶ丘）	（フレンドリー）	（豊崎本庄）	（レインボー）	（河内長野）
1987年	木下敏子	土肥昌代	飯山シズエ	鎌谷禎子	正木佐喜	石原淳子
62年	（泉ヶ丘）	（熊取）	（フレンドリー）	（平野）	（河内長野）	（富田林）
1988年	木下敏子	土肥昌代	飯山シズエ	鎌谷禎子	正木佐喜	石原淳子
63年	（泉ヶ丘）	（熊取）	（フレンドリー）	（平野）	（河内長野）	（富田林）
1989年	土肥昌代	松川邦江	水原和子	鎌谷禎子	辻本節子	宮内圭子
平成元年	（熊取）	（弥生）	（フレンドリー）	（平野）	（たちばな）	（たちばな）
1990年	土肥昌代	松川邦江	水原和子	田中美千代	辻本節子	宮内圭子
2年	（熊取）	（弥生）	（フレンドリー）	（神津）	（たちばな）	（たちばな）
1991年	松川邦江	山口厚子	田中美千代	大塚シゲ子	北田雅子	正木佐喜
3年	（弥生）	（I.S.B）	（神津）	（フレンドリー）	（みはら）	（河内長野）
1992年	松川邦江	山口厚子	田中美千代	大塚シゲ子	北田雅子	正木佐喜
4年	（弥生）	（I.S.B）	（神津）	（フレンドリー）	（みはら）	（河内長野）
1993年	山口厚子	志原律子	田中美千代	大塚シゲ子	鷲見仁美	正木佐喜
5年	（I.S.B）	（貝塚）	（神津）	（フレンドリー）	（狭山）	（河内長野）
1994年	山口厚子	志原律子	田中美千代	大塚シゲ子	鷲見仁美	北田雅子
6年	（I.S.B）	（貝塚）	（神津）	（フレンドリー）	（狭山）	（みはら）
1995年	志原律子	高橋康子	大塚シゲ子	吉村知子	渡辺歌子	北田雅子
7年	（貝塚）	（鴨谷）	（フレンドリー）	（平野）	（富田林）	（みはら）

ブロック / 年度	豊能ブロック		三島ブロック		北河内ブロック		中河内ブロック	
	ブロック長	副ブロック長	ブロック長	副ブロック長	ブロック長	副ブロック長	ブロック長	副ブロック長
1996年 平成8年	古永真弓 (池田)	中田幾子 (桜ヶ丘)	音峰郁子 (やよい会)	宮﨑フミエ (島本AOC)	小坂 薫 (四条畷)	花田豊子 (交野)	大亀八重子 (八尾)	木内明子 (松原)
1997年 9年	中田幾子 (桜ヶ丘)	上辻光子 (豊中シスターズ)	宮﨑フミエ (島本AOC)	音峰郁子 (やよい会)	小坂 薫 (四条畷)	花田豊子 (交野)	大亀八重子 (八尾)	石丸倶子 (東大阪B.B.C)
1998年 10年	梅原満子 (桜ヶ丘)	梶谷恵美代 (豊中シスターズ)	宮﨑フミエ (島本AOC)	音峰郁子 (やよい会)	小坂 薫 (四条畷)	川副幸子 (枚方シャトルズ)	大亀八重子 (八尾)	石丸倶子 (東大阪B.B.C)
1999年 11年	梶谷恵美代 (豊中シスターズ)	三口直子 (WIN)	相沢邦子 (茨木)	石崎有紀子 (清水)	川副幸子 (枚方シャトルズ)	木村幸子 (交野)	大亀八重子 (八尾)	石丸倶子 (東大阪B.B.C)
2000年 12年	梶谷恵美代 (豊中シスターズ)	三口直子 (WIN)	相沢邦子 (茨木)	石崎有紀子 (清水)	川副幸子 (枚方シャトルズ)	木村幸子 (交野)	大亀八重子 (八尾)	石丸倶子 (東大阪B.B.C)
2001年 13年	三口直子 (WIN)	宮崎真理子 (桜ヶ丘)	石崎有紀子 (清水)	山本容子 (マミーズ)	木村幸子 (交野)	和田登美子 (大東)	森元恵子 (東大阪M.B.C)	枡本みなみ (東大阪B.B.C)
2002年 14年	三口直子 (WIN)	宮崎真理子 (桜ヶ丘)	石崎有紀子 (清水)	山本容子 (マミーズ)	木村幸子 (交野)	和田登美子 (大東)	森元恵子 (東大阪M.B.C)	枡本みなみ (東大阪B.B.C)
2003年 15年	宮崎真理子 (桜ヶ丘)	安永早苗 (池田)	山本容子 (マミーズ)	澤田典子 (吹田ミセス)	和田登美子 (大東)	末藤かほる (守口東部)	枡本みなみ (東大阪B.B.C)	鶴田悦子 (八尾)
2004年 16年	宮崎真理子 (桜ヶ丘)	田中佳代子 (スウィング)	山本容子 (マミーズ)	澤田典子 (吹田ミセス)	和田登美子 (大東)	末藤かほる (守口東部)	枡本みなみ (東大阪B.B.C)	鶴田悦子 (八尾)
2005年 17年	田中佳代子 (スウィング)	寺澤幸子 (ビクトリー)	澤田典子 (吹田ミセス)	永谷美穂 (黎明)	末藤かほる (守口東部)	上岡百合子 (枚方フライデー)	鶴田悦子 (八尾)	本田直江 (八尾レディース)
2006年 18年	田中佳代子 (スウィング)	寺澤幸子 (ビクトリー)	澤田典子 (吹田ミセス)	永谷美穂 (黎明)	末藤かほる (守口東部)	上岡百合子 (枚方フライデー)	鶴田悦子 (八尾)	清水初音 (石切Let's)
2007年 19年	寺澤幸子 (ビクトリー)	小林真輝 (池田)	永谷美穂 (黎明)	馬面弓子 (せっつ)	上岡百合子 (枚方フライデー)	川内田和子 (寝屋川)	清水初音 (石切Let's)	城野真知子 (ミルキーズ)
2008年 20年	寺澤幸子 (ビクトリー)	小林真輝 (池田)	永谷美穂 (黎明)	馬面弓子 (せっつ)	上岡百合子 (枚方フライデー)	川内田和子 (寝屋川)	清水初音 (石切Let's)	城野真知子 (ミルキーズ)
2009年 21年	小林真輝 (池田)	坂江和枝 (豊中シスターズ)	馬面弓子 (せっつ)	小倉美枝子 (高嶺)	川内田和子 (寝屋川)	植田玲子 (門真)	城野真知子 (ミルキーズ)	西田百代 (さくら)
2010年 22年	小林真輝 (池田)	坂江和枝 (豊中シスターズ)	馬面弓子 (せっつ)	小倉美枝子 (高嶺)	川内田和子 (寝屋川)	植田玲子 (門真)	城野真知子 (ミルキーズ)	西田百代 (さくら)
2011年 23年	坂江和枝 (豊中シスターズ)	隈部由香里 (桜ヶ丘)	小倉美枝子 (高嶺)	箙 真澄 (如月)	植田玲子 (門真)	酒井素子 (枚方シャトルズ)	西田百代 (さくら)	森 葉子 (ジュピター)
2012年 24年	坂江和枝 (豊中シスターズ)	隈部由香里 (桜ヶ丘)	小倉美枝子 (高嶺)	箙 真澄 (如月)	植田玲子 (門真)	酒井素子 (枚方シャトルズ)	西田百代 (さくら)	森 葉子 (ジュピター)
2013年 25年	隈部由香里 (桜ヶ丘)	塚本正子 (NEO CLUB)	箙 真澄 (如月)	吉田恵子 (あいCLUB)	酒井素子 (枚方シャトルズ)	池田智子 (四条畷)	森 葉子 (ジュピター)	岩西智子 (東大阪M.B.C)
2014年 26年	隈部由香里 (桜ヶ丘)	塚本正子 (NEO CLUB)	箙 真澄 (如月)	吉田恵子 (あいCLUB)	酒井素子 (枚方シャトルズ)	池田智子 (四条畷)	森 葉子 (ジュピター)	岩西智子 (東大阪M.B.C)

ブロック / 年度	泉南泉北ブロック		市内ブロック		南河内ブロック	
	ブロック長	副ブロック長	ブロック長	副ブロック長	ブロック長	副ブロック長
1996年	志原律子	森本久子	大塚シゲ子	吉村知子	渡辺歌子	桑野ひろみ
平成8年	(貝塚)	(鴨谷)	(フレンドリー)	(平野)	(富田林)	(レインボー)
1997年	森本久子	村上秀子	吉村知子	林 晶子	桑野ひろみ	田原貞子
9年	(鴨谷)	(しらさぎ)	(平野)	(グリーン)	(レインボー)	(河内長野)
1998年	森本久子	村上秀子	吉村知子	林 晶子	桑野ひろみ	田原貞子
10年	(鴨谷)	(しらさぎ)	(平野)	(グリーン)	(レインボー)	(河内長野)
1999年	村上秀子	広海ひろ子	林 晶子	中村真理子	田原貞子	井田登喜子
11年	(しらさぎ)	(岸和田)	(グリーン)	(フレンドリー)	(河内長野)	(たちばな)
2000年	村上秀子	広海ひろ子	林 晶子	中村真理子	田原貞子	井田登喜子
12年	(しらさぎ)	(岸和田)	(グリーン)	(フレンドリー)	(河内長野)	(たちばな)
2001年	広海ひろ子	小谷恵美子	中村真理子	三木志保子	井田登喜子	新熊美代野
13年	(岸和田)	(泉ヶ丘)	(フレンドリー)	(塚本)	(たちばな)	(はびきの)
2002年	広海ひろ子	小谷恵美子	中村真理子	朝井和子	井田登喜子	新熊美代野
14年	(岸和田)	(泉ヶ丘)	(フレンドリー)	(わかば)	(たちばな)	(はびきの)
2003年	小谷恵美子	十河佳子	朝井和子	北條明子	新熊美代野	鷲見仁美
15年	(泉ヶ丘)	(熊取)	(わかば)	(塚本)	(はびきの)	(狭山)
2004年	小谷恵美子	十河佳子	朝井和子	北條明子	新熊美代野	鷲見仁美
16年	(泉ヶ丘)	(熊取)	(わかば)	(塚本)	(はびきの)	(狭山)
2005年	十河佳子	阪口裕子	北條明子	山下貴恵	鷲見仁美	梅咲晴代
17年	(熊取)	(鶴山台)	(塚本)	(キャロット)	(狭山)	(富田林)
2006年	十河佳子	阪口裕子	北條明子	山下貴恵	鷲見仁美	梅咲晴代
18年	(熊取)	(鶴山台)	(塚本)	(キャロット)	(狭山)	(富田林)
2007年	阪口裕子	中園由紀	山下貴恵	手島 幸	梅咲晴代	沼間由美
19年	(鶴山台)	(弥生)	(キャロット)	(ふじ)	(富田林)	(レインボー)
2008年	阪口裕子	中園由紀	山下貴恵	手島 幸	梅咲晴代	沼間由美
20年	(鶴山台)	(弥生)	(キャロット)	(ふじ)	(富田林)	(レインボー)
2009年	中園由紀	荒本政美	手島 幸	中井真由美	沼間由美	和田雅子
21年	(弥生)	(貝塚)	(ふじ)	(よしの)	(レインボー)	(河内長野)
2010年	中園由紀	荒本政美	手島 幸	中井真由美	沼間由美	和田雅子
22年	(弥生)	(貝塚)	(ふじ)	(よしの)	(レインボー)	(河内長野)
2011年	荒本政美	角本純子	中井真由美	浅井正美	和田雅子	山本久子
23年	(貝塚)	(鴨谷)	(よしの)	(U・F・C)	(河内長野)	(たちばな)
2012年	荒本政美	角本純子	中井真由美	浅井正美	和田雅子	山本久子
24年	(貝塚)	(鴨谷)	(よしの)	(U・F・C)	(河内長野)	(たちばな)
2013年	角本純子	山下智子	浅井正美	岸田清美	山本久子	鷲見仁美
25年	(鴨谷)	(しらさぎ)	(U・F・C)	(コジコジ)	(たちばな)	(狭山)
2014年	角本純子	山下智子	浅井正美	岸田清美	山本久子	鷲見仁美
26年	(鴨谷)	(しらさぎ)	(U・F・C)	(コジコジ)	(たちばな)	(狭山)

派　遣　役　員

1980年(昭和55年)

大阪バドミントン協会
常務理事　村井広美　池田紗千子　　理　事 上田光代　柴田恵美子
代 議 員　室井比呂美 上辻光子　辻本節子　柴山三枝　妹尾弘美　魚住須美子 人見喜久江 小池妃美子

1981年(昭和56年)

大阪バドミントン協会
常務理事　黒田勝之　村井広美　　理　事 上田光代　池田紗千子 柴田恵美子
代 議 員　上辻光子　魚住須美子 原田ヒロ子　桝田信子　小池妃美子 柴山三枝　桂 よしみ　水原和子

1982年(昭和57年)

大阪バドミントン協会
常務理事　黒田勝之　村井広美　　理　事 上田光代　池田紗千子 柴田恵美子
代 議 員　上辻光子　魚住須美子 原田ヒロ子　桝田信子　小池妃美子 柴山三枝　桂 よしみ　水原和子

1983年(昭和58年)

大阪バドミントン協会
常務理事　黒田勝之　村井広美　　理　事 上田光代　池田紗千子 上辻光子
代 議 員　魚住須美子 水原和子　桂 よしみ　山川佳都　小倉祥代　末次三千代 西野幸子　小池妃美子

1984年(昭和59年)

大阪バドミントン協会
常務理事　黒田勝之　村井広美　　理　事 上田光代　池田紗千子 上辻光子
代 議 員　魚住須美子 水原和子　桂 よしみ　山川佳都　小倉祥代　末次三千代 西野幸子　小池妃美子

1985年(昭和60年)

日本家庭婦人バドミントン連盟
副理事長　村井広美　　評 議 員 上田光代
近畿家庭婦人バドミントン連盟
理　事　村井広美
大阪バドミントン協会
常務理事　村井広美　　理　事 上田光代　池田紗千子 上辻光子
代 議 員　水原和子　桂 よしみ　小池妃美子 西野幸子　石原淳子　末次三千代 相沢邦子　山村晏江

1986年(昭和61年)

日本家庭婦人バドミントン連盟
副理事長　村井広美　　評 議 員 上田光代
近畿家庭婦人バドミントン連盟
理 事 長　村井広美
大阪バドミントン協会
常務理事　村井広美　　常務理事 上田光代　　理　事 池田紗千子 水原和子
代 議 員　桂 よしみ　小池妃美子 西野幸子　石原淳子　末次三千代 相沢邦子　山村晏江　室井比呂美
専門部員　山村晏江(審判部)　西野幸子(広報部)

1987年(昭和62年)

日本家庭婦人バドミントン連盟
副理事長　村井広美　　評 議 員 上田光代
近畿家庭婦人バドミントン連盟
理　事　村井広美
大阪バドミントン協会
副理事長　村井広美　　常務理事 池田紗千子　　理　事 上田光代　水原和子
代 議 員　桂 よしみ　小池妃美子 西野幸子　山村晏江　長澤照子　高野久美子 桑野ひろみ 室井比呂美

1988年(昭和63年)

日本家庭婦人バドミントン連盟
副理事長　村井広美　　評 議 員 上田光代
近畿家庭婦人バドミントン連盟
理　事　村井広美
大阪バドミントン協会
副理事長　村井広美　　常務理事 上田光代　池田紗千子　　理　事 水原和子
代 議 員　山村晏江　長澤照子　小池妃美子 西野幸子　高野久美子 桂 よしみ　桑野ひろみ 室井比呂美

1989年(平成元年)

日本家庭婦人バドミントン連盟
副理事長　村井広美　　評 議 員 上田光代
近畿家庭婦人バドミントン連盟
理　事　村井広美
大阪バドミントン協会
常務理事　村井広美　上田光代　池田紗千子　　理　事 水原和子
代 議 員　山村晏江　長澤照子　小池妃美子 西野幸子　高野久美子 桂 よしみ　飯山シズエ 室井比呂美

1990年(平成2年)

日本家庭婦人バドミントン連盟
副理事長　村井広美　　評議員 上田光代
近畿家庭婦人バドミントン連盟
理　事　村井広美
大阪バドミントン協会
常務理事　村井広美　池田紗千子　　理　事 上田光代　水原和子
代議員　山村晏江　長澤照子　小池妃美子 西野幸子　高野久美子 桂 よしみ　室井比呂美 鎌谷禎子

1991年(平成3年)

日本家庭婦人バドミントン連盟
副理事長　村井広美　　評議員 上田光代
近畿家庭婦人バドミントン連盟
理　事　村井広美
大阪バドミントン協会
常務理事　村井広美　上田光代　　理　事 池田紗千子 水原和子　西野幸子
代議員　山村晏江　長澤照子　小池妃美子 室井比呂美 桂 よしみ　土肥昌代　鎌谷禎子　辻本節子

1992年(平成4年)

日本家庭婦人バドミントン連盟
副理事長　村井広美　　評議員 上田光代
近畿家庭婦人バドミントン連盟
理事長　村井広美
大阪バドミントン協会
常務理事　村井広美　上田光代　　理　事 池田紗千子 水原和子　西野幸子
代議員　山村晏江　長澤照子　小池妃美子 室井比呂美 桂 よしみ　土肥昌代　鎌谷禎子　辻本節子

1993年(平成5年)

日本家庭婦人バドミントン連盟
副理事長　村井広美　　評議員 上田光代
近畿家庭婦人バドミントン連盟
理　事　村井広美
大阪バドミントン協会
常務理事　村井広美　上田光代
理　事　水原和子　西野幸子　山村晏江
代議員　池田紗千子 廣瀬園子　松政ひさ子 小池妃美子 桂 よしみ　土肥昌代　鎌谷禎子　辻本節子

1994年(平成6年)

日本家庭婦人バドミントン連盟
副会長　嶋　久雄　　副理事長 村井広美　　評議員 上田光代
近畿家庭婦人バドミントン連盟
理　事　村井広美
大阪バドミントン協会
常務理事　村井広美　上田光代
理　事　水原和子　山村晏江　土肥昌代
代議員　池田紗千子 廣瀬園子　松政ひさ子 小池妃美子 向井信子　桂 よしみ　鎌谷禎子　正木佐喜

1995年(平成7年)

日本家庭婦人バドミントン連盟
副会長　嶋　久雄　　副理事長 村井広美　　評議員 上田光代
近畿家庭婦人バドミントン連盟
理　事　村井広美
大阪バドミントン協会
常務理事　村井広美　上田光代　　理　事 水原和子　土肥昌代　山村晏江
代議員　向井信子　廣瀬園子　松岡徳子　西野幸子　桂 よしみ　鎌谷禎子　鷲見仁美　山添笑子

1996年(平成8年)

日本家庭婦人バドミントン連盟
副会長　嶋　久雄　　副理事長 村井広美　　評議員 上田光代
近畿家庭婦人バドミントン連盟
理　事　村井広美
大阪バドミントン協会
常務理事　村井広美　上田光代　　理　事 水原和子　土肥昌代　山村晏江
代議員　向井信子　鎌谷禎子　西野幸子　桂 よしみ　廣瀬園子　鷲見仁美　山添笑子　松岡徳子
審判部員　花田豊子　山下淑子　山辺数代

1997年(平成9年)

日本家庭婦人バドミントン連盟
副会長　嶋　久雄　　副理事長 村井広美　　評議員 上田光代
近畿家庭婦人バドミントン連盟
理　事　村井広美
大阪バドミントン協会
常務理事　村井広美　水原和子　　理　事 上田光代　土肥昌代　山村晏江
代議員　向井信子　西野幸子　廣瀬園子　山添笑子　松岡徳子　木下敏子　田中美千代 渡辺歌子
審判部員　花田豊子　山下淑子　山辺数代

1998年(平成10年)

日本家庭婦人バドミントン連盟
副会長　嶋　久雄　　副理事長 村井広美　　評議員 上田光代
近畿家庭婦人バドミントン連盟
副会長　嶋　久雄　　理事長 村井広美　　担当 土肥昌代　西野幸子
大阪バドミントン協会
常務理事　村井広美　上田光代　　理事 土肥昌代　西野幸子　山村晏江
代議員　向井信子　廣瀬園子　山添笑子　松岡徳子　大亀八重子 木下敏子　田中美千代 渡辺歌子

1999年(平成11年)

日本家庭婦人バドミントン連盟
副会長　嶋　久雄　　副理事長 村井広美　　評議員 上田光代
近畿家庭婦人バドミントン連盟
理事　村井広美
大阪バドミントン協会
常務理事　村井広美　上田光代
理事　土肥昌代　西野幸子　山村晏江
代議員　廣瀬園子　宮﨑フミエ　松岡徳子　向井信子　木下敏子　田中美千代 桑野ひろみ

2000年(平成12年)

日本レディースバドミントン連盟
副会長　嶋　久雄　　理事長 村井広美
常任理事　上田光代　向井信子　　評議員 土肥昌代
近畿レディースバドミントン連盟
理事　村井広美
大阪バドミントン協会
常務理事　村井広美　上田光代
理事　土肥昌代　西野幸子　山村晏江
代議員　廣瀬園子　宮﨑フミエ　松岡徳子　向井信子　木下敏子　田中美千代 桑野ひろみ

2001年(平成13年)

日本レディースバドミントン連盟
理事長　村井広美　　副理事長 上田光代
常任理事　向井信子　川副幸子　　評議員 土肥昌代
近畿レディースバドミントン連盟
理事　村井広美
大阪バドミントン協会
常務理事　村井広美　土肥昌代　山村晏江
理事　西野幸子　松岡徳子　　監事 上田光代
代議員　梶谷恵美代 廣瀬園子　川副幸子　大亀八重子 木下敏子　田中美千代 植野恵美子

2002年(平成14年)

日本レディースバドミントン連盟
理事長　村井広美　　副理事長 上田光代
常任理事　向井信子　川副幸子　　評議員 土肥昌代
近畿レディースバドミントン連盟
理事　村井広美
大阪バドミントン協会
常務理事　村井広美　　常務理事 土肥昌代　西野幸子
理事　松岡徳子　森元惠子　　監事 上田光代
代議員　山村晏江　梶谷恵美代 廣瀬園子　川副幸子　大亀八重子 木下敏子　田中美千代 植野恵美子

2003年(平成15年)

日本レディースバドミントン連盟
理事長　村井広美　　副理事長 上田光代
常任理事　向井信子　川副幸子　　評議員 土肥昌代
近畿レディースバドミントン連盟
理事　村井広美
大阪バドミントン協会
副理事長　村井広美　　常務理事 土肥昌代　石崎有紀子
理事　松岡徳子　森元惠子　　監事 上田光代
代議員　西野幸子　宮崎真理子 鎌谷禎子　植野恵美子 林　美津代　梶谷恵美代

2004年(平成16年)

日本レディースバドミントン連盟
理事長　村井広美　　副理事長 上田光代
常任理事　向井信子　川副幸子　　評議員 土肥昌代
近畿レディースバドミントン連盟
会長　江村美代子　　理事長 村井広美
大阪バドミントン協会
副理事長　村井広美　　常務理事 土肥昌代
理事　石崎有紀子 松岡徳子　森元惠子　　監事 上田光代
代議員　宮崎真理子 鎌谷禎子　植野恵美子 林　美津代　梶谷恵美代

2005年(平成17年)

(財)日本バドミントン協会
　理　事　村井広美
日本レディースバドミントン連盟
　理事長　村井広美　　副理事長　上田光代
　常任理事　川副幸子　土肥昌代　　評議員　廣瀬園子
近畿レディースバドミントン連盟
　理　事　村井広美
大阪バドミントン協会
　副理事長　村井広美
　理　事　廣瀬園子　小柴成代　森元惠子　百野郁子　　監　事　上田光代
　代議員　梶谷恵美代　石崎有紀子

2006年(平成18年)

(財)日本バドミントン協会
　理　事　村井広美
日本レディースバドミントン連盟
　理事長　村井広美　　副理事長　上田光代
　常任理事　川副幸子　土肥昌代　　評議員　廣瀬園子
近畿レディースバドミントン連盟
　理　事　村井広美
大阪バドミントン協会
　副理事長　村井広美
　理　事　廣瀬園子　森元惠子　小柴成代　百野郁子　　監　事　上田光代
　代議員　梶谷恵美代　石崎有紀子

2007年(平成19年)

(財)日本バドミントン協会
　評議員　村井広美
日本レディースバドミントン連盟
　理事長　村井広美
　常任理事　川副幸子　土肥昌代　小柴成代　　評議員　廣瀬園子
近畿レディースバドミントン連盟
　理　事　村井広美
大阪府バドミントン協会
　理　事　村井広美　小柴成代　廣瀬園子　森元惠子　百野郁子　　監　事　池田紗千子
　代議員　梶谷恵美代　木村幸子

2008年(平成20年)

(財)日本バドミントン協会
　評議員　村井広美
日本レディースバドミントン連盟
　理事長　村井広美
　常任理事　川副幸子　土肥昌代　小柴成代　　評議員　廣瀬園子
近畿レディースバドミントン連盟
　理　事　村井広美
大阪府バドミントン協会
　理　事　村井広美　廣瀬園子　小柴成代　森元惠子　百野郁子　　監　事　池田紗千子
　代議員　梶谷恵美代　木村幸子

2009年(平成21年)

(財)日本バドミントン協会
　評議員　村井広美
日本レディースバドミントン連盟
　理事長　村井広美
　常任理事　川副幸子　土肥昌代　小柴成代　百野郁子　　評議員　廣瀬園子
近畿レディースバドミントン連盟
　理　事　廣瀬園子
大阪府バドミントン協会
　副会長　村井広美
　理　事　廣瀬園子　小柴成代　森元惠子　百野郁子　　監　事　池田紗千子
　代議員　木村幸子　竹田由美子

2010年(平成22年)

(財)日本バドミントン協会
評議員　村井広美
日本レディースバドミントン連盟
副会長　村井広美
常任理事　川副幸子　土肥昌代　小柴成代　百野郁子　評議員 廣瀬園子
近畿レディースバドミントン連盟
会長　村井広美　理事長 廣瀬園子
大阪府バドミントン協会
副会長　村井広美
理事　廣瀬園子　小柴成代　森元惠子　百野郁子　監事 池田紗千子
代議員　木村幸子　竹田由美子

2011年(平成23年)

(公財)日本バドミントン協会
評議員　村井広美
日本レディースバドミントン連盟
理事長　村井広美
常任理事　川副幸子　土肥昌代　廣瀬園子　百野郁子　評議員 竹田由美子
近畿レディースバドミントン連盟
理事　廣瀬園子
大阪府バドミントン協会
副会長　村井広美
理事　廣瀬園子　木村幸子　竹田由美子 百野郁子　末藤かほる　監事 池田紗千子
代議員　梶谷恵美代 永谷美穂

2012年(平成24年)

(公財)日本バドミントン協会
評議員　村井広美
日本レディースバドミントン連盟
理事長　村井広美
常任理事　川副幸子　土肥昌代　廣瀬園子　百野郁子　評議員 竹田由美子
近畿レディースバドミントン連盟
理事　廣瀬園子
大阪府バドミントン協会
副会長　村井広美
理事　廣瀬園子　木村幸子　竹田由美子 百野郁子　末藤かほる　監事 池田紗千子
代議員　梶谷恵美代 永谷美穂

2013年(平成25年)

日本レディースバドミントン連盟
副会長　村井広美
常任理事　廣瀬園子　百野郁子　評議員 木村幸子
近畿レディースバドミントン連盟
理事　廣瀬園子
大阪府バドミントン協会
副会長　村井広美
理事　廣瀬園子　木村幸子　竹田由美子 百野郁子　監事 池田紗千子
代議員　末藤かほる 永谷美穂

≪審判員・指導員資格者≫

（公財）日本バドミントン協会公認審判員

1級	池田紗千子	山村 晏江	百野 郁子	木村 幸子	西野 幸子
	森元 惠子	梅咲 晴代			
2級	北原美恵子	林　栄子	小倉美枝子	長澤 照子	松下 禎子
	小坂　薫	米倉 恵里	沼田 晴代	生賀智恵子	井上みどり
	渡辺 明美				
3級	常井 理佐	村上麻由美	濱上 由紀	宮崎真理子	正月美由紀
	西野　望	岡本 朋子	田嶋チヨ子	藤村 哲子	関本 好江
	安福 知子	吉川 幸代	能宗 豊子	中村 祐子	片岡 雅子
	中村かつ子	吉水 典子	浜田 正恵	冨田 恵子	竹原 久江
	東郷 仁美	安川ひろ子	砂川佳菜子	阪東 近子	山口由美子
	片岡 ゆき	矢頭由紀子	甲斐 典子	松本 成美	徳山 優子
	廣瀬 園子	兼田 公子	井上八重子	石崎有紀子	松宮マチ子
	森近 康子	栢野 智子	鹿島 昌代	岡田 順子	宮本 聖子
	南園真佐子	塩見 智子	澤田 典子	馬渕 直子	児玉 洋子
	西森眞理子	田中 由紀	川崎 優子	安東　薫	坂本 香子
	柿内 峰子	橋本 真弓	馬面 弓子	森田 永枝	井寄　純
	小島加良子	山名 恵子	山本美弥子	岡本由美子	平岡 美晴
	芹澤 眞澄	石本 志子	伊吹　歩	迫田 智子	染川 朝代
	品川 栄子	梅田 裕子	皆川 美穂	後藤かおり	東山千奈美
	野方 晴美	青木 紀子	中谷 恭子	箙　真澄	岡本　嘉
	段上由紀子	渡邊 美穂	豊田美津子	原田眞由美	岡田由貴子
	尾崎 育子	三山 晴美	中村 ルイ子	南里由美子	村井 順子
	青木 千鶴	山下 弥生	小林 潤子	五十嵐佳代	尾形真智子
	山川 公子	永谷 美穂	松田裕美子	木村 笑子	中村 陽子
	植田 玲子	成平　薫	森山 直子	宇治 慶子	宇野 真弓
	大森 真紀	尾鷲 直子	藤本 瑠美	酒井 素子	岡本 美和
	平山 桂子	稗田 志保	池田 淳子	西脇 香奈	西本 紀子
	古村 麗子	八幡 文子	井上 美春	吉田 里実	川上 京子
	片山真由美	東 晴美	芦田 美穂	池之上めぐみ	上本 和江
	歌門 敬子	和田登美子	黒川ますみ	高島 久美	吉野 陸代
	高橋 淳子	高木 淳子	石川 亮子	石田 尚代	那須 直美

	舩倉 利恵	山上 和子	成瀬 宏栄	岸本 和代	木村 邦子
	利倉 瑞穂	畑澤 麻子	藤原かつみ	向井 恭子	伊藤 実香
	松田久弐子	増田 智恵	竹田由美子	槙村 芳子	真鍋 稔乃
	伊藤 美和	関井 聡子	尾池 明美	希有ユミ子	津村 栄美
	吉田 聖子	片岡千恵美	岩西 智子	田畑なな子	西野 朋代
	磯山 浩美	今川知津子	清洲 礼子	明地 晴菜	枡本みなみ
	大東恵美子	下田代睦美	石原世津子	片芝 循子	大野木育子
	城野真知子	北川由希子	塗茂ひとみ	石垣 真弓	梶川 美樹
	清水 初音	山科 幸子	西 真弓	山岡 一子	成瀬 慶子
	山下二三代	中谷 圭子	松岡 直美	森本 恵美	金沢真奈美
	石田 弓恵	峯本 砂織	渋谷 君子	松村 孝子	田仲 絹子
	塩﨑久美子	吉井 久美江	吉川 昌子	太木本恭子	太田 芳
	北角 宏子	藤本恵美子	石田寿満子	植田 由香	蒲生 百合
	長瀬 輝美	白石恵美子	島田由紀子	藤井 浩子	高木美紀子
	福島 知子	奥田 妙子	南 豊美	川橋 満恵	吉野 幸子
	佐谷 敦子	原田 佳恵	小島 明美	佐々木智子	神谷美由紀
	保田真由美	森田須賀子	堀井 裕子	伊藤 直美	藤本 有紀
	三宅 正子	増山 康子	北村 真紀	井畑 恵美	広海ひろ子
	大山田有希子	春吉 恵美	塩谷 千里	薮本 成未	中山 郁子
	中村 通子	近藤富美子	二出川祥子	丸尾由紀子	森島 静子
	松井 宏子	吉本 敬子	藤原 敏子	日下 美佳	廣岡 知子
	平下 由美	伏山ひとみ	安田奈緒子	久保多美子	疋田佐登美
	植田 百合	荒本 政美	東谷 早紀	曽根 和恵	山本 泰世
	人見 恵子	浜野美砂子	山形江利子	林 典子	西谷由紀子
	山崎美智子	谷上 包子	松本 美和	立川 孝子	小嶋 芳恵
	鈴木 裕美	角本 純子	森山 滋美	桐原 早苗	岡部佳子
	畑中 千秋	岡田美津子	藏本 美加	富里 尚美	山下 智子
	吉井 静子	宮原 知子	森 美妃子	手塚 紀子	南 昌子
	高林 幸子	牧之瀬美奈子	松本 郁子	廣内 秀子	小谷恵美子
	川崎 香苗	中村 通世	西影 美樹	北口 育子	泉谷喜代美
	沢井 具子	山根 貴子	大塚 ルミ	木村 弥生	藤原加代子
	西岡 雅子	田中 三紀	堀井 明子	林 由衣	西林 知子
	石田 綾子	山口 順子	西田さとみ	間屋 貝子	大西眞理子

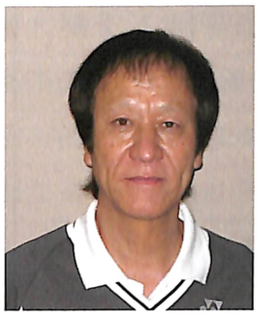
	高倉麻由美	大森美佐子	木下 千香	弥園 恵子	寺坂 昌子
	深江 千晶	池田由紀子	木村恵理子	宇川千代子	橋口ゆかり
	金田智恵子	水谷 幸子	加藤美也子	長谷 松代	沖原 弘子
	西本 みゆき	藤原 典子	川口 悦子	西田 典子	河井美佐子
	西田 恭子	的場 由美	滝　文子	角　綾子	藤川 静香
	伊波 綾子	林　睦美	南山 裕子	川畑美智子	松本サキ子
	伊村 孝子	西家 優里	和田万里子	上間 恵美	大川 順子
	青木 幸代	佐藤名都子	岡田 陽子	粟飯原真紀	大西 真紀
	佐藤　泉	阪田 祐子	増田 万巳	岡 由加利	坂下伊佐子
	幡井みゑ子	辻野 順子	安藤 和子	小湊真由美	鳥羽 淳子
	土肥木綿子	前橋 苗美	大石 尚子	射場貴香子	瀧川 珍代
	松崎 和子	明野るみこ	熊田原久美子	小仲 康子	島谷 明子
	畠中 貞美	杉浦 文子	朝井 和子	原田由美子	辻野 郁子
	冨田かおる	松井　薫	中岡 里加	山本三千代	西阪 美香
	金子 恵子	市原 裕子	稲生 昭子	塩田 和美	刀根 典子
	吉田 里江	多畑 恵美	中井真由美	阿部 信子	浅井 正美
	池田 浩子	山内伸子	佐々木晴子	涌田 則子	岡田 和子
	才野 郁子	金剛 明子	中村 智世	藤元 美穂	河合 孝子
	松田 佳苗	田嶋 成子	松島 二美	福崎まゆみ	田原 貞子
	井脇 和子	和田 雅子	中島 洋子	渡辺 千鶴	増井 知子
	福井 治美	上東 由華	安村 昌子	高見 美紀	石﨑　昌子
	金澤 澄子	松村 幸世	吉冨 久代	簔田 和香	山本 久子
	鈴木 敦子	春山 良枝	辻村 美樹	丸山 智美	川西 洋子
	石原 啓子	渡辺えり子	小川 泰代	落合 純子	葉山 亮子
	増井美咲子	藤本 祐子	荒堀 朋子	沼間 由美	塚本　馨
	鷲見 仁美	芝本　泉	山田 弘美		

（公財）日本バドミントン協会公認指導員

1級	宮崎 真理子
3級	伊村 孝子　　大屋 正子　　沼田 晴代

栄光の軌跡

≪強化部コーチ≫



(有)チャンプ
(代表取締役) 山口　博
25年間強化部コーチとしてご指導頂き、全国大会では10回の優勝に導いてくださいました。



(有)チャンプ　櫻井勝仁
トリッキーパンダース所属。
現役プレイヤーとしても活躍される中、2014年より就任して頂きました。

全日本レディースバドミントン選手権大会(都道府県)

●第13回(長崎県)　H7 7/25～7/27
監督　村井広美
北原　植野　山口　宮崎　林　松田　金谷　糀　児玉



●第14回(島根県)　H8 7/26～7/28
監督　村井広美
植野　山口　松本　宮崎　北原　林　中井　児玉　西野



●第15回(福島県)　H9　7/25～7/27
監督　村井広美
福田　植野　宮崎　北原　林　山口　御前　中井　児玉



●第18回(千葉県)　H12 7/26～7/28
監督　村井広美
押切　松本　竹田　宮崎　松井　植野　木田　山辺



●第19回(北海道)　H13　8/28～8/30
監督　植野恵美子
宮崎　松井　廣瀬　木田　松本　竹田　井上　飯山　山口



●第21回(東京都)　H15　7/26～7/29
監督　村井広美
宮崎　福田　林　大西　森元　松田　松本　竹田　植野



●第23回（福岡県）　H17　7/28～7/31
監督　村井広美
竹田　福島　長谷　胡　松本　植野　常行　林　松田



●第24回（石川県）　H18　7/27～7/30
監督　村井広美
常井　岡田　西野　竹田　河村　山口　北原　林　十亀



●第25回（愛媛県）　H19　7/19～7/21
監督　小柴成代
常井　長谷　福島　胡　竹田　植野　北原　林　井上



●第28回（宮城県）　H22　7/29～8/3
監督　廣瀬園子
常井　岡田　明地　竹田　片岡　福島　北原　林　井上



全日本レディースバドミントン選手権大会（クラブ対抗）

●第17回（香川県）　H11　7/23～7/25
清水クラブ　監督　早坂紀子
大木　兼田　井上　木下　松宮　是澤　土屋　古賀



●第31回（神奈川県）　H25　7/25～7/28
あいCLUB　監督　百野郁子
吉田　原田　岡田　徳山　藤村　柳原　大櫛　福嶋　森尾



全日本レディースバドミントン競技大会（個人戦）

●第1回（大阪府）　H19　3/1～3/3
1部優勝
（左）岡田順子（清水クラブ）・（右）常井理佐（桜ヶ丘クラブ）







国際親善レディースバドミントン大会の歴史

第１回　1995年　国際親善婦人バドミントン大会'95　スタート



副タイトル　International Friendship Ladies Badminton in Osaka　'95
主催・主管　大阪府家庭婦人バドミントン連盟　　特別後援　株式会社ベースボール・マガジン社
大会会長　嶋　久雄　　大会副会長　村井広美
私達は世界諸国からの選手団を大阪にお招きして、これからの時代を背負う皆様と、もっと
グローバルな視点を持って国際交流の輪を広げて行きたいと希望しております。（招聘状より）
3ダブルス　団体戦　A・B・C・D　ゾーン。台北、韓国、中国より参加。以後継続して参加あり。
The 24th International Morning Cup Badminton Championships（中華民国）へ参加。以後継続参加。

第２回　1996年　国際親善婦人バドミントン大会'96
北欧へ親善訪問。デンマーク　コペンハーゲン KBK バドミントンクラブにて交流試合。

第３回　1997年　国際親善婦人バドミントン大会'97
ハワイ　ホノルルオープン　参加。U.S.A.へ大会アピール。

第４回　1998年　国際親善婦人バドミントン大会'98
アジア地域に加えてU.S.A.HAWAII　チーム初参加。ポートランド、サンディエゴ親善訪問。
朝日新聞社後援　「朝日新聞の窓」広告掲載。

第５回　1999年　国際親善婦人バドミントン大会'99
U.S.A.から3チームの参加あり。ベストホスピタリティーの讃辞を受ける。
国際バドミントン連盟（IBF）会長 Madame　Lu（呂）Shengrong　ご来場、観戦される。
笹川スポーツ財団SSFスポーツエイド事業の支援を3年間にわたり受ける。シンガポール初参加。

第６回　2000年　国際親善レディースバドミントン大会2000と改称。
Eゾーン（60歳以上）新設。　オーストラリアへ親善訪問。

第７回　2001年　国際親善レディースバドミントン大会2001
コンピュータによる競技運営システム化。笹川スポーツ財団SSFスポーツエイド事業より視察を受ける。
US SENIOR INTERNATIONAL CHAMPIONSHIPS参加。於マイアミ。O.C.B.C.へ親善訪問。

第８回　2002年　国際親善レディースバドミントン大会2002　U.S.A.代表Monica　Ortez選手による選手宣誓。

第９回　2003年　ゴーセン杯第9回国際親善レディースバドミントン大会2003
特別協賛：株式会社ゴーセン　以後5年間特別協賛を受ける。
韓国Korea　1992年Barcelona　Olympic　Mix Doubles ゴールドメダリスト　参戦。

第10回　2004年　連盟創立30周年記念　ゴーセン杯第10回国際親善レディースバドミントン大会2004
Fゾーン（65歳以上）新設。オーストラリア初参加。韓国KASON Cup & CHAIRMAN'S Cup 大会へ参加。

第11回　2005年　ゴーセン杯第11回国際親善レディースバドミントン大会2005
女性の社会活動参加としてピンクリボン活動に賛同し、大会とリンクさせる。

第12回　2006年　ゴーセン杯第12回国際親善レディースバドミントン大会2006　Aゾーン賞金試合とする。総額50万円。

第13回　2007年　ゴーセン杯第13回国際親善レディースバドミントン大会2007
US SENIOR INTERNATIONAL BADMINTON CHAMPIONSHIPS参加。於O.C.B.C.
U.S.A.ナショナルチームメンバー特別参加　　O.C.B.C.より視察を受ける。
カナダ、ニュージーランド　初参加。韓国KASON Cup & CHAIRMAN'S Cup 大会へ参加。



第14回　2008年　14th Anniversary International Friendship Ladies Badminton Tournament 2008
Orange County Badminton Club California,U.S.A.　にて開催。

第１回　2009年　**大阪府レディースバドミントン連盟より日本レディースバドミントン連盟へ移管**
ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2009開催
YONEX Cup International Friendship Ladies Badminton Tournament 2009
主催：財団法人日本バドミントン協会、日本レディースバドミントン連盟
主管：大阪府バドミントン協会、大阪府レディースバドミントン連盟
冠協賛：ヨネックス株式会社
世界バドミントン連盟（BWF）公認を受ける。要項をインターネット上に公開。
Gゾーン（70歳以上）新設。

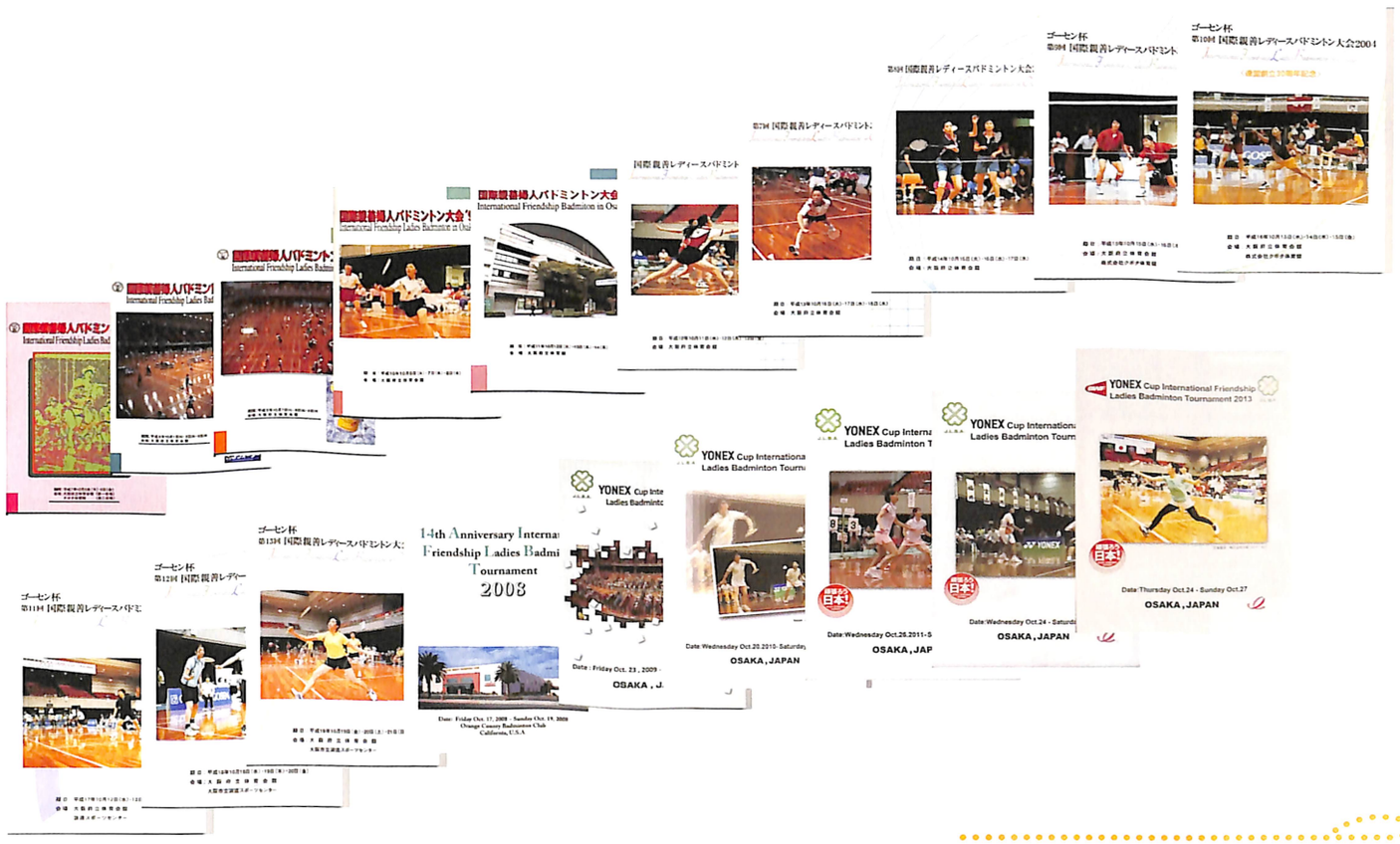
第２回　2010年　ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2010開催
YONEX Cup International Friendship Ladies Badminton Tournament 2010
BWFより副会長Paisan Rangsikitpho氏、女性理事Nora Perry氏の視察を受ける。マレーシア初参加。
女性アスリートによるフォーラムを開催。参加国　日本、韓国、台北、カナダ、U.S.A.、中国、イギリス。

第３回　2011年　東日本大震災支援活動として東北物産販売、募金など行う。被災地へ義援金進呈

第４回　2012年　ベトナム　初参加

第５回　2013年　バドミントンスポーツに関わる女性役員-Forum開催。日バより中山紀子氏（参与）
芝　スミ子氏（理事）

International Friendship Ladies Badminton Tournament





国際の華













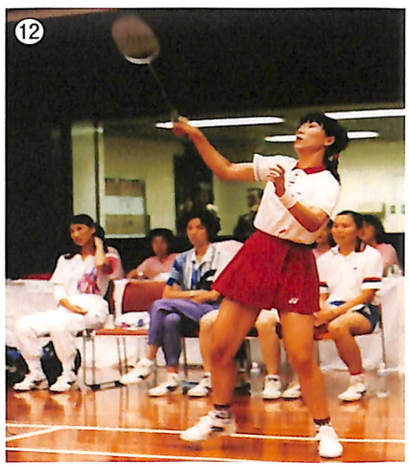




















≪選手の説明≫

①辜家明〈グー・ジャーミン〉(元中国代表　'88全英選手権優勝)
②黄華〈ファンファ〉(中国　元世界王者)
③ミナルティ　ティルーム
('00シドニー五輪インドネシア代表　混合ダブルス銀メダリスト)
④辜姵婷(元中華台北ナショナルチーム)
⑤(左)古川(旧山本)静香('04アテネ五輪代表)
(右)赤尾美代('99　IH優勝)
⑥水井妃佐子(元日本一)
⑦メセニーマングカラキリ('08北京五輪アメリカ代表)
⑧リム・ペクチャ(マレーシア　元国家代表)
⑨鄭素英(韓国　'92バルセロナ五輪複金メダリスト)
⑩芝(旧北田)スミ子(ユーバー杯優勝、'88ソウル五輪(公開競技)銅メダル)
⑪(左)范明(元中国代表　元ヨネックスコーチ)
⑫植野恵美子('77全英OPと世界選手権で複優勝)
⑬(右)尚幅梅(元中国代表　元三洋電機コーチ)
(左)頼彩勤(中国　'90ジャパンオープン優勝)
⑭(右)呉文静(元中国代表　元世界王者、趙剣華の妻)
⑮栂野尾悦子
('70全英OP　シングル優勝、'77全英OPと世界選手権で複優勝)
⑯胡山喬〈コサンキョウ〉(元中国代表)

(資料提供ベースボール・マガジン社)

海外との交流



U.S.A.大会開催(2008年)

第14回
Orange County Badminton Club
California U.S.A.


Aゾーン優勝　ピンクレディース(U.S.A.)


開会式




(左)エバー・リー
('08 北京五輪 U.S.A. 代表)


元 BWF
(左)副会長パイサン・ランスキッポー氏
(右)O.C.B.C. オーナー ドン・チュー氏


村井理事長(現会長)へ大阪府62団体よりCDを贈呈
「U.S.A.大会開催　お祝い・応援メッセージ」

IBF(現BWF)会長来阪(1999年)


(前左)元IBF事務局長　ニール・キャメロン氏
(中央)元大阪府レディースバドミントン連盟会長　嶋　久雄氏
(前右)元IBF会長　呂聖栄氏
(後中央)元大阪府協会理事長　山本次生氏

支援活動

社会福祉支援



麦の会共同作業所


夢工房くるみ

スポーツ支援



大阪からも2010年大会に於いて、
ヨネックス株式会社のご協力も得て、
セミシャトル、中古ラケットを贈呈。
アフリカ マラウイのバドミントン施設に
マイケル・リー氏を通じて、寄付された。

東日本大震災支援


（右）陣内貴美子（'92バルセロナ五輪代表）（2011年）


小椋久美子（'08北京五輪代表）
（2012年）

ピンクリボン活動



乳がん検診車（2006年～）
（医療法人医誠会　医誠会病院）



手作り看板

YONEX CUP INTERNATIONAL FRIENDSHIP LADIES
BADMINTON TOURNAMENT 2010

Mini-Forum For Women Athletes



2010.10.21

Discussion member introduction

Hiromi Murai	(Japan)	Tim Mangkalakiri	(U.S.A.)	Huang Li Ying	(Taipei)
Nora Perry	(England)	Brenda Johnson	(Canada)	Etsuko Toganoo	(Japan)
Hiroe Yuki	(Japan)	Kang Youn Shin	(Korea)	Ko San Kyou	(China)
Hiroko Takeuchi	(Japan)	Kazuko Shirai	(Japan)	Sonoko Hirose	(Japan)

☆ How are women sports beeing developed in your countries?
*How to connect women groups.

☆ What do we have to do in next 5 years?
or What can we do in next 5 years?

大会中に全英チャンピオンのノラ・ペリーさん、湯木博恵さん、梅野尾悦子さん、元中国代表胡山喬さんほか各国の代表が集まり、スポーツウーマンの為のミニフォーラムと題して、これからの女性スポーツ（レディースバドミントン）をどう発展させていくか、活発な議論が交わされました。

バドミントンスポーツにかかわる　女性役員 Forum

日本バドミントン協会において２名の女性理事が誕生しました。これを機に、当連盟役員を中心に、新理事、都道府県バドミントン協会等でご活躍の女性役員をお招きし、それぞれの所属協会での現状や活動状況をお聞かせいただき、今後の女性役員の位置づけと方向性について意見を交換しました。経験豊かな参加者からは建設的かつ積極的な意見が出され、今後の活動につながる有意義なフォーラムになりました。



2013.10.25

【出席者】

中山　紀子	芝　スミ子	村井　広美	民谷　千寿子
宇山　昌子	山川　友子	佐野　玲子	小国　久美
廣瀬　園子	百野　郁子		

BWF Women in Badminton Award　受賞







★受 賞 者　村　井　広　美　日本レディースバドミントン連盟副会長
大阪府バドミントン協会副会長
大阪府レディースバドミントン連盟会長

★受賞日時　2013 年 (平成 25 年) 5 月 18 日

★会　　場　Malaysia Kualalumpur DOUBLE TREE BY HILTON

★表彰事由　《女性バドミントンの発展に貢献》

BWF (Badminton World Federation ; 世界バドミントン連盟)
Women in Badminton Award
The Women in Badminton Award recognizes an individual (man or woman) or an organization that has made a significant contribution towards the involvement of women or girls in badminton.
＜女性又は少女のバドミントン発展に顕著な貢献をした個人の女性又は男性、団体を対象に表彰するものである。＞

標記受賞は大阪府レディースバドミントン連盟の４０年の歴史の中において誇るべき名誉な出来事であった。１９９５年(平成７年) 10 月、国際親善レディースバドミントン大会を創設し、２０１２年（平成 24 年）10 月までに及ぶ１８年間にわたり大会を継続運営してきた実績への評価であると同時に、４０周年を迎える大阪府レディースバドミントン連盟の組織形成に合わせ、平成 12 年から 13 年間にわたり日本レディースバドミントン連盟理事長として、日本の女性スポーツ発展を推進し、組織の拡充に貢献してきた功績を評価された、会長村井広美氏個人への顕彰でもあった。この受賞は、BWF 元会長 Mme.Lu Shen Rong につぐ第２番目の栄えあるものであり、このたびの BWF 表彰は、大阪府レディースバドミントン連盟が手探りで進めてきた国際大会が世界に認められた瞬間であり、私たちが目的とする方向への自信と確信を得る機会となった。

BWF WOMEN'S FORUM 2013

2013 年 5 月 19 日　於 ; Malaysia　Kualalumpur

＜ Presentation ＞

BWF 女性理事によるムーブメントである標記フォーラムが開催され、村井広美会長が“ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会”についてプレゼンテーションを行った。大会内容とその目的、現在に至る歴史、競技運営方法と将来への展望についてパワーポイントによる写真展開と共に紹介をした。女性のみによる大会運営を行っているという点が最大の関心事であり、多くの出席者の賞賛をいただいた。

世界でも、まだまだ女性団体の独立した組織を持つ国は少なく、まして女性が自由にスポーツ参加できる状況は整っていないのが実情であり、女性の社会スポーツへの参加状況と、スポーツ団体の中での女性役員、女性選手の占める割合等、種々の課題について問題提起された。その意味でも、国際親善大会の女性による自主独立した運営方式は、価値あるものだとの評価を得た。

会長村井広美　受賞記念祝賀会

平成 25 年 6 月 8 日　ホテルニューオータニ大阪　鳳凰の間

平成２５年６月８日、ホテルニューオータニ大阪において、村井広美会長　受賞記念祝賀会が開催された。公益財団法人日本バドミントン協会より功労賞、日本レディースバドミントン連盟より連盟賞を受賞に加え、世界バドミントン連盟（BWF）からは Women in Badminton Award　を授与されるというトリプル慶事を披露し、連盟として祝賀の宴を持ったものである。日本協会・関根義雄副会長をはじめ、関係各団体、日頃よりご協力いただく各企業のお客様もご参列、台湾からは中華台北羽球発展協会会長・呉俊彦氏の名代として協会副会長・頼聯旺氏も駆けつけ、「功在羽壇」賞をご恵贈いただいた。











祝　辞

中華台北全民羽球発展協会
会長　呉　俊彦

大阪府レディースバドミントン連盟創立４０周年、大阪国際親善レディースバドミントン大会２０周年、誠におめでとうございます。大阪府国際親善レディースバドミントン大会にはご案内を頂き、初期は家父母がチームを引率して参加をしてきました。第７回からは日本通の頼副会長にも行ってもらうようにし、私も都合がつけば同行する気はいっぱいです。

国際親善レディースバドミントン大会は世界で唯一なる女性バドミントン大会で、参加する選手達は年毎に増えるばかり、これは村井会長が采配を取りスタッフ一同がチームワークを十二分に発揮した賜物であると言えましょう。

私は過去においてＢＷＦの理事を務めた関係で、世界各地にて開催する大会を見てきましたが、国際親善レディースバドミントン大会の様に周到なる実に素晴らしい運営振りにはつくづく感動し学ぶ所が多いにありました。

ご承知の様に大会を開催するには経費・会場・スタッフ、この３拍子が揃わなければ運営はできません。貴協会にはこの３拍子がうまく揃ってるのが羨ましい限りです。

私達が開催してきたモーニングカップはお蔭様にて今年は第４３回を迎えます。毎回、経費は赤字ですが、足りない金額は約NT200万元、（約600万円位）皆呉家が埋め合わせています。是も父母の教えである社会への恩返しとして私たちは喜んで出しています。

私は父が永年に亘り取り組んだ日本との友誼交流を今後とも保持継続して行きたいと思います。

当会は社会人を対象とする協会ですが、少年バドも重視をしており、小学生時代から国際経験を始めなければ、もう間に合わない現在、去年から台・日小学生バドミントン交流競技会をスタートしました。願わくば両サイドの小学生のプレイヤー達の技術向上が出来ることを願っています。

大会のレセプションは一つの大事な行事ですが、外国チームを紹介する時、毎回台湾チームを１番初めに紹介に預かり、光栄至極です。歌も歌えて実に楽しいひと時でした。只伴奏の無いのは玉に瑕、もし簡単なる流しバンドでもあればもっと盛り上がると思います。

終わりに貴連盟発足以来の多大なるご功績をたたえ、深甚なる敬意を表しますとともに、今後益々のご発展を心からお祈り申し上げます。

記念寄稿



ヨネックス杯国際親善大阪レディースバドミントン大会２０１３に参加して

大韓民国全国バドミントン連合会
会長　李　成植

こんにちは、私は大韓民国全国バドミントン連合会会長　李成植です。

去る１０月２４日から２７日まで開催されたヨネックス杯国際親善大阪レディースバドミントン大会に２３名の韓国選手と共に参加しました。

私たちは、今回ソウル特別市チームと京畿道高陽市チームが出場しました。ソウル市と高陽市は大韓民国でもバドミントン愛好者が最も多い都市です。バドミントンに関する限り一番だと自負している都市ですが、今回この大会に参加して多くの教訓を得ました。

バドミントンは貴族のスポーツ、紳士のスポーツだとよく言われます。激しい動きにしては多少品格がある呼称なのは、ネットの向かい側の相手に対してはもちろん、自分のパートナー対しても礼儀正しくしなければならないと言う点ではないかと思います。さらに、この大会の関係者の方々を通して、なぜバドミントンが貴族のスポーツ、紳士のスポーツと呼ばれるかを心から感じることが出来ました。

最初の日はディナーパーティで一緒に愉快に楽しみ、快く大会が始められるよう配慮されていました。互いが軽く挨拶するぐらいに思っていましたが、心を開いて親しくなれる時間を持つことが出来ました。本格的に大会が始まり私たちの心をとらえたのは、優れた実力もそうですが、最初から最後まで整然とし秩序ある進行の様子でした。少しの迷いもなく相手を配慮する姿こそが、今回の大会の金メダリストに値するものではないかと思います。大会終了まで終始一貫して笑顔で親切に対応してくれた役員の方々に深く感謝いたします。

また来賓の方々との応対で忙しい会長が、本来私達が言うべき、役員、スタッフへの感謝の言葉をおっしゃいました。この会長の心遣いにも私達は強い印象を受けました。

これは大韓民国の生活体育バドミントンを代表する全国バドミントン連合会会長である私自身を見直すきっかけとなりました。

大会を締めくくる閉会式もまた心に強く印象づけるものでした。ただ単に入賞選手に賞を渡すだけだと思っていましたが、入賞した事に対して自負心を感じる程でした。オリンピックの授賞式に負けない位、敬虔でかつわくわくする瞬間でした。もちろんこの時も役員の方々が大挙して拍手して下さり、一層心暖かく大会を終えることが出来ました。

大会の華は選手達だと思っていましたが、大会を準備して、また選手達が少しでも不便を感じないように配慮して下さった役員の方々こそが本当の華である事を教えてくれた意味深い大会でした。

言葉だけでなく自ら実践して教えて下さったヨネックス杯国際親善大阪レディースバドミントン大会２０１３関係者の皆様にこの場を借りてもう一度感謝いたします。

皆様の立派で真摯なお姿、人情深いお心はこの先も忘れないでしょう。大韓民国にもこの真摯さと人情深さが伝えられるように努力いたします。

2013 요넥스컵 국제친선 오사카 여성배드민턴대회에 다녀와서
전국배드민턴연합회장 이성식

안녕하십니까. 저는 대한민국 전국배드민턴연합회장 이성식입니다. 지난 10월 24-27일까지 2013 요넥스컵 국제친선 오사카 여성배드민턴대회에 23명의 한국 선수와 함께 다녀왔습니다.
저희는 이번에 서울특별시 팀과 경기도 고양시 팀이 출전했습니다. 서울시와 고양시는 대한민국에서도 배드민턴 등호인이 가장 많은 도시입니다. 배드민턴에 관한한 일등이라 자부하는 도시이지만 우리는 이번 2013 요넥스컵 국제친선 오사카 여성배드민턴대회에 다녀오고 많은 교훈을 얻었습니다.

흔히들 배드민턴을 귀족 스포츠, 신사 스포츠라 합니다. 격한 운동에 비해 다소 격이 있는 호칭이 아닌가 싶습니다만 네트를 사이에 두고 있는 상대에게는 물론 나와 함께 하는 파트너에게도 예의를 갖춰야 한다는 점에서 그렇게 부르는 게 아닌가 싶습니다. 이번 2013 요넥스컵 국제친선 오사카 여성배드민턴대회 관계자들을 통해서도 왜 배드민턴이 귀족 스포츠이고 신사 스포츠인지를 절실히 느낄 수 있었습니다.
첫날은 디너파티에서 함께 즐겁게 놀며 즐겁게 대회를 시작하게 해 주셨습니다. 가볍게 서로 인사하는 정도로 생각했는데 마음을 열고 다가설 수 있는 시간이었습니다. 본격적인 대회가 시작되고 뛰어난 실력도 실력이지만 저희 마음을 사로잡은 건 처음부터 끝까지 질서정연했던 모습입니다. 한 치의 흐트러짐 없이 상대를 배려하는 모습이야 말로 이번 대회의 큰메달감이 아니었나 싶습니다.

그리고 대회가 끝날 때까지 한결 같이 웃으며 친절하게 대해주었던 자원봉사자들에게 너무 감사했습니다. 손님을 챙기느라 바쁜 와중에도 저희를 대신해 자원봉사자들에게 감사 인사를 빼놓지 않으신 회장님의 마음 씀씀이 또한 저에게는 큰 인상을 주었습니다. 대한민국의 생활체육 배드민턴을 대표하는 전국배드민턴연합회장인 저를 통해보게 하는 계기가 되었습니다.
대회를 마무리 하는 폐회식 또한 마음깊이 남을 정도로 인상적이었습니다. 단순히 입상 선수에 대한 시상쯤으로 생각했는데, 입상했다는 것에 대한 자부심이 느껴질 정도였습니다. 음핑적 시상식 못지않게 정건하고 성했던 순간이었습니다. 물론 그 순간까지 자원봉사자들이 대열을 갖추고 박수 쳐주셔서 더욱 마음 따듯하게 대회를 마무리 할 수 있었습니다.
대회의 꽃은 선수들이라 생각했는데 대회를 준비하고 또 선수들이 뿜뿐함을 최대한 느끼지 않게 하려고 배려하는 자원봉사자들이야말로 진정한 꽃이라는 걸 알게 해 준 뜻깊은 대회였습니다.

한마디 말보다 행소 실천으로 배움을 주신 2013 요넥스컵 국제친선 오사카 여성배드민턴대회 관계자 여러분께 이 자리를 빌려 다시 한 번 감사드립니다. 여러분의 아름다운 모습, 아름다운 마음 영원히 잊지 않을 것이며 대한민국에서도 그 아름다움이 전해질 수 있도록 노력하겠습니다.



祝　辞

中華台北全民羽球発展協会
副会長　　賴　　聯　旺

此の度は大阪府レディースバドミントン連盟創立４０周年、国際親善レディースバドミントン大会２０周年、誠にお目出とうございます、心からお祝いを申し上げます。

人情味溢れた国際親善レディースバドミントン大会は、オール女性の大会ですので、初め私は行くことを躊躇していたのですが、是非と言われて第７回から台湾チームを引率して、連続お邪魔に上がっているのがもう１４年目とは実に「光陰矢の如し」です。

此の大会は世界でも唯一なる婦人団体試合大会にして一番印象的なのは会長からスタッフ、審判も全部オール女性、しかも力が要る器材運搬、コートラインの貼付まで、何から何までオール女性、びっくりしました。村井会長が指揮する女性スタッフがぐち一つこぼさずの仕事ぶり、さすがは浪速の女性とつくづく感心しました。帰国してからも此のことを皆に告げたような次第です。

試合には勝負があり誰も勝ちたいのは山々、でも此の試合を見たら日本全国からエントリが２５５チーム、１８６０名もあるのにはやはり驚きました。中には勝つ見込みはないことを知りながらエントリしているのは本当にバドが好きで試合に出るだけでも楽しいと思う魅力があるからでしょうか？

会場は同じ建物にあり、３階に１６面・地下６面。後方にある体育館は８面計３０面。宿泊ホテルも向かいにあるので非常に便利です。たくさんのお友達に逢えて、普段しゃべらない日本語がペラペラしゃべられたのが一番楽しかったです。又、会場にて忘れかけた人までが頼さんと声を掛けてくれるのがとても嬉しいですね。

私は２００６年大会の時、観客席にてたまたま携帯を受けるとき、不覚にて階段を踏みはずし、ころげて２本の肋骨を折るアクシデントがありました。幸いとっさに近くの椅子につかまって胸を打ってストップ。通路までは7、8段はあった階段を下まで落ちていたら、頭を打つか、もっとひどい怪我を受けたかも知れません。此の動作は日頃バドミントンをやっているからこそ、習慣になっている反応が私を救ったのかも知れません。日本に行って二本の肋骨を折ったとは飛んだシャレでご迷惑を掛けまして申し訳ございませんでした。

大会レセプションは大事な一つの行事です。台湾でも同じように重視しており出来るだけ皆さんに楽しいひと時をと思い知恵を練っております。先ずは盛り上がる雰囲気をと気を遣って、各チームが自主的に提供する番組をお願いしますが、皆が遣りたいのはなんと言ってもやはり歌を歌うことですね。其の為には伴奏がなければ盛り上げられません。それで当会は流しバンドを呼んでいるのが盛り上ることも充分だし、又皆の好評を得ています。

終わりに貴連盟の益々ご発展を心からお祈り申し上げ、今後とも台・日バドを通じての交流が益々深厚なることを願い、私は命の限り尽力を致します。

記念寄稿

I recall my first trip to the Osaka International Friendship Ladies Badminton Tournament back in 2002.
I played on the O.C.B.C. Belles team in D Zone, of which, all six team members hailed from the Orange County Badminton Club in Orange, California U.S.A.
We trained hard to get ready for the tournament with our team coach Monica Ortez also headed to Osaka to play in the tournament on a B Zone team from the U.S.A. Though my team did not get out of our pool in D Zone, we had a fabulous time at the tournament playing and watching great badminton, gift giving, sightseeing, shopping till we dropped, but most importantly;making new friendships on and off the badminton court. Since 2002, I have been back to this tournament 4 times. I was lucky enough to come back with my daughter, May who was honored to play with the Osaka Team. She has mentioned to me that the Osaka International Friendship Ladies Badminton Tournament is one of her favorite tournament to play in.
Hopefully O.C.B.C. will be able to send more teams to Osaka in the future.

Happy Anniversary!
Tim Mangkalakiri
Orange County Badminton Club Manager

私は２００２年に初めてこの大阪国際親善レディース大会に参加したことを思い出します。
私はDゾーンでO.C.B.C.のBellesというチームで同じカリフォルニアのオレンジカウンティーチーム出身の他の６人のメンバーと一緒にプレーしました。
私たちはこの試合に参加するためにコーチのモニカ・オーテツを筆頭に一生懸命に練習しました。
モニカはBゾーンでU.S.A.チームとして参加しました。私のチームはゾーン抜けすることはできませんでしたが、すごい試合を見たりしたり、プレゼントの交換をしたり、観光、お買い物などすばらしい時間を過ごしました。その中で最も重要だったのはバドミントンコートの内外で新しいお友達ができたことでした。
２００２年以来、私はこの試合に４回出場しています。娘のメイも一緒に参加してとても幸運でした。彼女は大阪代表チームでプレーできてとても名誉に思っていました。そしてこの試合が最もお気に入りの試合だと言っていました。
将来的には、O.C.B.C.がもっとたくさんのチームを大阪に送ることができればと願っています。

２０周年記念おめでとうございます。
ティム・マングカラキリ
オレンジカウンティ　バドミントンクラブ責任者

記念寄稿

I think of the Osaka International Ladies Badminton Tournament as one of the finest I have ever played in all my badminton career and that spanned 40 years. As a senior player in B Zone for 6 tournaments, it was my most favorite tournament, loved the competition and competitiveness of the event; it was awesome! Back in 1999, my first time in Osaka, I couldn't believe that such a huge tournament of 1700 players could be run in 3 days; all the tournament staff/ volunteers worked hard to be on time. I loved being player, coach/supervisor, and most honorable was being picked as representative for all the athletes/Athletes Oath (Sensei as many of you called me). Twice, my teams came away with medals in B Zone; bronze and silver in two different years, (Liberty Ladies and Team IBF meaning International Badminton Friends.)
Most dear to my heart are the lifetime friendships I made in Osaka. Though I haven't seen you all since 2008, I still think about you all.
Thank you all for you time and effort in making the tournament a real success.
Hopefully in the future, I will come to Osaka and visit again.

Best Wishes,
Monica Ortez

私は４０年のバドミントン人生で、この大阪国際親善レディース大会はもっとも素晴らしい試合のひとつだと思います。Ｂゾーンで６試合して、これが私の一番のお気に入りの試合でした。

試合も行事もとても好きでした。素晴らしかった！１９９９年に私は初めてこの試合に参加し、１７００人もの選手が参加する大規模な試合を３日間で運営できることが、とても信じられませんでした。

すべてのスタッフやボランティアの方々が、時間通りに進めるためにとても一生懸命働いていらっしゃいました。私はプレイヤーとして、またコーチや責任者としての役目も好きでしたが、一番名誉だったのは選手宣誓に選ばれたことでした。私のチームはＢゾーンで２回出場し、銀と銅のメダルを獲得しました。（リバティーレディースとIBFというチームで、IBFとは国際的なバドミントンの友達、という意味です）

もっとも心に残ったのは大阪の地で一生の友達ができたことです。

２００８年以来みなさんとはお会いしていませんが、今でもみなさんとのことを憶っています。みなさん、この試合を本当に成功させる為に努力をしてくださってありがとうございます。

将来的には、私は再び大阪を訪れたいです。

よろしく
モニカ・オーテツ

国際親善レディーズバドミントン大会２０周年を記念して

Natsuko CYR （南波　奈津子）
エドモントン・カナダ　在住

４０年も前に大阪府レディースバドミントン連盟を創立し、２０年前には国際大会を開催され現在も盛大に続けておられる村井広美会長をはじめ、その間共に努力してこられた役員の方々おめでとうございます。

カナダチームは第１３回大会、２００７年に初めて参加しました。この大会の強い印象は参加選手１５５８名という大人数と、これほどの大きな大会の運営がすばらしく、大会の実質役員がすべて女性であるということです。男性の出られるこういう大会はないのかとカナダで何度か、きかれます。

カナダでもマスターズの大会は比較的盛んですが、日本まで出かけて国際大会に出ようという６０歳以上の女性６人は簡単には見つかりません。６月の中ごろやっと、広いカナダ全国から６名が集まり東京のとも子さんが万一の場合の補欠として加わってくださり、合計７名のチームが出来ました。若いグループも１チーム出来、メープルリーフの模様を刺繍したユニフォームも揃えました。



関空に着くとすぐに大会役員の土肥さん達が私達を見つけてくださり、海外選手担当の森元さんが難波駅からホテルまで案内してくださいました。きめのこまかいお世話でした。

海外選手歓迎パーティーで大学生時代同じ頃バドミントンをしていた故宝来敏夫氏や学生時代に強かった大会理事長の村井さんも話に来てくださいました。大会後には当時のスポンサー、ゴーセンの元社長松王氏とも食事をする機会がありました。皆５０年来の再会でした。

昔一緒にバドミントンをやっていた人達が思いがけなく連絡してくださり、５０年というギャップと太平洋を越えた長い距離も消えてしまいました。海外選手達とも仲良くなれました。この大会のおかげで、バドミントンを続けている人達はそれまでの生活経験がどのように異なろうと、６０歳、７０歳になっても一瞬で理解しあえる共通の絆があるという楽しい想いをつくづく経験しました。

村井さんをはじめ役員の方々の先見の明も尊敬の的です。２０１０年には世界バドミントン連盟のノラペリーさんも来られ、各参加国の代表がこの大会について、またその将来についての意見を交換しあうミニフォーラムを企画されました。カナダから参加した私が通訳をしました。この大会の存続にはいろいろと乗り越えなければならない問題もあることでしょうが、２０２４年に３０周年記念大会も開催されることを望みます。

記念寄稿

We are glad that Team Amazon from Malaysia had the opportunity to participate in Yonex Cup International Ladies Badminton Tournament in 2012 & 2013.
And hopefully, Team Amazon will continue to participate in all future tournaments.

First and foremost, let us take this opportunity to extend our heartfelt appreciations and sincere gratefulness with a big Thank You.

All our team members had a great time in the tournament, your organization skills had make it possible for a very smooth and trouble free matches on all fixtures.
Away from the courts, your staff members had gone out of their ways to make sure we are safe and sound, well fed with delicious local fare and shared with us places of interests.
We truly enjoyed every minute of it. Once again, thank you very much.

On your double celebrations;
20th anniversary of “International Friendship Ladies Badminton Tournament"
40th anniversary of your federation.
Team Amazon Malaysia would like to take this golden opportunity to wish you every success in all your future endeavors.

Sincerely
Treena Low
Captain,
Team Amazon Malaysia.

私達マレーシアの「アマゾン」チームは２０１２年・２０１３年と国際親善に参加させていただき、今後も引き続き参加させていただければと考えております。

なによりもまず、ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会に参加させていただいたことへの感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。

私達はこの大会に参加させていただき、素晴らしい時間を過ごすことができました。それも貴連盟がスムーズに支障なく大会運営をなされているからこそだと思います。またコート外でも担当の方が細やかなお心遣いをしていただきました。美味しい食べ物を一緒に食べたり、私たちが行きたかったところへ連れて行ってくださったりと心を尽くしていただき、本当に楽しい滞在となりました。あらためて感謝いたします。

大会が２０周年を迎えられること　そして貴連盟が４０周年となる二重の喜ばしい記念の年であることに対し、お祝いの言葉を述べさせていただくとともに、大会の成功と今後のご発展を心より祈念いたします。

マレーシア
チーム　アマゾン　キャプテン
　　ツリーナ　ロゥ

記念寄稿

大阪府レディースバドミントン連盟創立４０周年記念寄稿

大阪府バドミントン協会
理事長　銭谷欽治

まずはじめに連盟創立４０周年を迎えられました事､心よりお慶び申し上げます。創立以来、多くの連盟各位の皆様のご尽力ご苦労を積み重ねられました年輪が４０年を迎えられ日本バドミントン協会にとって協会発展をリードする素晴らしい連盟になられました事重ねてお祝い申し上げます。

大阪府レディース連盟の輝かしい歴史の中でも、現在のヨネックス杯大阪国際親善レディース大会の存在は特筆と言えると思います。大会創立以来、中心となりご尽力頂いてこられた村井広美会長、関係各位の皆様には本当に尊敬とともに大阪府協会としても感謝の気持ちでいっぱいです。

村井広美会長が昨年５月、ＢＷＦから「Women in Badminton Award 賞」を受賞されました事も日本のみならず世界でもこの大会の意義と村井広美会長のご尽力が認められた事を示す本当に素晴らしい快挙だと言えます。

日本レディース連盟の牽引役として日本全国の国内大会、大阪府内においても大阪府レディース連盟の皆様方のご支援ご尽力が無ければ大会運営ができないと言っても過言ではないと感謝しております。この場をお借りして大阪府バドミントン協会へのご尽力に対しまして心より感謝申し上げます。

今後、益々のご発展とご活躍を祈念申し上げまして記念寄稿とさせて頂きます。

祝　辞

日本レディースバドミントン連盟
理事長　民谷千寿子

大阪府レディースバドミントン連盟が、記念すべき創立４０周年を迎えられましたことに心からお祝いとお慶びを申し上げます。

貴連盟におかれましては、昭和５０年に全国に先駆けての女性による連盟組織を確立され、以来、永年に亘りレディースバドミントン競技の普及発展と組織の拡充に取り組まれ、現在では６４クラブ、１４８３名の会員を有する大きな組織へと発展されました。

その間には、府内で育まれた大会を関西の大会から西日本大会へ、そして全日本個人戦へと拡大発展させるほか、平成７年には国際親善婦人バドミントン大会を創設されるなど、常に未来に目を向けチャレンジャーとして新たな世界を切り開いてこられました。

また、海外選手の誘致活動を進めるにあたっては、相互の信頼と友情の絆を築くまでには大変なご苦労があったと伺っておりますが、そのような幾多の困難を連盟一丸となって乗り越え、現在日本レディース連盟が主催する大会の礎となる大会を次々と育み発展させてこられました歴代役員の皆様を始め、関係の皆様方の熱意とご努力に心からの敬意と謝意を表するものでございます。

加えて組織運営の在り方においても全国各地のレディース連盟が模範とするところでもございますので、今後も更にグローバルな活動を展開され、常に斬新な情報をご教示いただけるようご期待申し上げております。

結びにあたり、連盟創立４０周年を大きな節目とされ、今後ますますご発展されますよう祈念申し上げ、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

記念寄稿

４０年の回顧録

日本レディースバドミントン連盟
参与　竹内ヒロ子

大阪府レディース連盟創立４０周年心よりお祝い申し上げます。併せてＢＷＦよりWomen in Badminton Awardの受賞をされ、おめでとうございます。

今、４０年の年月を感慨深く思い起こしております。村井広美会長との出会いは、東京にバドミントンの仲間が少なく探している時に、先輩とメーカーを介して京都長岡京を準備手配していただき、昭和４８年１６人の有志で出かけた時でした。関西各地から参加してくださったみなさんとの交流は、小学生の遠足みたいに心を弾ませてくれました。経験者と未経験者の技術の差はあっても楽しくて、沢山の仲間作りをしたいと話し合い、夢が広がっていきました。数年後、日本家庭婦人連盟で一緒に仕事をすることになり、周りの人が心配するくらい激しく議論を戦わせました。

村井会長と連盟役員のみなさんに、日本レディースの役員でいた時の私が今も感謝していることは、大阪府レディース連盟が創立以来２０年育んだ西日本大会を日本レディース連盟に移管したことです。その結果東西の大会が全日本個人戦として盤石の基礎の元、日本レディース連盟主催大会とし出発しました。

国際親善についても、更なる発展を望むには日本レディースが主催しなければならないという村井会長の英断と、それを応援し後押しして下さった大阪府レディース連盟の皆様に感謝しています。お陰様で国際親善は日バの後援とヨネックスの冠を受け、世界にも認められるレディース連盟が主催する大会となっています。これからも国際親善を生み育てた大阪府連盟が、大切に守ってくれることを信じています。

言葉で言い尽くせないながら、貴連盟のさらなる発展とご繁栄を心からお祈りいたしております。

祝　辞

大阪府実業団バドミントン連盟
会長　清水義雄

大阪府レディースバドミントン連盟が創立４０周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。一口に４０年と云いましてもその歴史は重く、連盟の皆様にとりましては多くのご苦労があったことと思います。

発足当時は大阪府家庭婦人バドミントン連盟と称し、１００名程度のメンバーからスタートされましたが、今や1,５００人有余の会員を抱え、国際大会をも行える活力ある大連盟に発展されました。このように充実した組織に成長させられました連盟の皆様には心から敬意を表するものであります。

当初から私ども実業団連盟とは親しくお付き合いを頂いておりまして、とくに昭和５８年から始めました役員交流会はとても楽しい思い出として残っております。この交流会はその後１０年以上も続き、お互いの連盟運営の活性化に潤滑剤としての役目を果たしてくれたと思っております。

各種大会においても貴連盟の活躍は素晴らしく、常にリーダーとしての役目をはたして来られました。その先頭に立って走る村井広美会長が昨年５月、女性バドミントンスポーツに貢献のあった者に贈られるBWF Women in Badminton Awardを受賞されたことは記憶に新しいところであります。

大阪府レディースバドミントン連盟がこの４０周年をひとつの節として、今後益々のご活躍とご発展されることを心からお祈りいたしましてお祝いの言葉と致します。

記念寄稿

女性として誇り

胡　　山　喬

大阪府レディースバドミントン連盟が、この度創立４０周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

私は、１９８５年に上海から日本にきました。１９８７年からメーカーで務めていたことがきっかけで、当時大阪府家庭婦人連盟、東大阪Ｍ．Ｂ．Ｃの村井氏らと出会いました。当時、何も分からない私に日本語や日本人の生活風習などを教えていただき、私も皆に中国式のバドミントンを伝えさせて頂きました。バドミントンを通してコミュニケーションを図ることができ、大阪府家庭婦人バドミントン連盟に仲間として入れさせていただきました。国際親善大会は１９９５年の第１回目から参加し、これらの数々の思い出は来日後に充実した生活の一部分となっています。

第１回の国際親善大会を開催するために一人一人が力を合わせ、協力をし合い、色々な工夫をしながら１０何年も協力し続けてきました。勤勉な日本の「ママさん」たちは、よく働き、暮らしの中にバドミントンを入れながら楽しく過ごす。自分のライフデザインにこだわりがあるように見受けられました。

府立体育会館を借り、千人を超えた大規模な国際親善大会は、実に凄い。この大会は、中国の仲間たちに紹介したい、試合参加に来てもらいたいと思っています。

近年、私は大学で女性とスポーツに関する研究を行っています。「主婦」が作るスポーツのネットワークが個々の生活の中に位置づけられ、個々の生活を豊かにさせています。彼女たちの行動は、女性として誇りです。

こういった女性の方々が集まっている大阪府レディース連盟にこれからも出来る限りに協力をしたいと思います。日本の女性スポーツ活動の発展、益々大きく飛躍されますように期待しています。

祝　　辞

滋賀県レディースバドミントン連盟
理事長　　宇　山　昌　子

この度、大阪府レディースバドミントン連盟が創立４０周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。記念誌を発行されるにあたり心からお祝い申し上げます。

貴連盟は、発足されてから常に近畿レディースバドミントン連盟、さらには日本レディースバドミントン連盟をリードして下さっています。私は、滋賀県レディースバドミントン連盟に約２０年間在籍しておりますが、その間様々な事をご指導頂きました。現在も年齢に関係なくバドミントンに前向きでいられるのは、大阪府レディースバドミントン連盟の皆様や身近な方々から刺激を受けているからと感じています。豊かな発想と行動力に敬意を表すとともに深く感謝したいと思います。

誰でも気軽にバドミントンを楽しめる環境を整えるにはたくさんのハードルがありますが、いちばん必要なのはプレイしたいと願う人の熱意だと思います。私たちそれぞれの連盟に関わる者が担っているのはそう願う人を増やすことです。昨今の時代の変化と共に、その他のハードルを超えることに参加するチャンスが女性にもやって来つつあります。私たちの日々の活動を通して、そしてみずみずしい発想とエネルギッシュな企画力で日本のバドミントンの発展に貢献する時代がやって来たらよいなと夢見ています。

大阪府レディースバドミントン連盟が４０周年を契機に、今後ますます魅力的に発展されますことと関係の皆様のご健勝をお祈り申し上げてお祝いの言葉といたします。

記念寄稿

お祝いのことば

兵庫県レディースバドミントン連盟
理事長　宿里和江

大阪府レディースバドミントン連盟 創立４０周年を、心よりお喜び申し上げます。あわせて、連盟設立当初より今日に至るまで、連盟発展にご尽力された歴代の役員の皆様に心から敬意を表したいと思います。

村井会長が理事長時代に話された「ラケット一本あれば、バドミントン交流ができる」という言葉がよく思い出されます。そのような理念を基に、女性スポーツの発展向上と、生涯スポーツ推進の夢を持って立ち上げられた国際親善婦人バドミントン大会は、今や国内は勿論のこと、海外からの参加も増え、まさに国際交流の輪を広げるすばらしい大会となっております。

１９９５年からの大会実績を認められ、ＢＷＦより Women in Badminton Award を日本人として、初めて現会長であられる村井広美氏が受賞されたことは、レディース連盟に関わる者にとって、大きな喜びであり、大変誇りに思います。

終わりに大阪府レディースバドミントン連盟の今後ますますのご発展を心から祈念いたしまして、お祝いのことばとさせていただきます。

創立４０周年おめでとうございます

京都府レディースバドミントン連盟
理事長　小国久美

大阪府レディースバドミントン連盟が近畿のトップ、いえ、日本のトップとしてこの記念すべき栄光の年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

主婦がスポーツを楽しむことが出来なかった時代からバドミントンを通じ普及、技術指導、大会運営等、色々と工夫や努力を重ねられ多くの方々のご尽力により発展を遂げられ、日本レディースを引っ張っていかれる大きな集団にまとめ上げられましたことに深甚なる敬意を表します。

京都は大阪と同じ年の昭和４９年に社会人連盟の中の婦人専門部として設立、３年後の５２年に連盟を結成しました。常に大阪をお手本に意識し、刺激を受け目標にして勉強させていただき今日に至っております。京都府レディースバドミントン連盟として長く続けて来られましたのも、ご指導、ご協力の賜と感謝申し上げます。

「近畿は一つ」のかけ声のもと団結力はどこのブロックにも負けない組織です。強い絆で結ばれ、一昨年には３０周年も迎えています。さらなる交流を深め、協力をして近畿２府４県が共に発展していくには大阪がリーダーシップを発揮していただき、新たな夢と目標に向かって歩んで行けますことを願っております。

終わりになりましたが、大阪府レディースバドミントン連盟が今後ますますご発展されますことを祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

記念寄稿

お祝いの言葉

奈良県レディースバドミントン連盟
理事長　山本邦子

この度、大阪府レディースバドミントン連盟が創立されて４０年という慶節を迎えられましたこと 心よりお祝い申し上げます。

これまでの長き道を多方面から熱心に取り組まれ、ご尽力くださいました歴代会長はじめ、歴々の理事長、役員の皆々様のたゆまぬ努力の結集・賜物だと思い敬意を表する次第であります。

昨年は村井会長が日本人で初めてとなるＢＷＦ Women in Badminton Award を受賞され、私達日本レディース連盟の大きな誇りとして喜びに堪えませんでした。４０年の長きに渡り常に全国に先駆け、また牽引車として女性の社会的躍進とアグレッシブに挑戦される姿勢を拝見するにあたり、いつも私達は大きな勇気と希望を頂いております。

このような中で貴連盟の果たされる役割は今後更に大きく､近畿ブロックも「近畿はひとつ」の合言葉のもと、交流と親睦を計り、ますます相互扶助の精神で「絆」を深めて参りたいと思います。

最後になりましたが、これからも貴連盟と関係各位の皆様のますますのご発展と輝かしい未来へ期待を寄せましてお祝いの言葉とさせていただきます。

お祝いのことば

和歌山県レディースバドミントン連盟
理事長　早　香代

大阪府レディースバドミントン連盟、創立４０周年おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

昭和４９年の連盟発足当時､登録数１３団体１１２名でのスタートだったとのこと。その後、昭和から平成への４０年で、登録数は６０団体を超え１６００名にものぼる素晴らしい連盟に成長を遂げられました。これも、村井会長、廣瀬理事長をはじめ歴代の会長、理事長、役員、並びに関係者の皆様、連盟員の皆様の並々ならぬご努力の賜物であると思います。

平成７年には、国際親善婦人バドミントン大会（のちの国際親善レディースバドミントン大会）を開催され、近隣県のみならず日本全国、また海外の皆様ともバドミントンを通じて交流を深める努力をされると同時に、女性団体として、乳がん撲滅に向けたピンクリボン運動に協賛するなど競技を通じた社会貢献に積極的に取り組んでおられる事は、素晴らしい事だと思います。

また貴連盟の活動の成果の一つとして、全日本レディースバドミントン選手権大会都道府県対抗戦で、連覇を含め１０度の優勝という輝かしい成績を積み重ねられています。この実績は、私共連盟の憧れであり、目標であります。

今後の大阪府レディースバドミントン連盟の益々のご発展を祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

記念寄稿

４０周年に寄せて

大阪府レディースバドミントン連盟
顧　問　　江　村　美代子

この度、大阪府レディースバドミントン連盟が創立４０周年を迎えることとなりました。これは現在に至るまでの長い間、私たちが多くの方々に支えてきていただいたからこそだと感謝の念に堪えません。かつて連盟の運営に携わった者として皆さまに心よりお礼を申し上げます。

思い返せば私が連盟の会長職を引き受けることになったのは２００２年のことです。それまで衣料の世界で生きてきた私にとってバドミントンはまるで異質なものでしたが、役員、会員の皆さんが生き生きと自らの力で様々な困難を乗り越え、未来を切り開いていく姿を目の当たりにして、私も女性の生涯スポーツ実現のため微力を尽くしたいと思うに至りました。

連盟の誇りある４０年の歴史の中で私の会長在任期間はわずか７年間ではありましたが、その間になし得たもののひとつとして、国際親善レディースバドミントン大会の２００８年ロスアンゼルス開催があります。これは連盟が育ててきたこの大会の初の海外開催であり、真の国際化をはかるための一助になったのではないかと私は自負しております。

創立４０周年を契機として、今後、私たちはこの大会の発展はもとより連盟の果たすべき使命を再認識し、多くの女性がバドミントンを通じてスポーツの感動を分かち合い、健康で活力に満ちた生活の実現をはかれるよう更に努力を続けていかなければなりません。どうか皆さまには引き続き変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

創立４０周年を迎えて

大阪府レディースバドミントン連盟
副会長　　池　田　紗千子

連盟創立４０周年の記念すべき年を迎えることができて大変嬉しく思います。

その昔、大きな夢を抱いてスタートした小さな連盟が長い道のりを経て４０周年を迎えることができたのは、大勢の皆さまのご支援、ご協力があったからこそと感無量の想いがいたします。

当時、右も左も分からない私達に組織運営のあり方についてご指導くださった方々、途方にくれた時に温かい手を差しのべてくださった方々、労を厭わずご協力くださった方々など、これまでを振り返りあらためて皆さまに心よりお礼を申し上げます。

４０年の間には語りつくせないほど様々なことがありました。その中でも連盟として特筆すべきは国際親善大会の充実です。この大会が女性のみで運営されている世界でも類を見ない大会として高く評価されたことから、昨年、村井会長がBWF Women in Badminton Awardの栄誉に輝いたことはまだ記憶に新しいところです。

また一方で、連盟には多くの課題も残されています。皆さまの要望に応える運営や私達の進む方向の検討、さらには女性の生涯スポーツの在り方についてなど、連盟の取り組むべき問題と果たすべき役割を考えなければなりません。

思えばたくさんの出会いと幸運に恵まれて私達は今ここにいます。まわりの方々への感謝の気持ちを忘れることなく、未来に向けて心も新たに進みたいと思っています。

どうか皆さまにはこれからも変わらぬお力添えを切にお願い申し上げます。

記念寄稿

連盟創立４０周年記念誌発刊によせて

大阪府レディースバドミントン連盟
参与　上田光代

大阪府レディースバドミントン連盟創立４０周年心よりお祝い申し上げます。

１９７５年に１１２名で発足した本連盟が、今日では1,６００名近い登録者数を有する力強い連盟に成長いたしましたことは、誠に感無量です。当初は大阪府下を４ブロック（豊能、北河内、中河内、泉南泉北）に区分し、時を経て現在の７ブロック（豊能、三島、北河内、中河内、泉南泉北、市内、南河内）に到っており、各ブロックがそれぞれ小規模ながら独立した運営活動を展開することにより、地区活動はもとより会員の底辺拡大の源として貢献し、今日の発展をもたらしたといえましょう。

国際親善レディースバドミントン大会の経緯を少し述べます。現在の全日本レディースバドミントン大会個人戦の前身である西日本バドミントン大会が、２０回大会を機に日本レディースバドミントン連盟に移管された翌年の１９９５年、国内、海外を通じ女性主体で運営できる大会を開催し、世界に女性バドミントン愛好者の輪を広げたいという当時の理事長村井広美氏の夢を実現しようと、何人も考え及ばなかった大会が動き出したのです。第２代会長故嶋久雄先生のご指導のもと、英文実施要項の作成、海外選手招致、資金集めと、多々の難問題をクリアーし、また関係各位の絶大なるご支援ご協力を得て、第１回の大会が開催され今日に至っています。

国際大会は２００８年に海外開催(U.S.A.)も果たし、世界中から注目される大会に成長してまいりました。翌２００９年には日本レディースバドミントン連盟に移管され、ＢＷＦの公認も得ました。本年大阪府連盟は主管として６年目、スタートして２０周年となるアニバーサリーの年を迎えます。奇しくも大阪府レディースバドミントン連盟の４０周年と相重なり、盛大で意義ある大会となることを念じています。

最後になりましたが、関係各位のご支援ご協力に厚く感謝申し上げて挨拶といたします。

国際大会２０周年を思う

国際大会専門部　土肥昌代

平成５年（１９９３年）だったと思います。時は前期団体リーグ戦開催中、大阪市中央区大手前にあった中央体育館会議室において役員会がもたれ、国際親善大会が産声を上げようとしていました。

大阪府で主催主管していた西日本大会をグレードアップさせ、日本レディースバドミントン連盟へ移管したい。ついてはそれに替わる大会を新規に立ち上げる。そしてそれは世界を見据えた大会でなくてはならない。この地大阪から、私達の手で世界へ向けてバドミントンスポーツを通じた親善友好の輪を繋いで行こう。これが理事長であった村井広美氏の提案でした。

直面した最大の困難は資金調達でした。集金以前に経費の算定も手探りの状態という中で、ベースボール・マガジン社のご協力を得、大阪府協会、関係企業、ありとあらゆるコネクションを求め、幾多の方々にお世話になったでしょうか。女性組織としての連盟は、それを理解していただき協力を得るにはまだ容易ではありませんでした。第１回大会海外からの参加は、台北、中国、韓国でした。台北は、理事長と親交のあった呉文達氏と頼聯旺氏にご協力いただきました。中国は胡山喬氏と当時サントリーの監督であられた山本次生氏にお世話になりました。韓国は長崎県のご紹介により釜山の金三鍾氏に参加をいただきました。

しかしながら言葉の壁は如何ともし難く、これはまずい！と冷や汗の出る思いでした。その時に、海外との意思疎通を図ること、誘致活動を進めることの重要性を、骨身に染みて感じました。

それから２０年、日本レディースバドミントン連盟理事長をも１３年間にわたり務められた村井広美会長は、あまたの業績により昨年BWFよりWomen in Badminton Awardを受賞されました。女性スポーツに対するその理念と方向は世界共通であることが実証された瞬間であり、西と東の橋がここにつながった思いで感慨無量でした。

一つの時代が過ぎゆき、大阪府レディースバドミントン連盟は新しい時代へ進もうとしています。私たちは地球人であるという意識を持って、これからも世界中に友好と理解の輪を繋いで行って欲しいと思います。

記念寄稿

節目のご縁

会計監査　西野幸子

今年で成人式を迎える国際親善バドミントン大会に第一回目から携わっている者として、益々大きくなっていくこの大会に敬意を表します。

役員として微力ながらみんなと一緒にお世話をさせていただいた時は自分の試合どころでなく、外国選手の対応や府外と府内とのチーム調整など、未熟な私にとって勉強することばかりでした。ですから、現大阪府レディースバドミントン連盟村井会長が貫き通された外国チームへの誘致活動は、大変なことだったと推察致します。

時代の流れで当時はプログラム作成もＢ５版の時代で携帯電話もパソコンも現在に比べると普及率もはるか低い世代でした。２００３年のゴーセン杯から２００８年のU.S.A.大会を経て、２００９年には（公財）日本バドミントン協会・日本レディースバドミントン連盟の懐のもと、ヨネックス杯となり更に一段と飛躍されました。

大阪府レディースバドミントン連盟が創立４０周年を迎えるこの節目の年にこの大会が誕生して２０年目となるこのご縁をこれからも大切に、一歩一歩前進されていくことを願っております。

国際親善レディースバドミントン大会の思い出

小柴成代

大阪府レディースバドミントン連盟創立４０周年を心からお祝い申し上げます。併せて「国際親善レディースバドミントン大会」も２０回記念大会を迎えられ、一時期この大会運営に関わった者としてはこの上ない喜びを感じております。

さて、昨年ＢＷＦから村井会長が国際親善大会の成果を高く評価され「Women in Badminton Award」を受賞されました。これにより当大会は世界にその名前を広く知らしめることになりましたが、私が関わったのはまだまだ発展途上段階の頃であったと言えます。

他の大会では、まだ実施されていなかった大会記録のパソコン化を村井会長（当時は理事長）から急遽提案され、平野クラブの鎌谷さん（パソコンのスペシャリストです）にお願いしてソフトを作って頂きました。その頃パソコンを他の連盟役員より少しだけ私が使えたということもあり、Excel もままならない私が必死でパソコンと向き合い、仲間と協力しながら奮闘しましたが、新しい事への挑戦で疲れより充実感でいっぱいでした。

その後も役員の皆様は、絶え間ない努力を続けられ今日の国際親善大会を築き上げられたのだと思います。

最後になりましたが、大阪府レディースバドミントン連盟の益々のご発展と役員の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

記念寄稿

連盟員全員の協力

国際大会専門部　　森　元　恵　子

私は平成１３年から２３年の間、連盟役員として行事のお手伝いをさせて頂きました。中でも国際親善レディースバドミントン大会は、年間を通して役員が中心となり連盟員全員の協力で行われていたと思います。

海外選手の参加を増やすには？ 運営費の確保は？海外や全国から参加される方々に日本・大阪を楽しんでいただきたい。そのような思案に暮れながら村井会長 (当時理事長) のもと、よくミーティングを行い外出もしました。主婦であることを忘れたかのように！！しかし関係する皆様には、温かくご指導やご支援をいただき少しずつ前進して行く事が出来ました。その様に多くの方々に支えられて平成２０年　アメリカ・カルフォルニアで行われた The 14th International Friendship Ladies Badminton Tournament in U.S.A. 2008　へと繋がっていきました。

現在では日本レディース連盟に移管され、ＢＷＦの公認も受け、ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会として、年齢層も広く海外・全国から親しまれた大会になっていることを嬉しく思います。

最後に大阪府レディースバドミントン連盟が創立４０周年を迎え、多くの方々に愛されながら末永く歩んで行けることを心より願っております。

U.S.A. 大会について

副理事長　　木　村　幸　子

オレンジカウンティーバドミントンクラブと大阪府レディースバドミントン連盟がカリフォルニアで共催するという壮大な計画のために本当に多くの課題がありました。

要項の見直しとして、団体編成の難しさを解消するために個人申し込みも認めたり、プログラムをすべて英語に打ち変えたり他、通常大会とは違う準備が必要でした。

しかしながら海外開催を行うための村井会長の折衝力や人脈の太さは想像を超え、前年に村井会長はじめ役員の方々の入念な視察により指針に肉付けされていったと思います。

現地でのパソコン運営の不具合が起きないかを心配しながらも、最小限の競技関連用品を詰めこんで出発しましたが、大きなトラブルも無く、まるで日本で大会を開いているような錯覚を受けました。現地のスタッフも率先して運営に加わって下さり、私たちもプレーヤーとして楽しく参加出来ました。参加者の３分の１が海外選手で、多くの国の方々の中で日本人がプレーするという理想の数式でした。海外で開催する事で、「何事も否定しないところから多くの可能性がうまれる」そんな事を学んだ様な気がします。

朝早くから本当に日差しの強いカリフォルニアの太陽と、色々な国の方々と同じ目的で出会えたこの大会を忘れることは無いと思います。

ここまで積み上げられた諸先輩のご努力によりこの大会があり、私たちは今後そのような先達の思いを継承し、広く世界に発信し、多くの方々が集って下さることを願っています。

近年、一行を率いて来阪していただく海外チームの増加があり、私たちはその成果を冷静に判断し、今後新たな展望に向けても努力を惜しまなく続けていきたいと思っています。

U.S.A. 大会に参加して

副理事長　竹　田　由美子

２００８年のU.S.A. 大会は、国際親善大会を通じて親交のあるメイさんの活動拠点であるOrange Countyでの開催ということもあり是非参加したいと思いました。

私と常井さん(桜ヶ丘クラブ)に加え、個人で申し込みのあった太田さん(愛知)、藤永さん(愛知)、千葉さん(東京)、谷藤さん(千葉)とチームを結成し、大阪AチームとしてAゾーンに出場しました。試合の方は、時差ボケで体が思うように動かず頭も働かず自分のプレーができなくて初戦を落としてしまいました。結局、その一敗が響き決勝トーナメントには進めなかった苦い思い出があります。いつもは海外選手をお迎えし対戦する立場なので気付かなかったのですが、海外へ出て試合をすることは、体力面でのハンディがあると感じました。それから大阪開催の国際親善では海外選手担当としてお手伝いをさせていただいていますが、選手の方には気遣いを忘れず試合を楽しんでいただけるよう配慮しようと努めています。

この大会に参加して素敵な方々と出会いました。U.S.A. 大会を機に大阪へ来てくれた若い選手達は、コートの中ではチームワーク良く全力でプレーし、コートの外では色々な事に興味を持って前向きに行動していたことに好感が持てました。

また、毎年大会に参加して下さるベテラン選手の方々は、年に一度の再会を喜び合い、バドミントンを楽しみ、試合後は来年こそは！と決意新たに帰国される... このように年齢関係なく海外の愛好者と交流できることは私の生活の中では想像のつかないことでしたが、この大会を通じて色々な面からバドミントンや社会を見ることができて大きな経験をさせていただきました。

この大会を発案し開催し続けてきた先輩方に感謝し、この大会が世界の愛好者の集う大会として益々発展していけるようお手伝いして行きたいと思います。

国際親善大会に寄せて

長　澤　照　子

二十年前、大阪府家庭婦人バドミントン連盟主催で、国際親善大会が始まったのは画期的な事でした。長年女性だけで西日本大会や全国大会を開催してきた実績がありました。メーカーさんの協力もありました。

それより以前から五十歳以上の会員で大阪楽翔会が発足し、そのメンバーが中心となり、ヨーロッパ・アメリカ本土・ハワイ・台北・オーストラリア等ラケットを持って親善旅行にいきました。

六年目に六十歳以上のゾーンが設けられ、大阪楽翔会として試合に参加してきました。海外からのチームは若いゾーンなので対戦出来ませんが、国内の遠いところから毎年出場して下さるチームに感謝です。

外国からの参加も増え、年々盛大になり、世界のバドミントン界でも認められる様になりました。その様なはでやかな国際親善バドミントン大会に参加出来ることは幸せです。最高齢のゾーンの年齢がどこまで上がるのか楽しみです。

健康で毎年参加出来る様、七十四才、日々頑張っています。

シニア部（大阪楽翔会）

大阪府レディースバドミントン連盟
シニア部　部長　　林　　美津代

生涯スポーツの場を創ろうと、平成2年当時理事長村井広美・副理事長上田光代・常任理事桂よしみ・小池妃美子・高野久美子・山崎桂子・長澤照子ら諸先輩の発案で発起委員会が結成されました。平成2年4月18日40名で発足会を開き、村井会長・副会長上田光代・故服部春代・石原敦子、その他の役員を選び楽翔会が誕生しました。後に大阪楽翔会となりました。

行事としては全国大会応援ツアー、お楽しみバドミントンと食事会を兼ねた総会、近畿シニア親睦会等の活動があったと聞いています。当時私はまだ楽翔会には在籍せず、大阪代表として全国大会に出場していました。長崎での全国大会で応援団を組み揃いのTシャツで「フレーフレー林」コールが観客席から聞こえた時の感動は、今も忘れることが出来ません。その後他府県も応援団を作り全国大会の応援合戦が始まったと記憶しております。

平成10年には、長崎・広島・山口・大阪で交流会がスタートしその後岡山・高知・島根の7府県になり現在に引き継がれ、26年3月には第16回大会が岡山県総社市で開催されます。

“いつまでも、元気で、楽しく”をモットーに50才～70才代と幅広く一年ぶりの再会を楽しみにしています。年々参加人数が増え、担当県は体育館確保に頭を悩ましているところです。

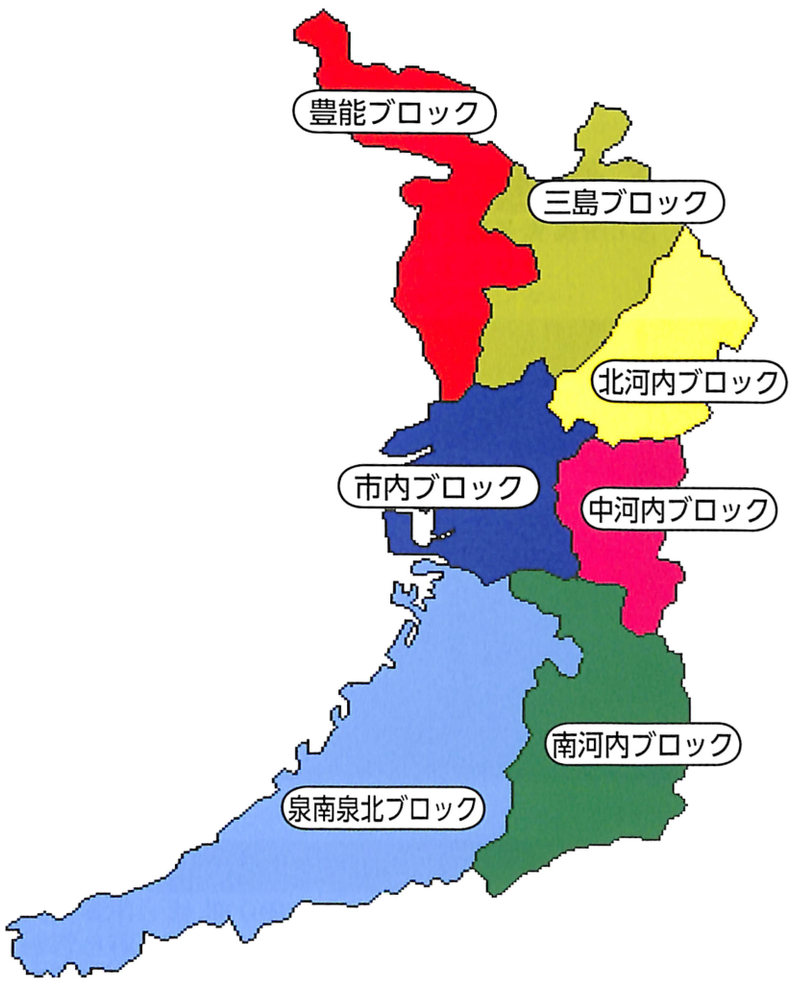
平成21年に大阪楽翔会は大阪府レディースバドミントン連盟の傘下に入りレディース連盟との連携のもと活動しています。年間4回の行事を計画しどの年代も楽しくバドミントンができるように考えております。



加盟団体紹介

豊能ブロック

団体番号	団　体　名	ページ
３０１	桜ヶ丘クラブ	68
３０２	豊中シスターズ	68
３０３	池田クラブ	68
３０４	ＷＩＮ	69
３０５	スウィング	69
３０６	ビクトリー	69
３０７	ＮＥＯ　ＣＬＵＢ	70



泉南泉北ブロック

団体番号	団　体　名	ページ
３５９	泉ヶ丘	80
３６０	熊取	80
３６１	鶴山台クラブ	80
３６２	弥生クラブ	81
３６３	貝塚	81
３６４	鴨谷クラブ	81
３６５	しらさぎ	82
３６６	岸和田	82
３６７	高石クラブ	82
３６８	ふるーる	83
３６９	ドリーム	83

三島ブロック

団体番号	団　体　名	ページ
３１４	茨木クラブ	70
３１５	清水クラブ	70
３１６	吹田ミセス	71
３１７	せっつクラブ	71
３１８	高嶺クラブ	71
３１９	如月クラブ	72
３２０	あいＣＬＵＢ	72
３２１	島本ＡＯＣ	72
３２２	マミーズ	73
３２３	黎明クラブ	73

北河内ブロック

団体番号	団　体　名	ページ
３３０	門真クラブ	73
３３１	枚方シャトルズ	74
３３２	寝屋川クラブ	74
３３３	守口東部	74
３３４	交野クラブ	75
３３５	枚方フライデー	75
３３６	四条畷クラブ	75
３３７	大東クラブ	76
３３９	フレンズ	76
３４０	ポピーズ	76
３４１	スピード	77

中河内ブロック

団体番号	団　体　名	ページ
３４６	東大阪Ｍ．Ｂ．Ｃ	77
３４７	東大阪Ｂ．Ｂ．Ｃ	77
３４８	八尾クラブ	78
３５０	ミルキーズ	78
３５１	石切Ｌｅｔ＇ｓ	78
３５３	さくらクラブ	79
３５４	ジュピター	79
３５５	えんじょいず	79

市内ブロック

団体番号	団　体　名	ページ
３７２	フレンドリークラブ	83
３７３	神津クラブ	84
３７４	平野クラブ	84
３７５	グリーン	84
３７６	塚本クラブ	85
３７７	わかばクラブ	85
３７８	キャロット	85
３７９	ふじクラブ	86
３８０	よしのクラブ	86
３８１	Ｕ・Ｆ・Ｃ	86
３８２	ト音記号	87
３８３	コジコジ	87

南河内ブロック

団体番号	団　体　名	ページ
３８９	河内長野クラブ	87
３９０	富田林	88
３９１	たちばなクラブ	88
３９２	レインボー	88
３９３	狭山	89

桜ヶ丘クラブ　３０１

箕面市　　創部：1975(昭和50)年7月

代表者名：池田　紗千子　　部員数：３３名
練習日程：火　１３：００～１７：００
練習場所：箕面市立第二総合運動場市民体育館

所属リーグ：１、９、１３、２５部



桜ヶ丘クラブは、２０１５年に創立４０周年を迎えます。現在は全国大会で活躍中のメンバー、ベテラン、初心者までの３０数名が、素晴らしいコーチの指導のもと楽しく技術向上を目指して練習しています。１９９０年には文部大臣表彰の栄誉に輝きました。その実績を誇りとして、これからも良き仲間と共に生涯スポーツ実践に取り組んでいきます。

豊中シスターズ　３０２

豊中市　　創部：1977(昭和52)年

代表者名：広瀬　登喜子　　部員数：２１名
練習日程：水　１３：３０～１７：００
練習場所：武道館ひびき

所属リーグ：３、８、１３部



豊中シスターズは３６年前、８名の主婦で発足しました。大好きなバドミントンで友達の輪が広まり、思いっきり楽しみつつ、多方面への発展に繋がればそれはまた嬉しい事だと思っています。現在は、入部予定の若い戦力達と共に、次期リーグ戦に向け、上位入賞目指して頑張っています。

池田クラブ　３０３

池田市　　創部：1980(昭和55)年4月

代表者名：山元　佐代　　部員数：２７名
練習日程：月・木　１３：００～１７：００
練習場所：池田市立総合スポーツセンター

所属リーグ：２、１３、２０部



池田クラブは池田市を中心に活動し、パターン練習・ノック・試合等、様々な要素を取り入れ、各自の弱点を強化する内容を考えて練習しています。子育て世代も多く、良い汗を流している横では子ども達も楽しく遊んでいます。また、練習の合間にはミーティングという名のおやつ付き雑談会が開かれるのもしばしばで、とても和気あいあいとした楽しいクラブです

ＷＩＮ　３０４

豊中市　　創部：1996(平成8)年

代表者名：安福　知子　　部員数：２２名

所属リーグ：７、１４、２５部

練習日程：火・金　９：００～１２：００

練習場所：吹田市立目俵体育館、山田体育館



１９９４年にスイトピーとして創部し、後クラブ名をＷＩＮに変更し現在に至っています。バドミントンが大好きな３０代から６０代の幅広い年齢の主婦が集まったクラブです。現在３チームが登録し、技術向上、部昇格を目指し、月２回櫻井コーチの指導のもと充実した練習をしています。バドミントン以外にも、春にはお花見、秋には旅行、冬には忘年会などをして親睦を深めています。

スウィング　３０５

池田市　　創部：1996(平成8)年3月

代表者名：中嶋　弘美　　部員数：２３名

所属リーグ：６、１１、１７部

練習日程：木　１３：００～１７：００

練習場所：池田市立総合スポーツセンター



３０代から６０代、小さなお子さんからお孫さんがいる方まで、幅広い年齢層のクラブです。ステキなコーチの指導の下、レディースに応じた練習をしています。和気あいあいとしながらも時には厳しく、一つでも上の部に上がることを目指し、日々技術向上に励んでいます。同じ目標を持った仲間達と、いつも明るく賑やか。楽しいクラブです。

ビクトリー　３０６

箕面市　　創部：1996(平成8)年

代表者名：朴井　郁子　　部員数：９名

所属リーグ：１６部

練習日程：金　１２：００～１５：００

練習場所：箕面市立第二総合運動場市民体育館



学生時代などのバドミントン経験者はいません。みんな主婦になって、ちょっと運動しようと思ってやってみたら楽しくなって、夢中になった人達ばかりです。月２回コーチの指導を受けています。少し子どもの手が離れたらバドミントン始めてみませんか？

NEO CLUB　307

豊中市　　創部：2007(平成19)年2月

代表者名：和田　登志　　部員数：２２名
練習日程：水・金　９：００～１２：００
練習場所：豊中市立千里体育館、吹田市立山田体育館
所属リーグ：１９、２３、２５部



バドミントン愛好者の主婦グループからスタートしたクラブです。当初は１チームでの登録でしたが現在では３チームに増え、年々明るく活気溢れるクラブへと変貌を遂げつつあります。メンバーは皆、楽しく・優しく・思いやりのある人達で、初心者から参加ＯＫです。子育てや仕事と両立させながら、みんなで技術力アップを目指しています。チームワークでは、どのクラブにも負けません。

茨木クラブ　314

茨木市　　創部：1979(昭和54)年

代表者名：相沢　邦子　　部員数：３２名
練習日程：金　９：００～１２：００
練習場所：茨木市立市民体育館
所属リーグ：２、４、１０、２２部



２０代～３０代前半の１０人での創部から２０１３年で３５周年。３２名になった部員全員で盛大に祝いました。大笑いでの団体戦をし、湖畔でのＢＢＱは皆の心に残ってくれる事でしょう。４０代を中心に２０代から７０代まで幅広い年齢層ですが、全員で切磋琢磨し前進への意欲、思いやりを持ち大好きなバドミントンを楽しんでいます。勝つぞ！勝ちたい！チーム力自慢の茨木クラブです。

清水クラブ　315

高槻市　　創部：1976(昭和51)年

代表者名：石崎　有紀子　　部員数：４４名
練習日程：金　１０：００～１３：００
練習場所：日立マクセル体育館
所属リーグ：１、３、８、１１、１６、２５部



バドミントンが好きで齢を重ねても続けていければと１０名たらずで発足し、現在は連盟最大規模の団体となりました。全国団体クラブ対抗の部で優勝、都道府県代表や全日本シニアで優勝する選手を輩出しました。平成２０年度からは６０歳以上のシニア会員制を新設し、生涯スポーツ実践の準備も整いました。これからも一つひとつ着実に夢を実現出来るようクラブ全員笑顔で頑張っていきます。

吹田ミセス　３１６

吹田市　　創部：1975(昭和50)年

代表者名：澤田　典子　　部員数：２１名
練習日程：火・木　９：００～１２：００
練習場所：吹田市立北千里、山田、目俵体育館



所属リーグ：５、１０、２３部

吹田市で生まれ、長い歴史を築き、伝統を守り続けて３８年が経ちました。練習は楽しくもあり、仲間意識はかなり強力です。恒例としているお花見と忘年会で親睦を更に深め、チームワークはバッチリ！笑顔の奥で秘める闘志を燃やし、対外試合に参加、練習試合も積極的に行っています。常に邁進し続ける「吹田ミセス」です。

せっつクラブ　３１７

摂津市　　創部：1980(昭和55)年

代表者名：馬面　弓子　　部員数：２３名
練習日程：木　９：００～１２：００
練習場所：摂津市立味生体育館



所属リーグ：４、１３、１９部

せっつクラブは、摂津市で唯一の大阪レディース登録のチームです。クラブ員の構成は年配の方から２０歳代までと、さまざまなメンバーが在籍し、最近では仕事をもつメンバーも増え、多忙ながら、楽しく、居心地のよいクラブを目指し、活動しております。また、コーチの指導をほぼ毎週うけることができ、リーグ戦での勝利を目標にがんばっています。

高嶺クラブ　３１８

高槻市　　創部：1974(昭和49)年

代表者名：原　澄子　　部員数：３７名
練習日程：火　１３：００～１６：３０
練習場所：古曽部防災公園体育館



所属リーグ：２、５、８、９、１５部

一昨年より練習場所を古曽部防災公園体育館に移して、毎週火曜日に練習しています。月２回はコーチの指導の下、技術の向上を目指して頑張っています。我がクラブも今年４０周年を迎え、歴史の重みを感じています。３０代～６０代の皆が、バドミントンを離れても親睦の名のもとに全員集まるほど、和気あいあいとした楽しいクラブです。

如月クラブ　３１９

高槻市　　創部：1987(昭和62)年2月

代表者名：岡本　嘉　　部員数：２７名
練習日程：水　１３：００～１７：３０
練習場所：高槻市立総合スポーツセンター、堤体育館

所属リーグ：５、１１、１５、２４部



２月に発足したことで名付けた、如月クラブ。今年で２７年目を迎え、部員数２７名４チームのクラブへと成長しました。３０代から６０代の幅広い年齢の部員が切磋琢磨し、厳しくも的確なコーチの指導のもと身体も頭脳もフル回転。生涯スポーツとしてのバドミントンだけでなく、“勝つこと”“上達すること”を目標に“楽しく”練習に励んでいます。これからも部員一丸となり頑張っていきます。

あいＣＬＵＢ　３２０

茨木市　　創部：1985(昭和60)年3月

代表者名：百野　郁子　　部員数：３６名
練習日程：火　１３：００～１７：３０
練習場所：茨木市立市民体育館

所属リーグ：２、７、１９、２１、２３部



全日本レディースバドミントン選手権大会クラブ対抗の部で優勝（２５年度）。独自のフォーメーション理論で定評のある指導者の下、入賞３回、優勝１回の実績を積み上げてきました。国際親善のレセプションでは、チーム全員のパフォーマンスを披露するなど、チームワークも抜群のクラブです。「あい（愛）は勝つ」が私達のクラブの歌になっています。

島本ＡＯＣ　３２１

島本町　　創部：1982(昭和57)年6月

代表者名：宮﨑　フミエ　　部員数：１９名
練習日程：火　１５：００～１８：００
練習場所：島本町立体育館

所属リーグ：１２、２０部



島本町『A』青葉の若い『O』奥様数人から始めた『C』クラブ、島本ＡＯＣも創部３０年が過ぎました。部員の年齢・生活環境の変化など、世代と共にバドミントンへの向き合い方も変わってきました。月に一回２０年以上みていただいているコーチの指導の下、上位に上がれるように！そして生涯スポーツとしてバドミントンを楽しんでいけるよう、これからも頑張っていきたいと思っています。

マミーズ　３２２

代表者名：山本　容子　　部員数：９名
練習日程：木　９：００～１２：００
練習場所：吹田市立南吹田体育館



吹田市　　創部：1992(平成4)年
所属リーグ：２１部

創部して２２年。その間人数不足で団体戦のエントリーを断念し、８部でしたが最下部より再スタートしたこともありました。よくここまで続いたものと思います。今も多くはないですが、７４～４０歳のメンバーで楽しく練習や試合に励んでいます。全部員やる気満々でステップアップに一生懸命です。「継続は力なり」と言います。これからもより長くより上を目指すクラブでありたいものです。

黎明クラブ　３２３

代表者名：山川　公子　　部員数：２２名
練習日程：木　１３：３０～１７：３０
練習場所：茨木市立市民体育館



茨木市　　創部：1997(平成9)年10月
所属リーグ：５、１２、１５部

創部より十数年を経て、新しい部員が中心となって活躍しております。コーチ陣もチャンプの櫻井コーチに加え、ミズノの竹田コーチにも来ていただいて、団体リーグ戦も５部に押し上げていただきました。ベテラン部員もバドミントンを生涯スポーツとして頑張っていますが、当クラブとしてはさらに若年化を図り、老若がうまくかみ合ったクラブ作りを目指していきたいと思います。

門真クラブ　３３０

代表者名：林　美津代　　部員数：３１名
練習日程：火・木　９：００～１２：００
練習場所：門真市民プラザ体育館



門真市　　創部：1974(昭和49)年
所属リーグ：１、４、１３、１６部

門真クラブは、まもなく創部４０周年を迎える歴史あるクラブです。練習内容は、体操・ランニング・ストレッチから始まり、充分アップして実践的なパターン練習やゲームを行っています。コーチ陣にも恵まれ、充実した環境のもと、技術向上をめざしています。一方、年に一度は紅白戦や新年会等部員どうし語らい、親睦の輪を深めています。

枚方シャトルズ　３３１

代表者名：酒井　素子　　部員数：２４名
練習日程：火・木　９：００～１２：００
練習場所：枚方市立総合体育館、伊加賀スポーツセンター



枚方市　　創部：1981(昭和56)年
所属リーグ：４、１７、２４部

年齢は３０代～７０歳…月８回の練習の内ほぼ3回コーチのご指導を受けています。アフター５（！？）の活動がとても盛んで、年２回のリーグ戦終了後の全員での打ち上げの他、何かと理由をつけてはコミュニケーションを図っているので、常に和気あいあいとしたクラブです。バドミントンをこよなく愛し、常に向上心を持ちながら、活気溢れる元気なクラブを目指しています。

寝屋川クラブ　３３２

代表者名：川内田　和子　　部員数：３９名
練習日程：月・水　９：００～１２：００
練習場所：寝屋川市立市民体育館



寝屋川市　　創部：1975(昭和50)年10月
所属リーグ：４、７、１０、１５、２３部

雨の日も風の日もお盆や連休もおかまいなし。「そこに体育館がある限り」週２回の練習に明け暮れています。それも一重にバドミントンが好きだから、クラブの仲間が大好きだから。家族より長い時間一緒にいるかもしれない心地良いメンバーと楽しく＆厳しく日々の練習に励んでいます。名物はクラブ専用ポットとお茶セット♪汗を流した後の一服はたまりません。皆さんも一緒にいかがですか！

守口東部　３３３

代表者名：末藤　かほる　　部員数：１７名
練習日程：木　９：００～１３：００
練習場所：守口市立東部公民館



守口市　　創部：1975(昭和50)年10月
所属リーグ：５、１４部

私達のクラブは創部から３８年、２年後に連盟に登録し３６年になります。今でも創部当時の部員の方が、私達の練習コート横で楽しくバドミントンをされています。平均年齢４４歳と若い（？）チームですが、先輩たちのパワーに負けないよう練習に励んでおります。今後は３つ目のチームが出来るように部員を増やし、活気のある楽しいバドミントンをしていきたいと思います。

交野クラブ　３３４

交野市　　創部：1981(昭和56)年4月

代表者名：小野　みき　　部員数：２２名

所属リーグ：３、１２、１６部

練習日程：水　１５：００～１９：００、土　９：３０～１３：００

練習場所：交野市立総合体育施設



当クラブは、交野市のバドミントン教室の講習会から始まりました。緑が多く、星のきれいな交野で、経験者から初心者まで幅広く活動しています。ぶどう狩りや合宿、おたのしみ会、忘年会などたくさんの行事を持ち、みんなの交流を深めながら日々練習に励んでいます。

枚方フライデー　３３５

枚方市　　創部：1983(昭和58)年10月

代表者名：東　晴美　　部員数：３３名

所属リーグ：３、９、１１、１８部

練習日程：金曜日

練習場所：枚方市立総合体育館、伊加賀スポーツセンター



私達「枚方フライデー」は、１９８３年に創部しました。皆がバドミントンを愛し、体力・技術の向上をめざし、和を大切に、笑いの絶えない雰囲気の中で、楽しみながら、３０代から６０代のメンバーで、毎週金曜日に練習しています。

四条畷クラブ　３３６

四條畷市　　創部：1987(昭和62)年3月

代表者名：小坂　薫　　部員数：３４名

所属リーグ：３、３、９、１８部

練習日程：木　９：００～１２：００、日　９：３０～１３：００

練習場所：四條畷市立市民総合体育館、市立田原小学校



創部２８年、週２日の練習会場に恵まれ、レベルアップを目標に練習に励んでいます。近年、全日本選手権大会（クラブ対抗）に６年連続出場をし、２０年度には、準優勝を果たしています。また、次世代を育てる為に、地域のバドミントン愛好者が気軽に参加できる教室や練習会をクラブで取り組んで１５年になります。何事にも協力し合い、積極的に活動しているのが当クラブの特色です。

大東クラブ　３３７

代表者名：和田　登美子　　部員数：３２名
練習日程：月・金　９：００～１２：００
練習場所：大東市立市民体育館



大東市　　創部：1996(平成8)年5月
所属リーグ：１、６、１３、２１部

２０代～６０代の幅広い年齢層の明るく元気なメンバーで頑張っています。和気あいあいと楽しく、真面目に練習しています。忘年会や花見、ごくろうさん会などの楽しいイベントもあり、ストレス解消もでき、リーグ優勝の夢を抱きながら、向上心を忘れず本気で練習しています。バドミントンが大好きな、笑顔が絶えないクラブです。

フレンズ　３３９

代表者名：宮島　栄　　部員数：１３名
練習日程：月・土　９：００～１２：００
練習場所：門真市民プラザ体育館



門真市　　創部：1993(平成5)年4月
所属リーグ：１２、２１部

フレンズは平成５年、市のバドミントン教室を修了した仲間と立ち上げたクラブです。最初は初心者ばかりでしたが、地域のバドミントンクラブの人達のご協力とご指導をいただき、平成１５年、フレンズとしてレディース連盟に登録。去っていった仲間や新しい仲間を迎えて現在１３人の少人数クラブです。今後もクラブ員が心をひとつにしてバドミントンに取り組んでいきたいと思います。

ポピーズ　３４０

代表者名：成瀬　宏栄　　部員数：２１名
練習日程：火・木　９：００～１２：００
練習場所：枚方市立総合体育館



枚方市　　創部：1984(昭和59)年
所属リーグ：１９、２４部

ポピーズは、創部３０周年を迎え、２０代から６０代までの幅広い年齢層でバドミントンを楽しんでいます。現在２１名の部員が少ないながらもみんなで協力し、高め合い、和気あいあいといい雰囲気で練習をしています。初心者も多いチームですので、試合に勝つことがなかなかできませんが、自分には負けないよう日々練習をがんばっています。

スピード　３４１

交野市　　創部：2010(平成22)年4月

代表者名：向井　恭子　　部員数：２１名
練習日程：木　９：３０～１３：００
練習場所：交野市立総合体育施設

所属リーグ：１８、２２、２５部



バドミントン教室をきっかけに、経験者も初心者も同じコートからスタートしたサークルです。レディース登録当初は、１２名だったメンバーも２１名になりました。３０代から５０代まで幅広く活躍しています。一人ひとりの技術向上は勿論、チーム一丸となり常に上を目指して練習に励んでいます。月一回、コーチからの指導も受けています。

東大阪Ｍ．Ｂ．Ｃ　３４６

東大阪市　　創部：1970(昭和45)年4月

代表者名：西野　幸子　　部員数：３５名
練習日程：火・金　９：３０～１２：００
練習場所：東大阪市立東体育館

所属リーグ：１、２、６、１０、１９部



１９７０年に創部し２０２０年東京オリンピック・パラリンピックの年に５０周年を迎えるクラブです。横断幕に掲げた『栄光へのフットワーク』を合言葉に更なる頂点を目指し、底辺を広げ、生涯スポーツとして永く続けていくことを目標としています。一期一会を大切に、日々練習に励んでいます。

東大阪Ｂ．Ｂ．Ｃ　３４７

東大阪市　　創部：1978(昭和53)年2月

代表者名：甲田　和子　　部員数：２２名
練習日程：木・土　９：００～１２：００
練習場所：東大阪市立東体育館、大東市立大東体育館、四条体育館

所属リーグ：５、１２、１７部



私達のクラブ名のＢ．Ｂ．Ｃは「ブルーバードクラブ」といい、名前の由来は創部当時のメンバーに日産ブルーバードのファンがいたからだそうです。おかげさまで平成２５年に創部３５周年を迎える事ができました。現在は２２名の個性あふれるメンバーが、それぞれに目標をもち日々練習に励んでいます。今後も更なるクラブ発展の為、部員一同力を合わせて頑張っていきたいと思います。

八尾クラブ　３４８

八尾市　　創部：1979(昭和54)年9月

代表者名：下田代　睦美　　部員数：３２名　　所属リーグ：６、９、１４、２２部

練習日程：第２日　９：００～１２：００、第３土　１８：００～２１：００

練習場所：八尾市立高美小学校、高安西小学校



私たちのクラブは３０～７５歳までの部員で構成されており、中でも７０歳以上の現役選手が３名居り、まさに「生涯スポーツ・バドミントン」実践モデルクラブであると自負いたしております。「クラブ練習がないクラブ」とも言われましたが、若年層の技術向上を目指し、練習機会を増やすべく体制改革の途中です。そして「杖をラケットに持ち替えて」永くバドミントンとともに歩み続けます。

ミルキーズ　３５０

松原市　　創部：1993(平成5)年

代表者名：松原　富士子　　部員数：１７名　　所属リーグ：８、２０部

練習日程：水・金　９：００～１２：００

練習場所：松原市立市民体育館



ミルキーズとして歩き出し２０年が過ぎました。部員数は少ないですが、バドミントンにかける気持ちはどのクラブにもひけをとりません。月二回、ベテランコーチのもと、技術はもとより精神力・集中力を身につける様日々努力し、奮って試合に参加し、勝利に繋がる様努力しています。指導者の情熱、部員の熱意とでクラブの輪が強くなり広がっています。宜しくお願い致します。

石切Ｌｅｔ’ｓ　３５１

東大阪市　　創部：1997(平成9)年4月

代表者名：清水　初音　　部員数：２６名　　所属リーグ：９、１９、２０部

練習日程：月・第１・３金・第４土　１９：００～２１：００、第３日　１０：００～１３：００

練習場所：東大阪市立石切中学校



生駒山の麓、石切神社の隣に位置する石切小学校のＰＴＡ同好会のメンバーで発足しました。全員初心者で、訳も分からずにもっと試合に出たい一心で連盟に登録させていただきました。今では部員も倍になり、年齢層も広がり、練習日も増え、活気あるクラブに成長しました。今後はリーグ戦の順位を一つでも上げることを目標に、仲良く一致団結してクラブを盛り上げていけるよう頑張ります。

さくらクラブ　３５３

八尾市　　創部：2000(平成12)年4月

代表者名：市森　千恵子　　部員数：３２名

所属リーグ：１４、２０、２２、２５部

練習日程：土　１３：３０～１７：００

練習場所：八尾市立北山本小学校



バドミントンが大好きと言うメンバーが集まり３２名の大所帯となってきました。和気あいあいと楽しく、時には厳しく、『一球一球を大切に』の合言葉でコツコツと練習に励んでいます。一歩一歩、地道でもランクアップしていきたいと思っています。生涯スポーツとして出来るだけバドミントンを永く続けていきたいと言うメンバー達です。

ジュピター　３５４

東大阪市　　創部：2007(平成19)年4月

代表者名：半田　容子　　部員数：２２名

所属リーグ：１４、２２、２４部

練習日程：第１・３土　９：３０～１２：００、第４木　１３：００～１５：００

練習場所：東大阪市立永和小学校



木曜日のスポーツ教室に通っていた仲間で立ちあげ､「木」にちなんで「ジュピター」と名前を付けた７年目のチームです。コーチの指導を受けながら、練習では試行錯誤の日々ですが、一つ上を目指して親子ほどの年齢差のあるメンバーが楽しく練習をしています。シニアに属するメンバーも増えてきて、若い人の加入を望んでいます。

えんじょいず　３５５

松原市　　創部：2011(平成23)年

代表者名：植田　尚美　　部員数：９名

所属リーグ：２３部

練習日程：月　１２：００～１５：００

練習場所：松原市立市民体育館



創部から早３年。緊張で頭の中が真っ白になりながらも、少しずつではありますが、自分のプレーができるようになってきました。心も技も体も、まだまだの私達。それらを取得していく為に、部員みんなで考え話し合い、練習に励んでおります。教えて下さる方に感謝を忘れず、チーム一丸となって楽しくバドミントンができるように頑張りたいと思っています。これからも宜しくお願い致します。

泉ヶ丘　３５９

堺市　　創部：1977(昭和52)年4月

代表者名：高木　美紀子　　部員数：３５名

所属リーグ：１、５、８、１５、２５部

練習日程：水・金　１２：００～１５：００

練習場所：高石市立体育館、住吉スポーツセンター



泉ヶ丘は創部３７年目を迎える伝統あるクラブです。練習は週２回、山口美津江副代表のユニークな指導のもと、パターン練習を通じてスキルアップを目指しています。また、どなたでも参加していただけるフリー練習を月１回行い、他クラブのゲストさんたちとゲーム練習を楽しんでいます。部員も少しずつ増え、２５年度後期団体戦よりＥチームを作り、２５部にエントリーしました。

熊取　３６０

泉南郡　　創部：1976(昭和51)年

代表者名：十河　佳子　　部員数：２４名

所属リーグ：８、１７、２４部

練習日程：火　１３：００～１５：００、金　９：３０～１２：００

練習場所：京大原子炉体育館



レディース連盟とともに育ってきた私達のクラブもまもなく４０周年を迎えます。年齢層も上がりましたが、最近若いお母さん方の入部が続き、新しい未来が見えてきました。助け合いの精神と思いやりの精神とスポーツ文化を楽しむ精神で練習に励んでいます。バドミントンを通じて一まわり大きな女性として翔き、少しでも技術の向上を目指したいと日々頑張っています。

鶴山台クラブ　３６１

和泉市　　創部：1978(昭和53)年4月

代表者名：松下　美知子　　部員数：２１名

所属リーグ：７、１２部

練習日程：月　１３：００～１７：００、金　９：００～１２：００

練習場所：和泉市立コミュニティ体育館



小学校のＰＴＡ同好会から始まり、早３５年余りが経ちました。リーグ戦での上部昇格を目指し、定期的にコーチを招いて練習に励んでいます。日々和気あいあいとした雰囲気の中、楽しく、また、やる時はやるぞ！と気合いを入れながら取り組んでいます。部員募集中、ビジターも随時歓迎、一緒に練習しましょう！

弥生クラブ　３６２

和泉市　　創部：1982(昭和57)年

代表者名：松川　邦江　　部員数：３２名

所属リーグ：７、１１、１７、２１部

練習日程：月　１２：００～１５：００、金　９：００～１３：００

練習場所：和泉市立市民体育館



レディース連盟を指針とし、弥生クラブも３３年を過ぎました。創部メンバーも６０歳を過ぎ、老若女人３２人が週に２日練習しています。経験者は少ないですが、みんな熟年になっても情熱にあふれ、楽しく頑張っています。これからも互いに励まし、時には戦い、少しでも上を目指して、練習を、そしてアフターバドミントンを楽しみたいと思います。これからもどうぞ宜しくお願いします。

貝塚　３６３

貝塚市　　創部：1987(昭和62)年

代表者名：楠本　安子　　部員数：９名

所属リーグ：８部

練習日程：木　１５：００～１８：００

練習場所：貝塚市立総合体育館



貝塚市はだんじりで有名な岸和田市と、関西空港のある泉佐野市の間に位置します。私たちは、創部以来ずっと１チームで頑張っている小さなクラブです。しかし部員数は少ないながらも、ブロック行事出席率はナンバーワン！自慢の一つです。リーグ戦で一桁まで上がるのに大変年月がかかりましたが、チーム全体に力がついてきて、まだまだ上のランクを目指して頑張っています。

鴨谷クラブ　３６４

堺市　　創部：1989(平成元)年9月

代表者名：金森　洋美　　部員数：３５名

所属リーグ：３、１０、２０、２１、２４部

練習日程：月・木　９：００～１２：００

練習場所：堺市立原池体育館、和泉市立コミュニティ体育館



わがクラブは、創部２５周年を迎えます。松本美和コーチ指導のもと、週に２回、厳しく充実した練習をしています。年々部員も増え、互いに切磋琢磨しつつ、レベルアップを目指しています。２０１３年は、念願のクラブ対抗戦全国大会出場を果たし、部旗も新調し、クラブ員一同盛り上がる年となりました。今後も新たな目標を立て、皆で頑張っていきます。

しらさぎ　３６５

代表者名：深田　真弓　　部員数：２０名
練習日程：火・木　９：００～１２：００
練習場所：堺市立初芝体育館



堺市　　創部：1993（平成5）年
所属リーグ：７、１４部

若い頃からの経験者は少なく、社会人になってから始めた部員がほとんどです。少し高齢化ぎみですが、皆楽しく元気に活動しています。誰でも参加自由で、たまには部員のご主人や娘さんが来るような、アットホームなクラブです。少しでもバドミントンが上手になろうと、クラブ員一丸となって頑張っています。

岸和田　３６６

代表者名：新見　悉子　　部員数：１６名
練習日程：月　１３：００～１６：００
練習場所：貝塚市立総合体育館



岸和田市　　創部：1994（平成6）年6月
所属リーグ：６、１５部

小学校ＰＴＡのママさん達が集まり、健康促進とストレス発散になればいいとバドミントンを始めたチームです。連盟に登録後は、コーチの指導のもと、リーグ戦の結果に一喜一憂しながら練習に励んでいます。『みんなで楽しくがんばろう』をモットーに、練習大好き、おしゃべりも大好きな明るいメンバーで、創部２０周年に向けてがんばっています。

高石クラブ　３６７

代表者名：小谷　恵美子　　部員数：１９名
練習日程：火・水・金　９：００～１２：００
練習場所：高石市立体育館、府立臨海スポーツセンター



高石市　　創部：2005（平成17）年4月
所属リーグ：７、２０部

平成１７年４月に創部し、まもなく１０周年を迎えます。途中足踏みもしながら、Ａチームは２２部～７部まで連続１２回優勝を果たし躍進してまいりました。Ｂチームももう一息です。高石市内の体育館を拠点に活動しています。良き仲間に恵まれ、バドミントンができることの喜びを感じながら『楽しく・厳しく』をモットーに日々精（笑）進しております。

ふるーる　３６８

岸和田市　　創部：2007(平成19)年4月

代表者名：西林　知子　　部員数：１８名　　所属リーグ：１１、１７部

練習日程：火　１３：３０～１５：３０、金　１４：００～１７：００

練習場所：岸和田市立総合体育館、岸和田市立中央体育館



『ふるーる』はフランス語で花という意味です。リーグ戦には現在２チームで参加し、毎回昇部することを目標にしています。週２回の練習では、基礎から実践、弱点克服のためのパターン練習に皆熱心に取り組んでいます。３０代～５０代の構成で、先輩方からいろいろなことを学んでいます。試合や講習会の後は食事を楽しんだりおしゃべりに花を咲かせたりと、とても仲良く楽しいチームです。

ドリーム　３６９

堺市　　創部：2000(平成12)年1月

代表者名：中村　栄子　　部員数：１６名　　所属リーグ：１８、２３部

練習日程：金　９：００～１２：００

練習場所：堺市立初芝体育館



教室をきっかけに創部し、２００９年に連盟に登録させていただきました。少しずつですがランクも上がり、昇格の喜びを部員全員で感じています。リーグ戦に向けて練習することで、メンバーそれぞれ目標ができ、練習に対する取り組みも変わってきました。困難にも互いに励ましあって乗り越えていける、そんなクラブを目指し、焦らず楽しみながら頑張っています。

フレンドリークラブ　３７２

浪速区　　創部：1981(昭和56)年1月

代表者名：井上　みどり　　部員数：３７名　　所属リーグ：１、２、６、９、１６部

練習日程：水・金　９：００～１２：００

練習場所：港スポーツセンター



フレンドリークラブは、創部と同時に市内ブロックが結成され、連盟登録しました。現在Ａ～Ｅ（１～１６部）まで３７名、年齢も２０～７０代まで幅広く、全員が少しでも上手になりたいと、学生の様に週２回汗を流し、全国大会や各地のオープン戦にも積極的に参加し、実力アップに努めています。これからも常に上を目指し、練習に励み、バドミントンを楽しみたいと思っています。

神津クラブ　３７３

淀川区　　創部：1978(昭和53)年4月

代表者名：田中　美千代　　部員数：４０名
練習日程：月・水　９：００～１２：００
練習場所：ダイヘン体育館、北スポーツセンター
所属リーグ：２、６、１２、２１、２３部



私たち神津クラブは、創部３５周年を迎えるとても和やかな雰囲気のクラブで、引退された方々も今なお試合の応援に来てくださったり、と「絆」を大切にしています。チャンプの山口コーチ・櫻井コーチ、常井コーチ、宇衛コーチの指導のもと、厳しくも楽しく、励ましあい、一致団結して頑張っています！

平野クラブ　３７４

平野区　　創部：1984(昭和59)年9月

代表者名：恒任　佐知子　　部員数：３６名
練習日程：火・金　１３：００～１８：００
練習場所：東住吉スポーツセンター
所属リーグ：６、１３、１９、２２、２５部



地元の教室から誕生したクラブです。明るい部風から、今では地元だけでなく幅広い地域から３６名のメンバーが集まりました。好きなバドミントンに打ち込めるのも家族や仲間の目に見えない支えがあってこそ。思う様にプレイできず切ない想いにかられる時もありますが、「勝利」という目標に向かって日々叱咤激励しあいながら（激励多め）、家族への感謝を胸に練習に励む楽しく愉快な一同です。

グリーン　３７５

生野区　　創部：1985(昭和60)年

代表者名：大藤　眞樹　　部員数：１４名
練習日程：水・土　９：００～１２：００
練習場所：生野スポーツセンター
所属リーグ：１８部



スポーツセンターの教室から生まれて２９年。平均年齢の高さは自慢できるクラブです。明るくて楽しく、愉快で屈託がない、おしゃべり好きな人が揃っています。一度覗いてみてください。待ってます。

塚本クラブ　３７６

淀川区　　創部：1986(昭和61)年4月

代表者名：熊田原　久美子　　部員数：３３名

所属リーグ：２、７、１０、１８、２１部

練習日程：不定期

練習場所：西淀川、東淀川スポーツセンター



働く主婦、子育て中のお母さん、産休育休中の若マダム、また、住所も様々、みんな忙しい時間をやりくりしながら集まり、リーグ戦に向けてがんばっています。

わかばクラブ　３７７

東住吉区　　創部：1988(昭和63)年7月

代表者名：朝井　和子　　部員数：３０名

所属リーグ：３、１１、１９部

練習日程：火・木　９：００～１２：００

練習場所：東住吉スポーツセンター



創部当時からのしっかりとした葉に、年々新しいメンバーのフレッシュなわかばを加え、築き上げられた歴史を大切に、すばらしいコーチの指導の下、試合に向けて練習しています。常時２８～３０名と出席率が良く、早く来て個人練習をする熱心で活気のあるクラブです。

キャロット　３７８

西区　　創部：1991(平成3)年11月

代表者名：中山　かつえ　　部員数：１５名

所属リーグ：１１、１６部

練習日程：水・土　９：００～１２：００(１２：００～１５：００)

練習場所：西スポーツセンター



バドミントン教室で知り合った、バド大好きな明るく愉快な仲間が集まって出来たチームです！年齢幅の広いクラブとして親睦と健康作り、技術の向上を目指して、週１・２回熱い練習に励んでいます！最近ではバド以外にもバスツアーや合宿などで楽しい時間を共有し、人生を謳歌しています！これからも生涯スポーツとして、一同頑張って元気に年齢を重ねていきたいと願っています！

ふじクラブ　３７９

港区　　創部：1992(平成4)年4月

代表者名：足立　京子　　部員数：１４名

所属リーグ：１４、２２部

練習日程：月・水　１３：３０～１６：３０

練習場所：港スポーツセンター



バドミントンが何より大好きな仲間が集まって出来たのがふじクラブです。「１に練習、２に練習、３・４がなくて５に練習」。コーチの愛情ふかーい言葉と、キツーいシャトルを全身で受け止め､厳しい練習も何のその‥。リーグで一つでも上の部に上がれるよう、みんなで練習を重ねています。練習以外でもとても仲が良く、何かにつけ集まってはワイワイやっています。本当に楽しいクラブです。

よしのクラブ　３８０

福島区　　創部：1992(平成4)年2月

代表者名：大岩　幸子　　部員数：２４名

所属リーグ：１６、２０、２４部

練習日程：木　１３：３０～１６：３０

練習場所：此花スポーツセンター



今年で創立２２年。一時は部員が少なくて廃部も考えましたが、今や２４名にもなり、毎週楽しく又厳しくコーチに指導して頂き切磋琢磨しています。年齢層も２０代～６０代と幅広く、笑いあり、涙ありでお互い刺激しあっています。又、練習後のコーヒータイムも皆楽しみにしています。これからもチームワークを大切にし、技術・精神面も磨き、向上心を持って練習に励んでいきたいと思います。

Ｕ・Ｆ・Ｃ　３８１

旭区　　創部：1995(平成7)年7月

代表者名：豊山　貞子　　部員数：２１名

所属リーグ：８、１７、２３部

練習日程：木曜日

練習場所：旭スポーツセンター



私達のクラブは「和の精神」を大切に技術の向上はもとより、大きな「友達の輪」が出来ることを楽しんでいます。また、団体戦の前には「心を一つにし、勝利をつかもう！」とバーベキューを恒例行事にして、交流を深めます。バドミントンのおかげで私達部員は、身体も心も常に進化し続けています。

ト音記号　３８２

阿倍野区　　創部：1997(平成9)年
所属リーグ：４、１２、１８、２２部

代表者名：工藤　陽子　　部員数：３２名
練習日程：水・金　９：１５～１２：００
練習場所：阿倍野スポーツセンター



平成９年の春、９名で連盟に登録。１６年が過ぎ３２名になりました。荒井コーチを始め林コーチ、山口コーチの下、勝！！を目標に何事にもチャレンジし、多くの方と練習や試合を通じて輪・絆・友情が生まれました。私達はまだまだ未熟なチームですが、連盟の繁栄と共にチーム一丸となり頑張って参ります。これからも宜しくお願い致します。

コジコジ　３８３

西区　　創部：2003(平成15)年
所属リーグ：１５部

代表者名：福崎　まゆみ　　部員数：７名
練習日程：金　９：００～１２：００
練習場所：西スポーツセンター



バドミントン経験者なしの初心者の人たちから始めて、少人数ながら皆で切磋琢磨しながら、向上心溢れるメンバーで、楽しくバドミントンをしているクラブです。

河内長野クラブ　３８９

河内長野市　　創部：1980(昭和55)年
所属リーグ：１、４、１０、１８、２４部

代表者名：田原　貞子　　部員数：３８名
練習日程：水・金　１５：００～１８：００
練習場所：河内長野市立市民総合体育館



今年で創部３４年を迎え、気が付くと５０歳以上が半数となりました。現在山口真由美コーチの下、２０歳代のジュニア世代から６０歳代までの幅広い年齢層が奥河内の自然豊かな環境の中、日々汗を流しています。毎年の目標は団体リーグ戦の各部優勝と全国大会（都道府県別・クラブ対抗）への出場です。国際親善では５０歳以上の部で上位入賞を続けています。まだまだ走り続けます！！

富田林　３９０

富田林市　　創部：1975(昭和50)年

代表者名：山中　あい　　部員数：２３名　　所属リーグ：４、９、１６部

練習日程：火　１３：００～１７：００、金　９：００～１２：００

練習場所：富田林市立市民総合体育館、富田林市立青少年スポーツホール



私たちのクラブは１９７５年（昭和５０年）に創設された歴史あるクラブです。初心者を始め、７０代から３０代までという幅広い年齢層で、共に汗を流しています。２０１３年のクラブ対抗戦では、大阪でベスト８となり近畿大会に出場しました。主婦、仕事、バドミントンと時間のやりくりをしながら、楽しんでいます。

たちばなクラブ　３９１

羽曳野市　　創部：1981(昭和56)年4月

代表者名：森　由利子　　部員数：２８名　　所属リーグ：５、１０、１５、２５部

練習日程：第１水金・第３金　９：００～１２：００、第２・４水金　１３：００～１７：００

練習場所：羽曳野市立西浦体育館



私達たちばなクラブは、平成２３年に創部３０周年を迎えました。現在部員２８名、３０代から６０代の「バドミントン大好き」「おしゃべり大好き」のメンバーばかりなので、体育館はいつも笑い声で賑やかです。リーグ戦では４チームが奮闘していますが、成績は厳しいのが現実です。それでも「リーグ戦が楽しみで仕方ない」と思える日を夢見て、日々練習あるのみ！で頑張っています。

レインボー　３９２

羽曳野市　　創部：1979(昭和54)年4月

代表者名：藤本　祐子　　部員数：１６名　　所属リーグ：１４、２５部

練習日程：月・木　１２：００～１５：００

練習場所：羽曳野市立市民体育館



レインボーは創部３４年。１０代～６０代のメンバーで構成されている、団結力のある小さなクラブです。小さなクラブならではのアットホームな環境の中、コーチの御指導のもと日々練習に励んでいます。メンバーのレベルは様々です。夏には恒例の合宿があり、初心者も含め全員楽しく頑張っています。

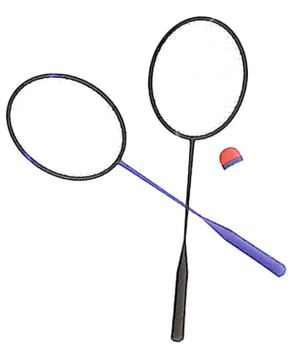
狭山　３９３

代表者名：藤本　睦美　　部員数：１４名
練習日程：火　９：００～１２：００
練習場所：大阪狭山市立総合体育館



大阪狭山市　　創部：1989(平成元)年
所属リーグ：１３、１７部

部員数１４名と少人数ですが、和気あいあいとしたアットホームなクラブチームです。練習時間だけでなく、友好を深め親睦をはかっています。また、部員一人ひとりが技術向上を目指し、練習内容を模索して頑張っています。



創立４０周年記念誌　編集メンバー



（左前）和田（競技）、竹田副理事長、廣瀬理事長、村井会長、木村副理事長、石崎（広報）
（左２段目）川内田（専門）、角本（広報）、隈部（広報）、荒本（競技）、
植田（競技）、百野（審判）、末藤（総務）
（左３段目）原（国際専門）、土肥（国際専門）、上岡（専門）、森（競技）、
能宗（広報）、中村（競技）、永谷（総務）
（左４段目）長瀬（専門）、山内（国際専門）、浅井（競技）、坂江（ブロック活動）、
原田（総務）、梅咲（審判）、大亀（事務局）

編　集　後　記

本連盟も結成当時の大阪府家庭婦人バドミントン連盟から大阪府レディースバドミントン連盟と改称し今年で40周年を迎えることが出来ました。平成25年4月、連盟創立40周年事業として、記念誌の刊行が決まりました。
本連盟はIT社会を見据え早くからパソコンを導入し、情報処理部を設置し、鎌谷氏(元情報処理部長)のもと、登録関係・登録台帳の管理を行い、平成13年度の国際親善大会では大会進行のコンピュータ化を実現し、現在の競技運営の基盤を築き上げました。
第32回を迎える全日本レディースバドミントン選手権大会においては優勝10回の快挙、又世界にも目を向け活動してきた国際親善大会も第20回の記念大会を迎え、連盟の歴史に華を添えることができました。
最後になりましたが、40周年を記念し、歴代の方々からも祝辞、挨拶などのご協力を頂き感謝いたします。また貴重な資料･記事をご提供下さったベースボール・マガジン社及び皆様方には心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

創立40周年記念事業　実行委員会

大阪府レディースバドミントン連盟
創立40周年記念誌

発行日：2014年（平成26年）6月

発行者：大阪府レディースバドミントン連盟
会　長　　村　井　広　美
事務局：〒577-0804
大阪府東大阪市中小阪5丁目12-4
ローリエ八戸ノ里201号
TEL/FAX：06-4309-8506
HP：http://www12.ocn.ne.jp/~osaka-la/

印　刷：(株)インサイト
〒530-0041
大阪府大阪市北区天神橋2-2-11
阪急産業南森町ビル
TEL：06-6882-5556
FAX：06-6882-6667